

江口南村囲遺跡

福岡県筑後市大字江口所在遺跡の調査

筑後市文化財調査報告書

第66集

2005

筑後市教育委員会

えぐちみなみむらがこいいせき
江口南村囲遺跡

2005
筑後市教育委員会

序

本書は、平成15年度に行った江口南村廻遺跡の埋蔵文化財調査報告書であります。

今回の発掘調査は、江口区の西部地区公園（仮称）事業に伴い、公園内の道路敷設部分等の発掘調査成果をまとめた報告書であります。

江口区でのはじめての発掘調査であり、江戸時代から栄えた大庄屋「江口組」をはじめ、歴史が数多く眠る土地であります。今回の調査成果では、中世から近代までの様々な遺構が確認され、江口区の歴史を語る重要な成果であったと考えております。

本書を学術研究の一助として、また生涯学習や社会教育等の資料として活用いただければ幸いです。

本報告にあたり、江口行政区の方々をはじめとする関係者各位に文化財へのご理解、ご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

平成17年3月

筑後市教育委員会
教育長 城戸 一男

例言

1. 本書は平成15年度に筑後市教育委員会が行った江口南村廻遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 発掘調査及び出土遺物の整理は筑後市教育委員会が行った。出土遺物・図面・写真等は筑後市教育委員会で収蔵、保管している。発掘調査及び整理作業の関係者は第I章に記している。
3. 本書に使用した図面の遺構実測図は上村英士が作成し、遺物の実測、浄書は仲文恵、上村が行った。
4. 本書に使用した遺構・遺物の写真撮影は上村が行った。
5. 今回の調査に用いた測量座標は、国土調査法第II座標系を基準としており、方位は全て座標北 (GN) である。
6. 本書に使用した遺構の表示は以下の略号による。
SD-溝 SK-土壤 SP-ピット ST-墓 SX-不明遺構
また、本文中の遺物種別に「○×○」の表記については両方の可能性があるという意味である。
7. 本書の執筆・編集は上村が行った。

目次

| | |
|-----------|----|
| I.調査経過と組織 | 1 |
| II.位置と環境 | 2 |
| III.調査成果 | 3 |
| IV.まとめ | 45 |
| 出土遺物観察表他 | 50 |
| 写真図版 | |

I. 調査経過と組織

江口南村廻遺跡は筑後市大字江口字南村廻に所在する。(Fig.3) 発掘調査に至る経過は、平成15年に市都市対策課から西部地区公園事業（仮称）に伴う埋蔵文化財の所在について照会があり、文化財担当部局である社会教育課文化スポーツ係と協議を行った。協議後、直ちに公園事業計画地全域で試掘調査を行い、ほぼ全域で遺跡を確認した。試掘結果を基に再度協議を行い、公園部分については全域盛り土保存、道路部分と掘削が及ぶトイレ部分について本調査を行う事となった。調査費用及び整理費用については全額を市負担で行った。整理及び報告書作成については、平成15・16年度に筑後市文化財整理室にて行った。

なお、発掘調査及び整理作業の関係者は次のとおりである。

調査組織

1) 平成15年度（発掘調査）

筑後市教育委員会

| | | |
|----|----------|--------------------|
| 総括 | 教育長 | 牟田口和良（～平成15年9月30日） |
| | 教育部長 | 城戸一男（平成15年10月1日～） |
| | 教育課長 | 下川雅晴（～平成15年7月31日） |
| | 文化スポーツ係長 | 蘿原修（平成15年8月1日～） |
| 庶務 | 社会教育課長 | 松永盛四郎 |
| | 文化スポーツ係長 | 成清平和 |
| | 文化スポーツ係 | 永見秀徳 |
| | （文化財担当） | 小林勇作 |
| | | 上村英士（試掘・調査担当） |
| | | 立石真二 |

4) 平成16年度（報告書作成）

| | | |
|----|----------|-------------|
| 総括 | 教育長 | 城戸一男 |
| | 教育部長 | 蘿原修 |
| 庶務 | 社会教育課長 | 田中徹一 |
| | 文化スポーツ係長 | 成清平和 |
| | 文化スポーツ係 | 永見秀徳 |
| | （文化財担当） | 小林勇作 |
| | | 上村英士（報告書担当） |
| | | 立石真二 |
| | | 阿比留土朗 |

5) 発掘調査参加者

地元有志

6) 整理作業参加者

整理補助員 平塚あけみ 仲文恵

整理作業員 野間口靖子 野口晴香 横井理絵 佐々木寿代

尚、調査及び整理に際しては次の方にご指導、ご教示を賜った。記して心より感謝申し上げます。（順不同、敬称略）

江口哲史（江口行政区長）小田和利（九州歴史資料館）斎部麻矢（福岡県南筑後教育事務所）、城戸康利、山村信榮（太宰府市教育委員会）大塚恵治（八女市教育委員会）山田元樹（大牟田市役所）伊崎俊秋（福岡県教育庁）大石昇、近澤康治、白木守、小澤太郎（久留米市教育委員会）田中康夫

II. 位置と環境

(1) 位置と環境

筑後市は福岡県の南西部、筑後平野の中央部に位置する。市域をJR鹿児島本線と国道209号が縦断し、国道442号が横断する。また、市南部には一級河川の矢部川、中央部には山ノ井川や花宗川、北部には倉目川が西流する。市北部には耳納山地から派生する八女丘陵が西に延び、灌漑用の溜池が点在する。低位扇状地である東部や、低地である南西部には農業水路が発達している。当市は県内有数の農業地帯であり、北部の丘陵地では果樹園や茶畠、東部や南西部では米麦中心の田園地帯が広がる。市街地は、国道に沿って市の中心部に形成されている。

(2) 江口南村囲遺跡周辺の地理的環境

筑後市大字江口は大字四力所とならび市の西境に位置し、三潴郡大木町と隣接した地域である。現在の集落は雷神社を中心に形成されている。筑後市の北西部は標高5m以下の三角州性低地である。この低地は筑後川・矢部川水系の堆積による微細な泥土質から成る低湿地で、クリークが網が発達した地域である。近年、このクリークも農地改良等の整備によりその殆どが統廃合されつつある。調査区での構面の標高は第I面で約4.0m、第II面で約3.8m程度である。

調査地近隣の中世から近世にかけての遺跡については、下図に示すとおりである。

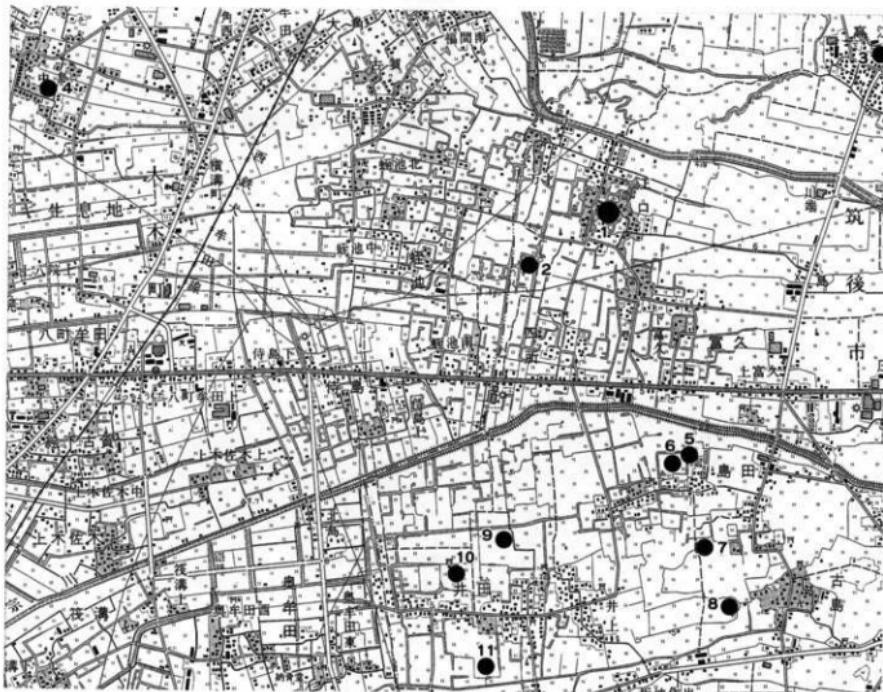


Fig.1 周辺調査地点位置図 (1/25000)

1. 江口南村囲遺跡
2. 四方所古力所遺跡（筑後市文化財調査報告書第10集 1994）
3. 高江遺跡（筑後市文化財調査報告書第7集 1991）
4. 横溝中島遺跡（福岡県文化財調査報告書第150集 2000）*所在地は久留米市三瀬町
5. 島田外屋敷遺跡（筑後市文化財調査報告書第29集 2000）
6. 彼岸田遺跡（福岡県教育委員会調査）
7. 島田三反田遺跡（筑後市文化財調査報告書第15集 1995）
8. 古島島相遺跡（筑後市文化財調査報告書第15集 1995）
9. 井田西中野遺跡（筑後市文化財調査報告書第15集 1995）
10. 井田栗ノ内遺跡（筑後市文化財調査報告書第29集 2000）
11. 井田堀越遺跡（筑後市文化財調査報告書第29集 2000）

（3）江口南村囲遺跡周辺の歴史的環境

江口地区は古くから文献に散見され、市西部の歴史を語る上で非常に重要な地域である。江口地区についての文献資料には、雷神社についての記録、江口組大庄屋田中家に関わる家系図や久留米藩旧家由緒書などがあり、今回の調査地点は雷神社、田中家の北隣地であるため、その関わりについても重要視されるものである。下記に概略を記す。詳細な記録は右田乙次郎『筑後二川郷土史』筑後郷土史研究会・筑後市教育委員会編1983年を参照されたい。

・雷神社

祭神 雷神 雷公大明神 風神 離陀龍王の木造三体

由緒 寛正五年（1464年）坂東寺から江口村宋専の先祖が勧請。

<資料>

寛文の社方開基 寛文十年（1670年）

筑後志 安永六年（1777年）

筑後將士軍団 嘉永六年（1853年）

・田中家

開祖は田中安芸正利勝。祖先は藤原氏。熊本城主へ仕え、後に岩屋城で大友方として島津氏と戦い、後に江口に来る。慶長五年田中吉政から田中姓と刀を賜り同家に伝えられている（短刀であったとされ、第二次大戦中に散逸）。二代利家が慶長元年（1596年）に江口村庄屋、三代利実が承応二年（1653年）に下広川庄二十三村の大庄屋となる。大庄屋六代利晴は当時衰退気味であった赤坂焼について藩庁へ資金調達などを行い再興を果たす。また、利勝、五代利次は水利事業にも深く関わり、江口井堰などを造り、農業開発にも尽力した。明治二年の大庄屋役廃止まで九代、二百十六年間続いた。天保年間（1830～1843年）の石高は九千四百二十三石一斗三升であった。

<資料>

田中利長家系図 元文四年（1739年）

（筑後二川郷土史）

久留米藩旧家由緒書 嘉永四年（1851年）

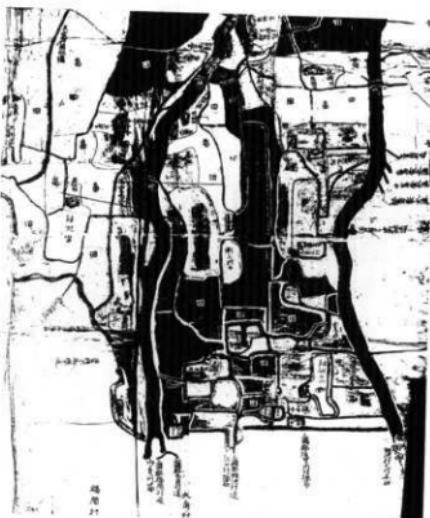


Fig.2 江口組 検見地図 (文政13年 1820年)

III. 調査成果

(1) はじめに

調査地は筑後市大字江口字南村間に所在する。調査地は西部地区公園（仮称）内における市道新設部分及びトイレ設置部分である。市道新設予定地西側では雷神社を取り囲むように存在するクリークが南北に縦断しており、それを避ける形で東西の調査区を設定している。試掘調査段階で造構面を2面確認しており、第Ⅰ面調査後は作業員と一部重機による整地削除去を行い、第Ⅱ面の調査を行っている。調査面積は約610m²、調査期間は平成15年10月6日から平成15年12月19日迄である。調査は上村が担当した。

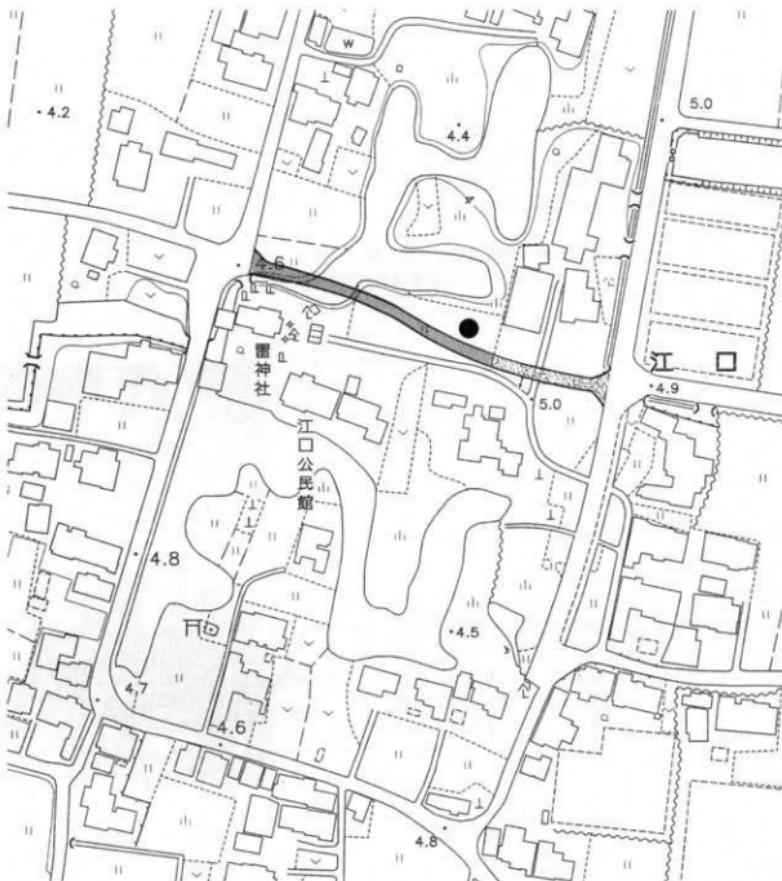


Fig.3 調査地点位置図 (1/2000)

(2) 基本土層

設定された調査区は東西に長く延びるが、西側で現況クリークに切られており、調査区は西側と東側に分断している。西側調査区の遺構面は第I面で畠土下に包含層である淡茶色土を検出し、これを除去した淡茶橙色粘質土に遺構は切り込む。東側調査区は耕作土直下に淡茶橙色土、淡灰茶色土、淡灰白色粘質土からなる整地層に切り込む遺構面（第I面）で井戸、土壙、ピット、墓、溝等を検出し、整地層を除去した灰白色粘質土に切り込む遺構面（第II面）で溝、ピット、墓を検出している。近隣の住民からの聞き取りでは東側調査区は以前は一部が墓域で（現況で小さな竹林が存在していた）、付近を数十年前に田として造成し、昭和33年に納骨堂が建設された際に改葬している可能性があるとの指摘を受けた。

(3) 検出遺構

(第I面)

井戸
SE005 (Fig.5)

東側調査区中央で検出した素掘りと考えられる井戸である。長軸約2.4m、短軸約1.8m、北側にテラスを設け最大深さ約0.8mを測る。地元の話では井戸はあまり使用せず、クリークの水を戦前までは生活用水として使用していたとの事である。雷神社境内には「たらちね」の井戸の碑が残り、碑文は「たらちねの恵の堀井今さへに汲めとも涸れぬ真清水にして」とあり、クリークないしは井戸からの湧水があった事を物語る。遺物は土師器壊、甕、土鍋、大甕、白磁皿、青磁（龍泉窯系）、染付碗、皿、陶器仏具、甕、瓦質土器すり鉢が出土している。

土壙
SK014 (Fig.5, Pla.3)

東側調査区中央で検出した楕円形の土壙である。長軸約1.6m、短軸約1.25m、深さ約0.36mを測る。埋土に焼土及び炭化物、灰を検出している。遺物は染付、瓦質土器、瓦、粘土塊を出土している。

SK015 (Fig.5)

トイレ設置部分東側で検出した長方形の土壙である。長軸約1.2m、短軸約0.9m、深さ約0.5mを測る。埋土（1層の淡茶色土）が近世墓の埋土に近似しており、改葬による掘り返しを行った可能性も残る。遺物は土師器土鍋、青磁皿、陶器すり鉢、甕が出土している。

溝
SD010 (Fig.5, Pla.3)

SK014東隣で検出した南北方向の溝である。検出長約5.25m、幅約0.8m、深さ約0.55mを測る。溝断面はU字状を呈する。検出面は整地層と第II面の地山層との境界にあたり、この遺構から東側は第II面となる。遺物は土師器小皿（糸切り）、火鉢、土鍋、甕、白磁皿、碗、染付碗、瓶、陶器すり鉢、碗、甕、皿、蓋、瓦質土器、軽石、砥石、粘土塊を出土している。

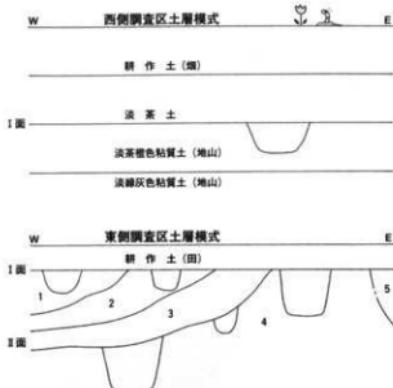


Fig.4 基本土層模式図

1.淡茶橙色土 2.淡灰茶色土 3.淡灰白色粘質土 4.灰白色粘土 5.田クリーク

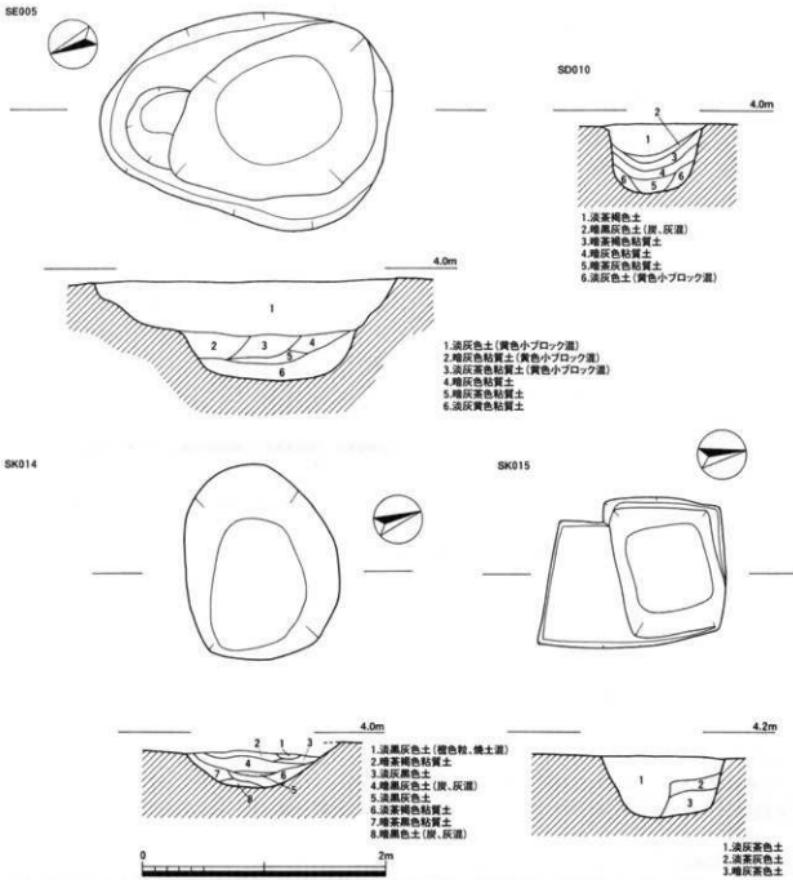


Fig.5 SE005、SK014・015、SD010実測図 (1/40)

近世墓群

今回の調査では第Ⅰ面で6基、第Ⅱ面で2基の計8基の墓を検出している。墓は現況に残されていた竹林を取り囲む形で検出され、墓石は確認していないため年代等が不明である。竹林には30cm程度の河原石が立ててあり、この東側のクリークとの境界に墓石が並んでいたと地元住民から聞いている。また、墓域と現況クリークが隣接しており、墓底部のレベルとクリークの水位が近似し、墓掘り下げ時に湧水があり、遺物等の残存が良好であった。尚、検出した墓域から南東へ80mの地点に江口組大庄屋田中家の墓群として24基現存し（年代が確認できるのは12基、最も古いもので寛永年間1624～1644年）、雷神社を取り囲む周辺一帯には祠が数多く存在する。

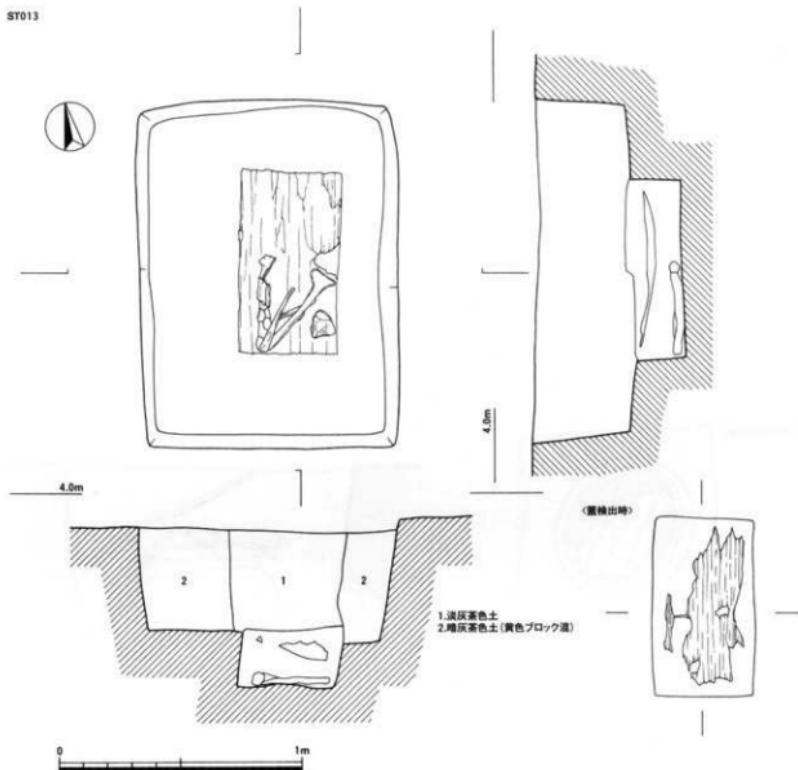


Fig.6 ST013実測図 (1/20)

墓

ST013 (Fig.6, Pla.4・5)

調査区中央で検出した長方形の木棺墓である。掘り方は長軸約1.42m、短軸約1.06m、棺部分のみ段状に一段下げて掘り込んでいる。棺は長軸約0.74m、短軸約0.4m、蓋、側板、底板を検出している。蓋は土圧により正位置より下がって検出している。棺内は土砂の流入により、人骨は大腿骨から足首にかけての片足部分と骨の一部と見られる部分を検出している。遺物は埋土から土師器土鍋を出土している。人骨、木棺、流入土は調査後、埋め戻した。また、この遺構を切る墓と考えられる遺構を東北隅で検出しているが、調査区外のため残している。

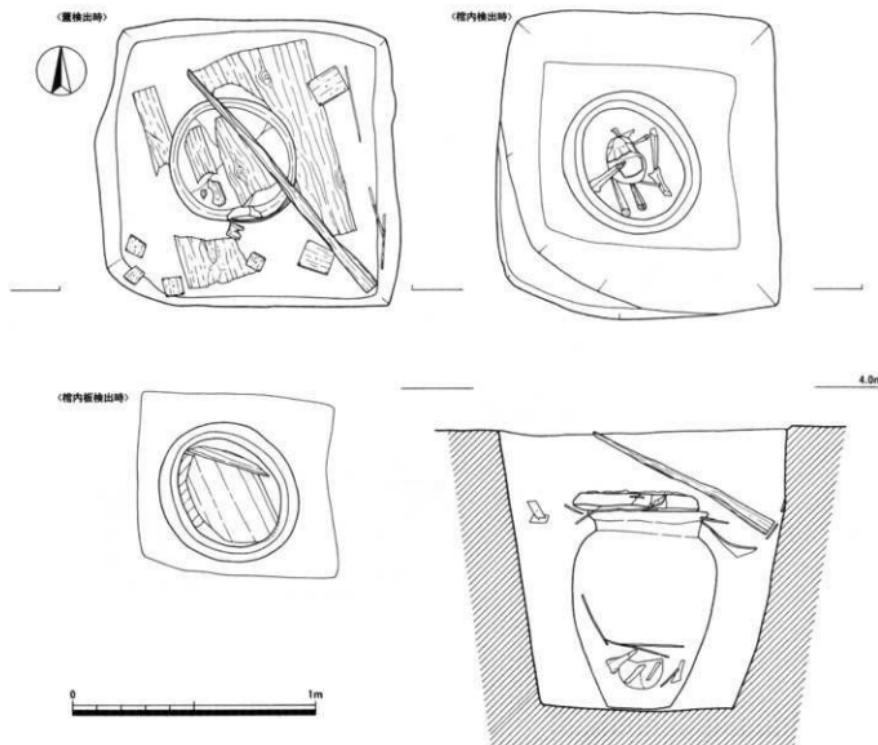
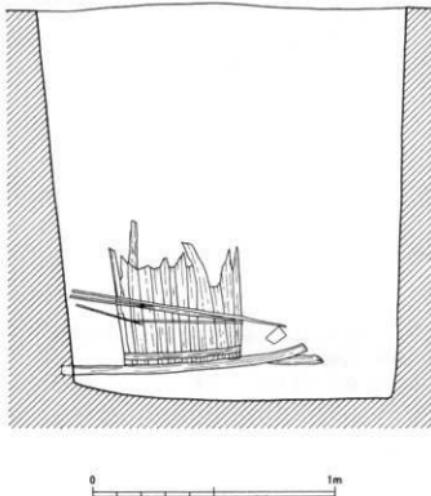
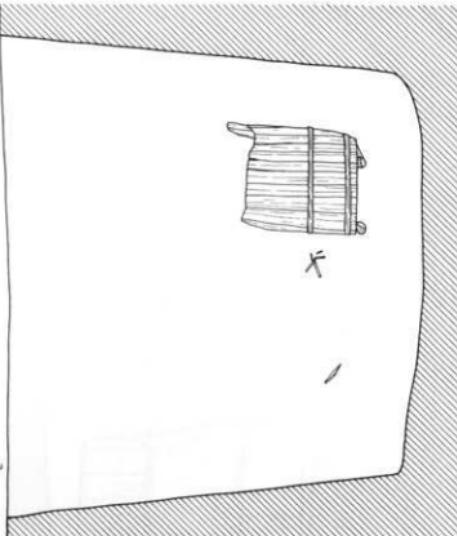
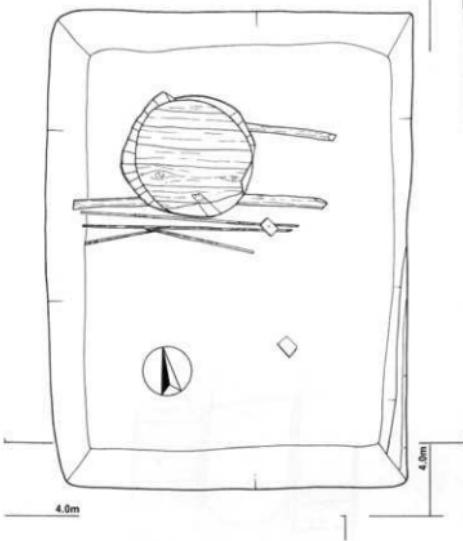


Fig.7 ST025実測図 (1/20)

ST025 (Fig.7, Pla.5~7)

調査区中央の小さな竹林が現存する南隣で検出した斎棺墓である。掘り方はほぼ正方形で南北軸約1.18m、東西軸約1.22m、深さ約1.13mを測る。棺は肥前系陶器の大甕（半胴甕、飯胴甕と呼ばれる甕）で、凝灰岩製の蓋を乗せ、蓋の上下に木皮を被せている。蓋と同レベル付近で葬送儀礼に使用されたと考えられる木製品（六道、竹旗竿、担ぎ棒、提灯台座）を出土している。棺内は頭蓋骨や大脛骨を含む人骨と板2枚（杉板と考えられ、底板ないしは石蓋下にあった可能性がある。）を検出し、甕底には多量の粉殻を検出した。棺内の流入水、土を洗浄すると木製の数珠も出土している。遺物は掘り方理土から土師器土鍋、火鉢、染付碗、湯飲み、白磁紅皿、陶器仏具を出土している。検出した頭蓋骨については歯、脳などがしっかり残り、骨格から成人と考えられる。人骨の系譜については地元聞き取り調査で判明しなかった。尚、人骨については現場にて洗浄・乾燥を行い、市役所市民課に届け出を行い、地元行政区長により斎場にて火葬を行った。



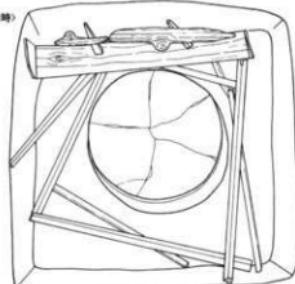
ST030 (Fig.8, Pla.8・9)

ST025西隣で検出した桶棺（早桶）墓である。掘り方は長方形で南北軸約2.0m、東西軸約1.43m、深さ約1.6mを測り、底部は北隣の現況クリークの最大水位より低い。今回検出した墓群で最大の掘り方である。棺は蓋や桶上部を欠損しているが（自然融解か改葬かは不明）杉と考えられる板材を21～23枚組合せて、竹のタガで上下2箇所を締めている。底板は4枚を竹釘で組んでいる（1面につき2箇所）。桶下には担ぎ棒と考えられる、桶を置く部分を抉った木製の棒を2本（面取りせず木皮が残った状態で先端を削ったのみ）検出している。棺内には土砂の流入により、人骨等は残存していないかった。棺外には桶胸部レベルで木製品（六道、竹旗竿）を検出し、桶棺下部の掘り方底部全面に薺のような纖維物を敷いていた痕跡を確認している。遺物は掘り方埋土から土師器壺×皿、陶器甕、粘土塊を出土している。

Fig.8 ST030実測図 (1/20)

ST035

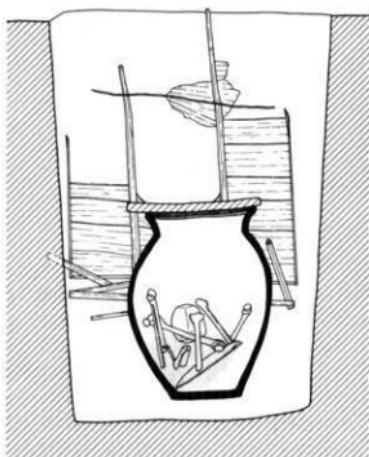
<蓋・木製品検出時>



<棺内検出時>



3.8m



<棺台検出状況>



0 1m

□ 骨片多量に入った部分 ■ 蓋接着物

Fig.9 ST035実測図 (1/20)

ST035 (Fig.9, Pla.10~12)

調査区中央のST030南隣で検出した甕棺墓である。掘り方はほぼ正方形で南北軸約1.18m、東西軸約1.18m、深さ約1.65mを測る。棺は肥前系陶器の大甕（半胴甕、飯胴甕と呼ばれる甕）である。棺蓋は、甕口径と同様の（甕は歪んでおり梢円形）木蓋で閉め、その上に黄色の接着物（小麦粉ないしは松脂のようなもの）で覆い、凝灰岩製の蓋で閉めている。甕底部レベルから上位で葬送儀礼に使用されたと考えられる木製品（担ぎ棒、棺台、六道、提灯台座）を出土している。棺台は破壊せずに掘り方に縦方向に入れ込んでおり、台中央には甕を据える為の切り込みを円形に入れている。棺内は頭蓋骨を含むほぼ一體分の人骨と底板を確認し、甕底には多量の骨片と、飽で削ったような木屑を多量に検出した。棺内の流入水、土を洗浄すると木製の数珠も出土している。遺物は掘り方埋土から土師器甕、染付碗、瓦質土器、軽石を出土している。検出した頭蓋骨については歯、脳などがしっかり残り、骨格から成人と考えられる。人骨の系譜については地元聞き取り調査で判明しなかった。尚、人骨については現場にて洗浄・乾燥を行い、

市役所市民課に届け出を行い、地元行政区長により斎場にて火葬を行った。

不明遺構

SX001 (Fig.10, Pla.13)

西側調査区端で検出した遺構で、南北方向の旧クリークと考えられる。南北長約6.1m、幅2.0m以上、深さ約0.85mを測る。地元住民の話では山ノ井川改修時に残土をクリークの埋め立てに使用したと聞いている。雷神社を取り囲むように設定されたクリークは、この遺構周辺では見られず、埋められたものと考えられる。遺物は須恵器壺、甕、土師器土鍋、火鉢、白磁、青磁、染付碗、陶器碗、壺、ガラス瓶、薬瓶、歯ブラシ、ビー玉、粘土塊、瓦が出土。

ピット

SP009

東側調査区の西側で検出したピットで長軸約0.53m、短軸約0.42m、深さ約0.56mを測る。遺物は土師器、染付皿を出土している。

(第II面)

溝

SD045 (Fig.11, Pla.14)

東側調査区の西端で検出した南北溝で検出長約4.3m、幅約2.1m、深さ約1.3mを測り、溝西側は現況クリークに切られる。溝断面は緩やかなV字を呈し、埋土は全て粘質系の土である。遺物は須恵器壺、土師器壺、小皿、土鍋、染付皿、瓦質すり鉢、羽釜、鍋、粘土塊を出土している。

SD055 (Fig.11, Pla.15)

SD045東隣で検出した南北溝で検出長約4.85m、幅約1.45m、深さ約0.73mを測る。溝断面は緩やかなU字を呈し、埋土は全て粘質系の土である。遺物は土師器壺、小皿、土鍋、青磁、陶器壺、瓦質すり鉢、土鍋、粘土塊を出土している。

SD059

西側調査区の東端で検出した南北溝である。現況クリークにはほぼ切られており、一部分しか残存していないため断面形態等は不明である。検出長約1.0m、深さ約0.56mを測る。遺物は土師器小片のみであるため図示していない。

SD060 (Fig.11, Pla.16)

SD055東隣で検出した南北溝でSD065を切る。検出長約4.9m、幅約1.2m、深さ約0.75mを測る。溝断面は緩やかな逆台形を呈する。埋土は粘質系の土である。遺物は土師器壺、小皿、土鍋、青磁盤、碗、陶器片、瓦質火鉢が出土している。

SD062 (Fig.11)

SD055、060、SX113に切られ、065を切る東西方向の溝である。検出長約10.7m、幅約0.7m、深さ約0.29mを測る。遺物は土師器小皿、土鍋、羽釜を出土している。

SD065 (Fig.11, Pla.16)

SD060に切られる南北溝で南側ではほぼSD060に切られて残存していない。検出長約4.9m、深さ約0.55mを測り、断面は緩やかなU字であったと考えられる。遺物は土師器大甕、壺を出土している。

SD070 (Fig.11, Pla.17)

SD075西隣で検出した南北溝で検出長約4.5m、幅約0.9m、深さ約0.55mを測り、溝断面は緩やかなV字を呈する。遺物は土師器壺を出土している。

SD075 (Fig.11)

SD070東隣で検出した大溝でST013、085に切られ、ST080との関係は不明。検出長約5.0m、幅約3.7m、深さ約1.7mを測る。掘り下げ中にST040、050を検出しているが切り合い関係は不明。遺物は土師器壺、小皿、大甕、土鍋、染付碗、陶器碗、甕、燭台、すり鉢、石鍋、瓦を出土している。

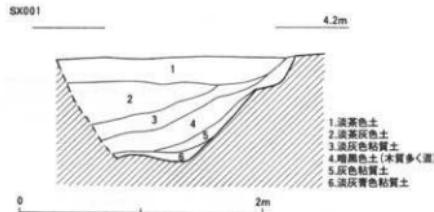
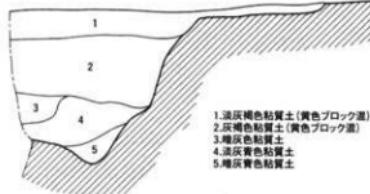
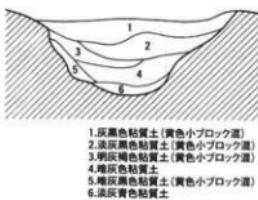


Fig.10 SX001 土層図 (1/40)

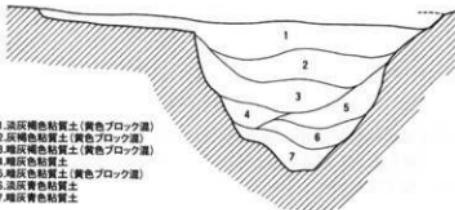
SD045北



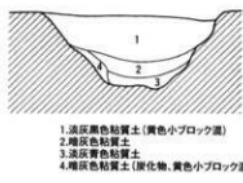
SD055北



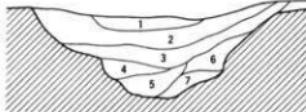
SD045南



SD055南



SD060



SD060-065



SD070



SD075

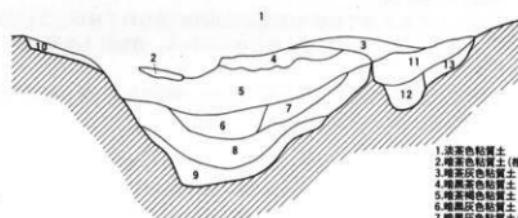


Fig.11 SD045・055・060・065・070・075土層図 (1/40)

墓

ST040 (Fig.12, Pla.17~19)

SD075掘り下げ時に検出した長方形の木棺墓である。SD075との切り合い関係は不明である。掘り方は長軸約1.2m、短軸約0.78m、棺は長軸約0.82m、短軸約0.52mを測る。杉と考えられる蓋、側板、底板を検出している。蓋は土圧により正位置より下がって検出している。棺内は土砂の流入により、人骨等は一部しか残存していない。棺床面中央で文鏡を六枚（六道鏡）、櫛、3枚重ねられた状態で白磁と染付紅皿等を出土している。掘り方埋土から遺物は出土していない。

ST050 (Pla.20)

SD075掘り下げ時にST040南隣で検出した木棺墓と考えられる遺構である。側板ないしは底板と考えられる木材を一部検出しており、棺は調査区外へ展開すると考えられる。SD075との切り合い関係は不明である。

ST080 (Fig.13, Pla.20)

SD075東隣で検出し、SD075に切られる長方形の木棺墓である。掘り方は長軸約1.78m、短軸約1.1m、棺は長軸約0.9m、短軸約0.6mを測る。棺は杉と考えられる蓋、側板を検出しているが、底板は検出していない。蓋は土圧により正位置より下がって検出し、蓋上に染付碗を1点出土している。底板部分に半裁した竹を並べており、寛永通宝1枚と骨片を出土している。また、南側板外側に縦に半裁した竹を11本刺しており、木棺との関係に不明な点が残る。遺物は掘り方埋土、棺内埋土から土師器小皿、青磁碗、陶器甕を出土している。

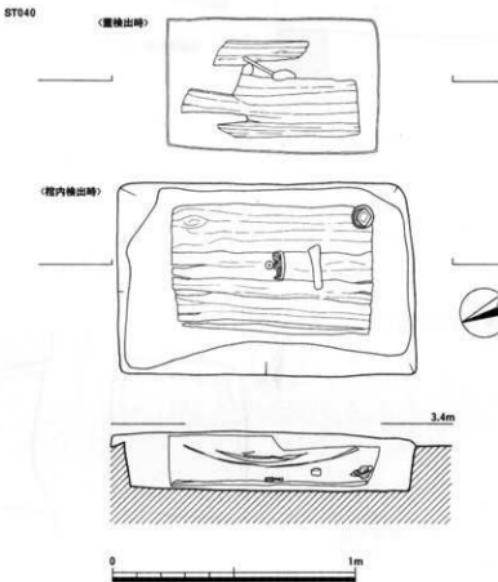


Fig.12 ST040実測図 (1/20)

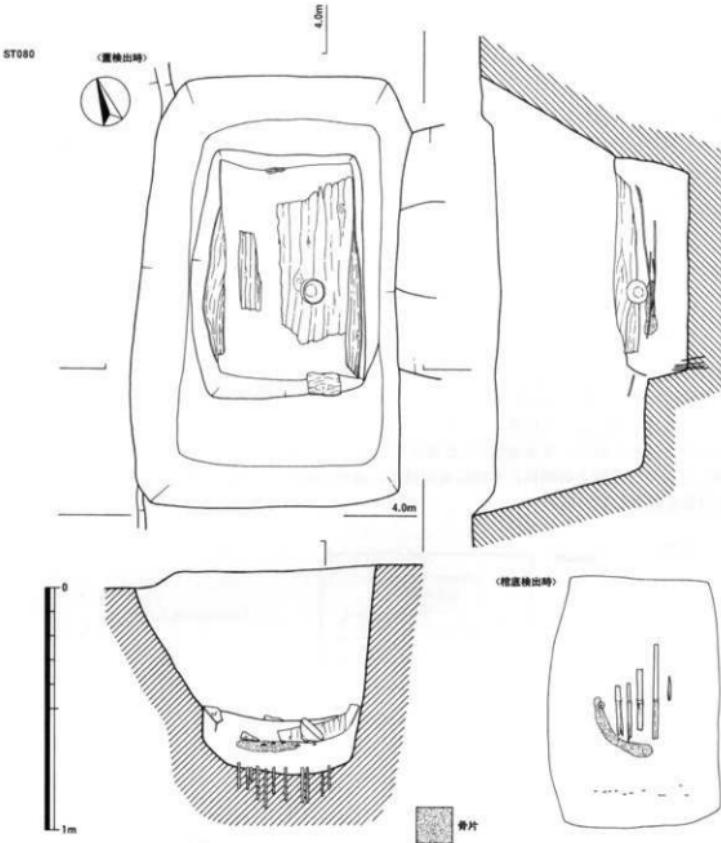


Fig.13 ST080実測図 (1/20)

ST085 (Fig.14)

ST080南隣で検出した正方形に近い遺構である。棺等の墓に関する遺物等は検出していない。埋土が軟質で黄色ブロックを多く含む埋土であったため、改葬していると考えられる。南北軸約1.25m、東西軸約1.1m、深さ約0.7mを測る。遺物は土師器小皿、白磁片を出土している。

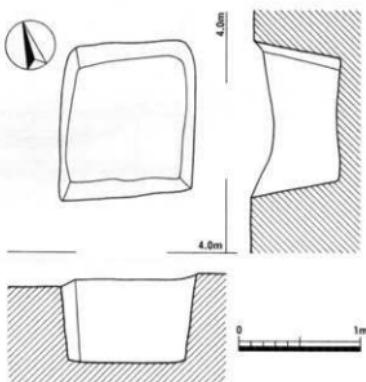
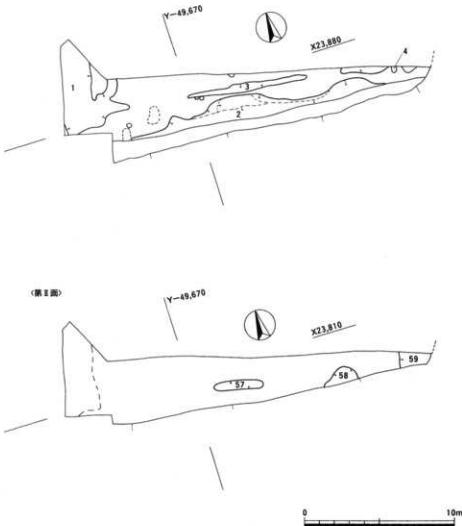


Fig.14 ST085実測図 (1/40)

(第Ⅰ図)



(第Ⅱ図)

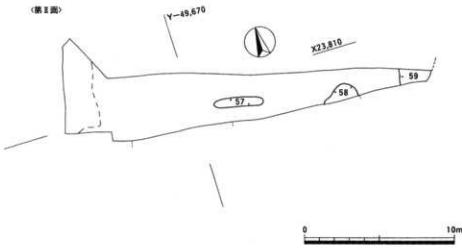


図14-1 河に面するとされるる

| 遺跡名 | 番号 | 形 | 年 | 地質 | 層位 | 地質 | 年 | 形 |
|---------|----|---|----|----|--------|----|-----|----|
| 1. 田代村 | 1 | 柱 | 20 | 砂岩 | C' > b | 2 | 77 | 砂岩 |
| 2. 田代村 | 2 | 柱 | 40 | 砂岩 | 2' > b | 3 | 78 | 砂岩 |
| 3. 田代村 | 3 | 柱 | 41 | 砂岩 | 2' > b | 4 | 79 | 砂岩 |
| 4. 田代村 | 4 | 柱 | 42 | 砂岩 | 2' > b | 5 | 80 | 砂岩 |
| 5. 田代村 | 5 | 柱 | 43 | 砂岩 | 2' > b | 6 | 81 | 砂岩 |
| 6. 田代村 | 6 | 柱 | 44 | 砂岩 | 2' > b | 7 | 82 | 砂岩 |
| 7. 田代村 | 7 | 柱 | 45 | 砂岩 | 2' > b | 8 | 83 | 砂岩 |
| 8. 田代村 | 8 | 柱 | 46 | 砂岩 | 2' > b | 9 | 84 | 砂岩 |
| 9. 田代村 | 9 | 柱 | 47 | 砂岩 | 2' > b | 10 | 85 | 砂岩 |
| 10. 田代村 | 10 | 柱 | 48 | 砂岩 | 2' > b | 11 | 86 | 砂岩 |
| 11. 田代村 | 11 | 柱 | 49 | 砂岩 | 2' > b | 12 | 87 | 砂岩 |
| 12. 田代村 | 12 | 柱 | 50 | 砂岩 | 2' > b | 13 | 88 | 砂岩 |
| 13. 田代村 | 13 | 柱 | 51 | 砂岩 | 2' > b | 14 | 89 | 砂岩 |
| 14. 田代村 | 14 | 柱 | 52 | 砂岩 | 2' > b | 15 | 90 | 砂岩 |
| 15. 田代村 | 15 | 柱 | 53 | 砂岩 | 2' > b | 16 | 91 | 砂岩 |
| 16. 田代村 | 16 | 柱 | 54 | 砂岩 | 2' > b | 17 | 92 | 砂岩 |
| 17. 田代村 | 17 | 柱 | 55 | 砂岩 | 2' > b | 18 | 93 | 砂岩 |
| 18. 田代村 | 18 | 柱 | 56 | 砂岩 | 2' > b | 19 | 94 | 砂岩 |
| 19. 田代村 | 19 | 柱 | 57 | 砂岩 | 2' > b | 20 | 95 | 砂岩 |
| 21. 田代村 | 21 | 柱 | 58 | 砂岩 | 2' > b | 22 | 96 | 砂岩 |
| 23. 田代村 | 23 | 柱 | 59 | 砂岩 | 2' > b | 24 | 97 | 砂岩 |
| 25. 田代村 | 25 | 柱 | 60 | 砂岩 | 2' > b | 26 | 98 | 砂岩 |
| 27. 田代村 | 27 | 柱 | 61 | 砂岩 | 2' > b | 28 | 99 | 砂岩 |
| 29. 田代村 | 29 | 柱 | 62 | 砂岩 | 2' > b | 30 | 100 | 砂岩 |
| 30. 田代村 | 30 | 柱 | 63 | 砂岩 | 2' > b | 31 | 101 | 砂岩 |
| 32. 田代村 | 32 | 柱 | 64 | 砂岩 | 2' > b | 33 | 102 | 砂岩 |
| 34. 田代村 | 34 | 柱 | 65 | 砂岩 | 2' > b | 35 | 103 | 砂岩 |
| 36. 田代村 | 36 | 柱 | 66 | 砂岩 | 2' > b | 37 | 104 | 砂岩 |
| 38. 田代村 | 38 | 柱 | 67 | 砂岩 | 2' > b | 39 | 105 | 砂岩 |
| 40. 田代村 | 40 | 柱 | 68 | 砂岩 | 2' > b | 41 | 106 | 砂岩 |
| 42. 田代村 | 42 | 柱 | 69 | 砂岩 | 2' > b | 43 | 107 | 砂岩 |
| 44. 田代村 | 44 | 柱 | 70 | 砂岩 | 2' > b | 45 | 108 | 砂岩 |
| 46. 田代村 | 46 | 柱 | 71 | 砂岩 | 2' > b | 47 | 109 | 砂岩 |
| 48. 田代村 | 48 | 柱 | 72 | 砂岩 | 2' > b | 49 | 110 | 砂岩 |
| 50. 田代村 | 50 | 柱 | 73 | 砂岩 | 2' > b | 51 | 111 | 砂岩 |
| 52. 田代村 | 52 | 柱 | 74 | 砂岩 | 2' > b | 53 | 112 | 砂岩 |
| 54. 田代村 | 54 | 柱 | 75 | 砂岩 | 2' > b | 55 | 113 | 砂岩 |

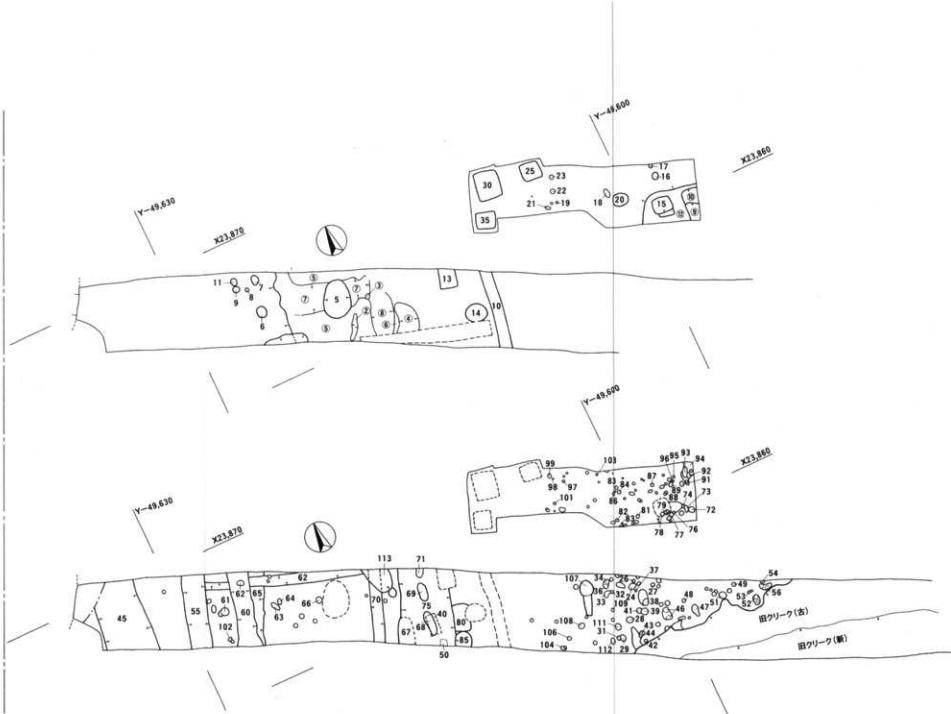


Fig.15 江口南村田道跡 I・II面遺構略測図 (1/200)

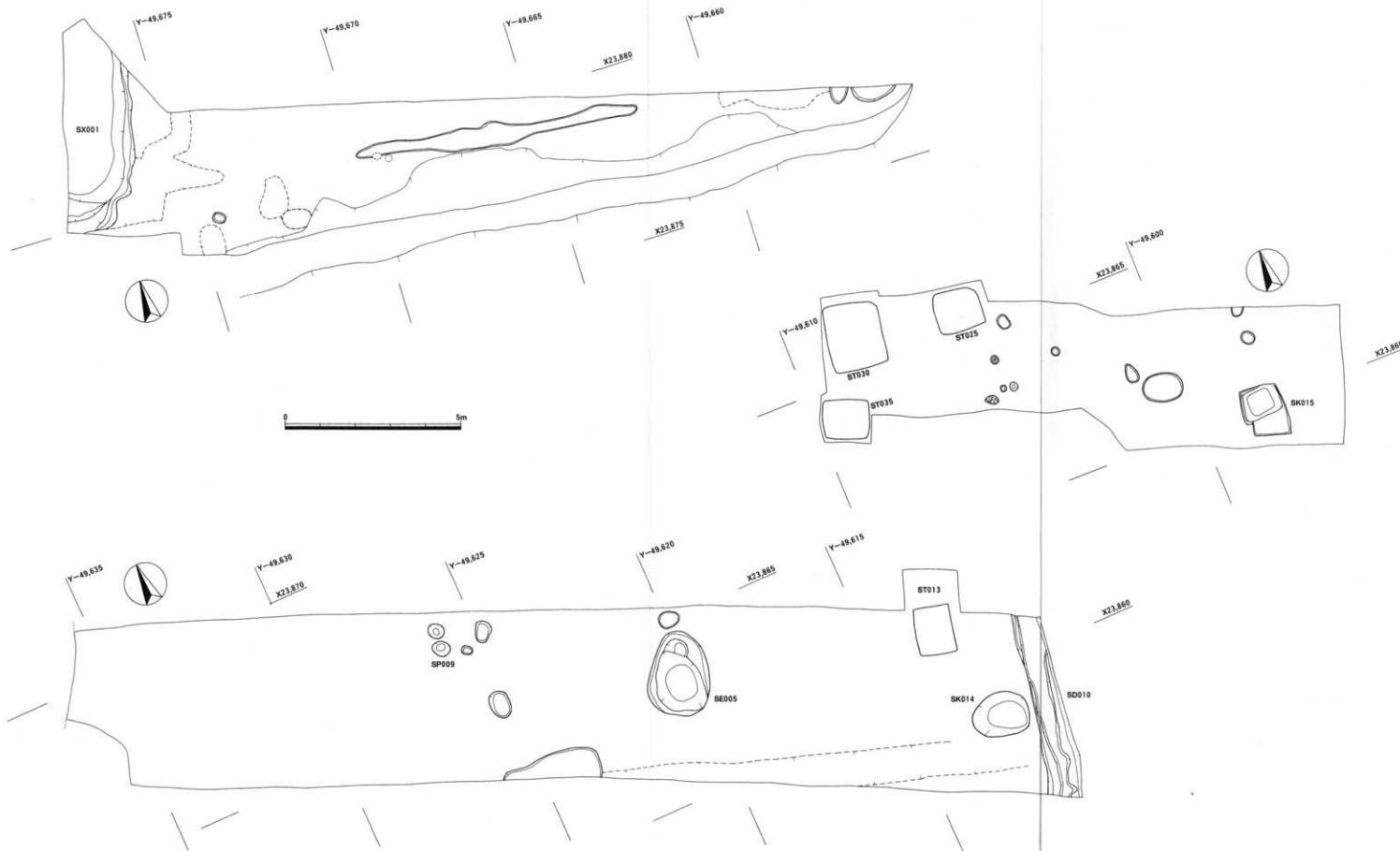


Fig.16 江口南村団遺跡第Ⅰ面遺構全体図 (1/100)

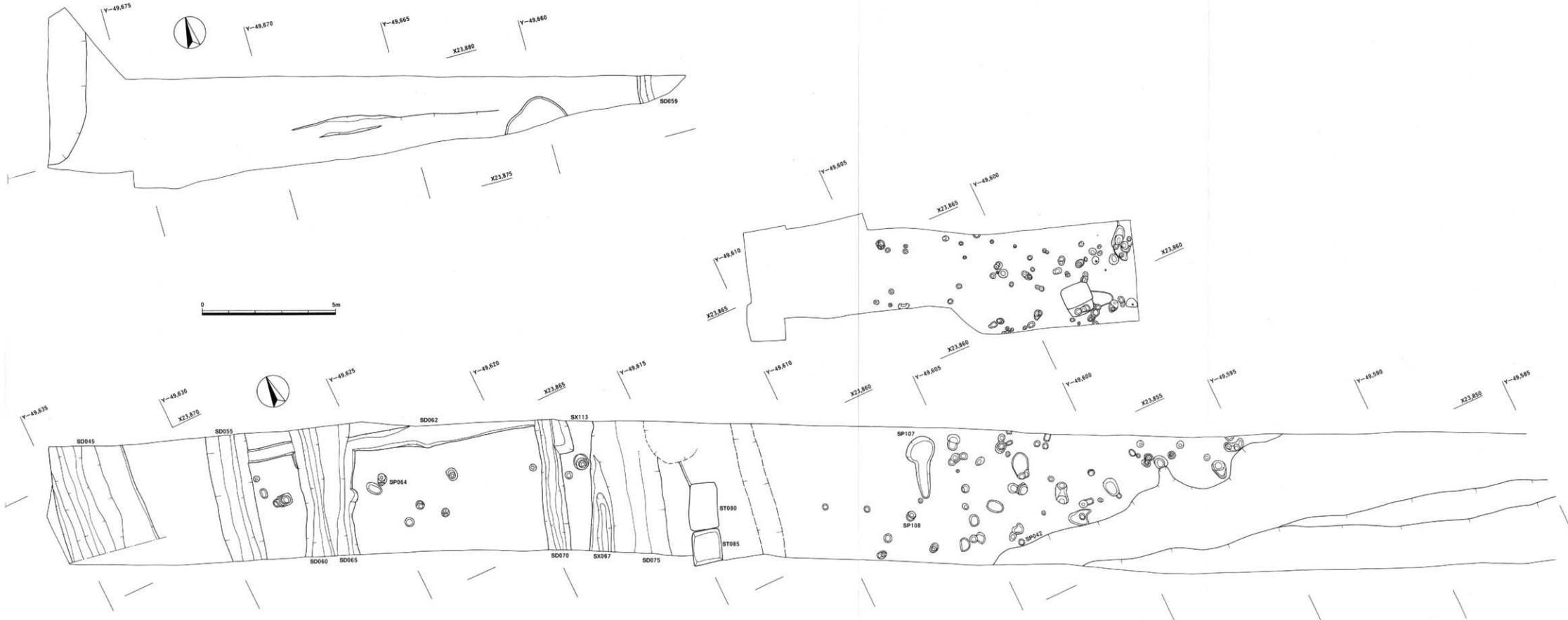


Fig.17 江口南村遺跡第Ⅱ面遺構全体図 (1/100)

不明遺構

SX067

SD075を切り、ほぼ並行する溝状の遺構である。検出長約2.2m、幅約0.85m、深さ約0.73mを測る。遺物は土師器土鍋、染付碗、陶器壺を出土している。

SX113

SD070を切る溝状ないしは楕円形の遺構である。検出長約2.0m、幅約1.4m、深さ約0.26mを測る。遺物は土師器土鍋、大甕、青磁片、染付片、陶器壺、急須、丸瓦を出土している。

ピット

SP042

東側調査区東端の旧クリークで検出した楕円形のピットである。検出長軸約0.3m、短軸約0.25m、深さ約0.25mを測る。遺物は土師器小皿を出土している。

SP064

SD065東隣で検出した楕円形のピットで、掘り下げ時に二つのピットとなる。検出長軸約0.45m、短軸約0.35m、深さ約0.27mを測る。遺物は土師器土鍋、染付湯飲み、白磁碗、陶器壺、壺、すり鉢、平瓦を出土している。

SP107

東側調査区で検出した楕円形のピットである。検出長軸約1.15m、短軸約1.0m、深さ約0.12mを測る。遺物は土師器壺×皿、陶器壺を出土している。

SP108

SP107南隣で検出した円形に近いピットである。検出長軸約0.37m、短軸約0.33m、深さ約0.4mを測り、一段テラスを設ける。遺物は鍛冶に使用されたと考えられる坩を出土している。

旧クリーク

東側調査区の中央から東側にかけて旧クリークを検出している。地元住民の話や明治21年の字図では現在の雷神社参道に平行する形で参道の北側と南側に展開している。埋土は腐植土層や粘質土層で、深さは1.5m以上である。

整地層

第I面完掘後、11種類の整地層を確認している (Tab.1)。整地は第I面SD010より西側で検出している。また、遺物も若干であるが出土している。

地山

基本土層で述べているが、検出した地山層は灰白色粘質土である。この下層に青灰色粘質土を検出している。東側調査区の旧クリーク西側のピット群が展開する地点で地山（灰白色粘質土）に突き刺さる形で輪羽口を出土している。SP108内から坩も出土していることから、小鍛冶が行われていた可能性がある。しかし、炉跡や鍛造剝片、鉄製品等の鍛冶時の遺物等はない。

| 整地番号 | 土色 | 整地番号 | 土色 | 整地番号 | 土色 |
|------|--------|------|---------|------|-------|
| ① | 淡茶橙色土 | ⑤ | 淡茶黑色土 | ⑨ | 暗茶褐色土 |
| ② | 暗茶黑粘質土 | ⑥ | 暗黑茶色粘質土 | ⑩ | 暗茶色土 |
| ③ | 淡灰色土 | ⑦ | 淡灰茶色土 | ⑪ | 明茶褐色土 |
| ④ | 黄灰色粘質土 | ⑧ | 淡茶褐色土 | | |

Tab.1 整地層土色一覧表

(4) 遺物

(第Ⅱ面)

井戸

SE005 (Fig.18, Pla.24)

土師器

蓋 (1) 輪状にツマミを施した蓋である。ツマミ径9.4cm、器高1.9cm、口径16.0cmを測る。胎土に角閃石を含み、外面は淡茶褐色、内面は淡黒茶色を呈する。焼成は良好で煤が付着する。

磁器

染付 (2~5) 2は広東碗で高台径6.4cmを測る。胎土に黑色粒子を含み、灰青色の釉を施す。3は皿で内面に呉須で文様を施す。釉は薄い灰茶色。4は見込み部分の釉をカキ取る。高台内面は露胎。5は盃で外面に呉須で文様を施し、底部接地部分は釉をカキ取る。

陶器

灯明皿 (6) 皿状に成形した受け部に坏部を接合する。底部糸切りで赤茶色を呈し、外面には自然釉がかかる。坏部口径6.15cm、器高2.65cm、皿部底径4.3cmを測る。

土壇

SK014 (Fig.18, Pla.24)

土師器

土鍋 (7) 口縁端部小片で、外面はハケ目、内面はヨコナデ、口唇部には煤が付着する。

磁器

染付 (8) 皿の小片で内外面に呉須で文様を施す。僅かに貫入が見られる。

SK015 (Fig.18, Pla.24)

磁器

青磁 (9・10) 9は棱花皿で釉は比較的薄い。内外面に貫入が見られる。龍泉窯系。10は碗で内面に文様を施す。内外面共に0.5mm程度の釉を施す。龍泉窯系。

溝

SD010 (Fig.18, Pla.24~26)

土師器

小皿 (11・12) 11は口径6.8cm、器高1.15cm、底径4.35cmを測る。底部糸切りで口縁端部に煤が付着する。12は口径7.6cm、器高1.4cm、底径3.2cmを測る。底部糸切り、調整はヨコナデ。

土鍋 (13) 口縁部片で端部を折り曲げる。内面はハケ目、端部をヨコナデ、外面には煤が付着する。

火鉢 (14) 内外面ともに剥離が激しく調整は不明。胎土に角閃石を含み内面に一部ヨコナデ痕が残る。

磁器

染付 (15~20) 15は皿×小碗で高台径3.25cmを測り、全面施釉で高台接地部分のみ釉を削り露胎。外面に草花文を描く。16は碗で口径5.2cm、器高4.8cm、高台径4.0cmを測る。外面に文様を施す。胎土に黑色粒子を含む。17は皿で口径11.9cm、器高3.25cm、高台径3.9cmを測る。内面見込みは釉を輪状にカキ取る。高台、高台内面は露胎。18は輪状のツマミをもつ蓋で、ツマミ径4.2cm、器高2.95cm、口径10.3cmを測る。内外面共に圓線を描く。19は瓶で口径3.85cm、器高17.0cm、高台径5.8cmを測る。口縁端部を若干広げ、細い頸から体部下半にかけて張る。外面に草文を描く。高台接地部分のみ露胎。

20は香炉で口縁端部片で外面に文様を描き、口唇部内面まで施釉し、内面は露胎。

陶器

灯明皿 (21) 口径8.7cm、器高2.3cm、底径3.5cmを測る。暗赤褐色を呈し、底部は糸切り。

石製品

砥石 (22~24) 全て天草産の砥石と考えられ、破片である。23が2面、22・24は1面の擦り面をもつ。

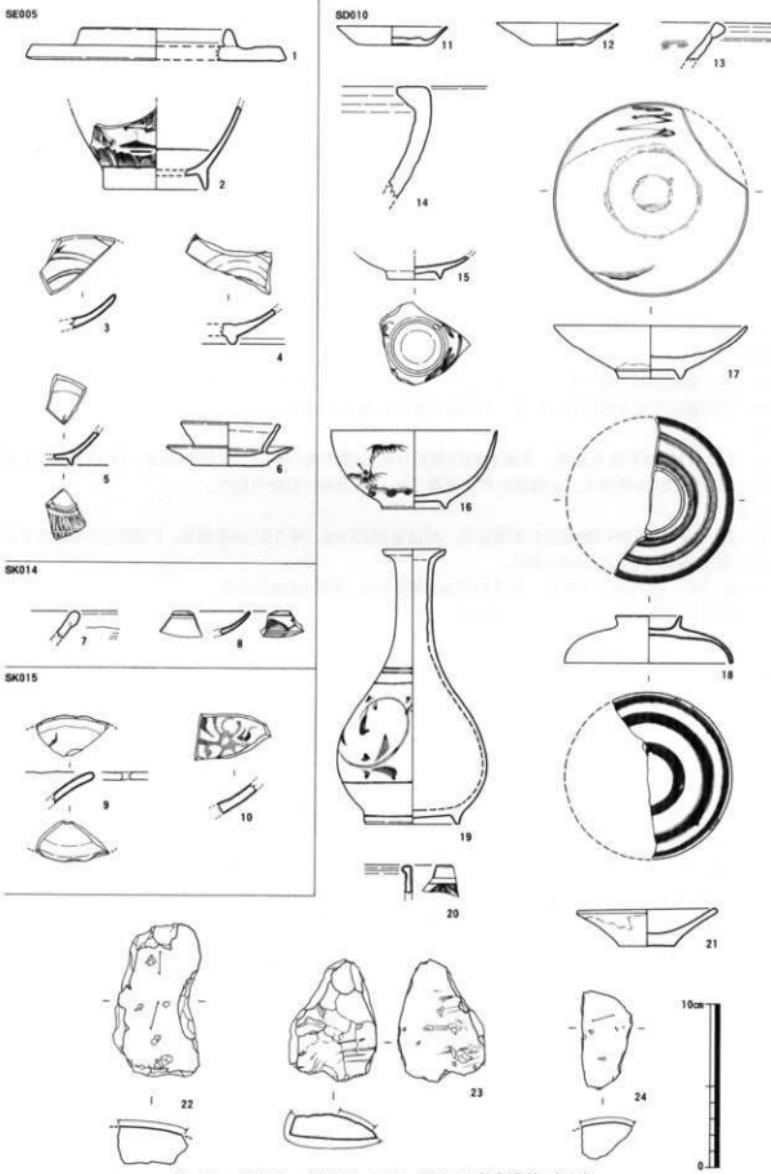


Fig.18 SE005、SK014・015、SD010出土遺物 (1/3)

墓

ST025掘り方出土遺物 (Fig.19, Pla.26)

土師器

火鉢 (25) 口縁部で内面をハケ目、外面は磨耗のため不明。焼成はやや不良。

磁器

染付 (26~28) 26は盃で口径8.3cmを測る。外面に若松の文様を描き、体部には横方向の工具痕が残る。27は広東碗で外面に文様を描き、高台は直に立つ。内面にピンホールが残る。28は猪口で内外面に圓線を描き、細かい貫入が見られる。

白磁

紅皿 (29) 口径5.0cmを測る。外面は貝殻状痕で無釉、口唇部と内面に薄く施釉する。

陶器

灯明皿 (30) 下皿部口径8.1cm、底径4.1cmを測る。底部糸切りで暗赤茶色を呈する。

ST025棺、棺内出土遺物 (Fig.20, Pla.26)

石製品

棺蓋 (31) 凝灰岩製の蓋である。断面は台形状を呈し、上端径46.6cm、下端径51.6cm、厚さ7.0cmを測る。全面に工具痕が不定方向に見られる。下端径は蓋棺口縁最大径より大きい。

陶器

甕棺 (32) 口縁がかなり歪み、平面が橢円形を呈する肥前系の甕で、口径46.5cm~50.0cm、最大器高82.2cm、底径27.1cmを測る。口縁部を若干肥厚させ、16力所に目跡が残る。

木製品

底板×蓋 (33, 34) 共に棺内出土木製品で、33は直径42.4cm、厚さ0.7cmを測る。中央に2カ所穿孔する。34は直径35.5cm、厚さ0.05cmを測る。

不明製品 (35) 棺内出土である。長さ44.7cm、幅2.1cm、厚さ0.8cmを測る。

ST025棺外出土遺物 (Fig.20・21, Pla.27)

木製品

担ぎ棒 (36) 片方の端部は遺構上面にあり腐食が進んで折れているため、原形を留めていない。もう片方の端部が原形を残している。断面は四隅の一角を削り落とし、緩やかな三角形に近い形状である。残存長さ123.5cm、最大厚さ5.0cmを測る。

不明製品 (37・38) 共に棺蓋と棺を覆うように検出した木製品で、37は厚さ0.5cm、38は0.7cmを測る。表面には工具痕が残り、37には2力所、38には1力所穿孔が残る。

提灯 (39~45) 全て台座であり、四隅と中央の5力所に目釘穴があったと考えられ、竹釘が残存するものもある。39は長さ13.5cm、幅12.4cm、厚さ1.3cm、5力所に目釘穴が残り、3力所は竹釘が残る。40は長さ13.65cm、幅11.5cm、厚さ0.9cm、3力所の目釘穴が残る。41は長さ8.25cm、幅5.6cm、厚さ1.1cm、5力所に目釘穴が残り、2力所は竹釘が残る。42は長さ8.0cm、幅8.0cm、厚さ1.0cm、5力所に目釘穴が残る。43は長さ8.2cm、幅8.25cm、厚さ1.2cm、3力所に目釘穴が残り、2力所は竹釘が残る。44は長さ8.3cm、幅6.7cm、厚さ1.1cm、1力所に目釘穴が残り、竹釘が残る。45は長さ7.7cm、幅7.9cm、厚さ0.75cm、5力所に目釘穴が残る。

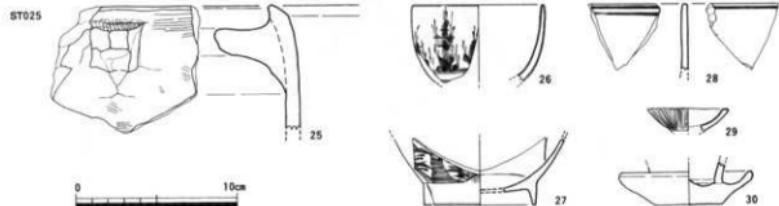


Fig.19 ST025出土遺物 (1/3)

ST025

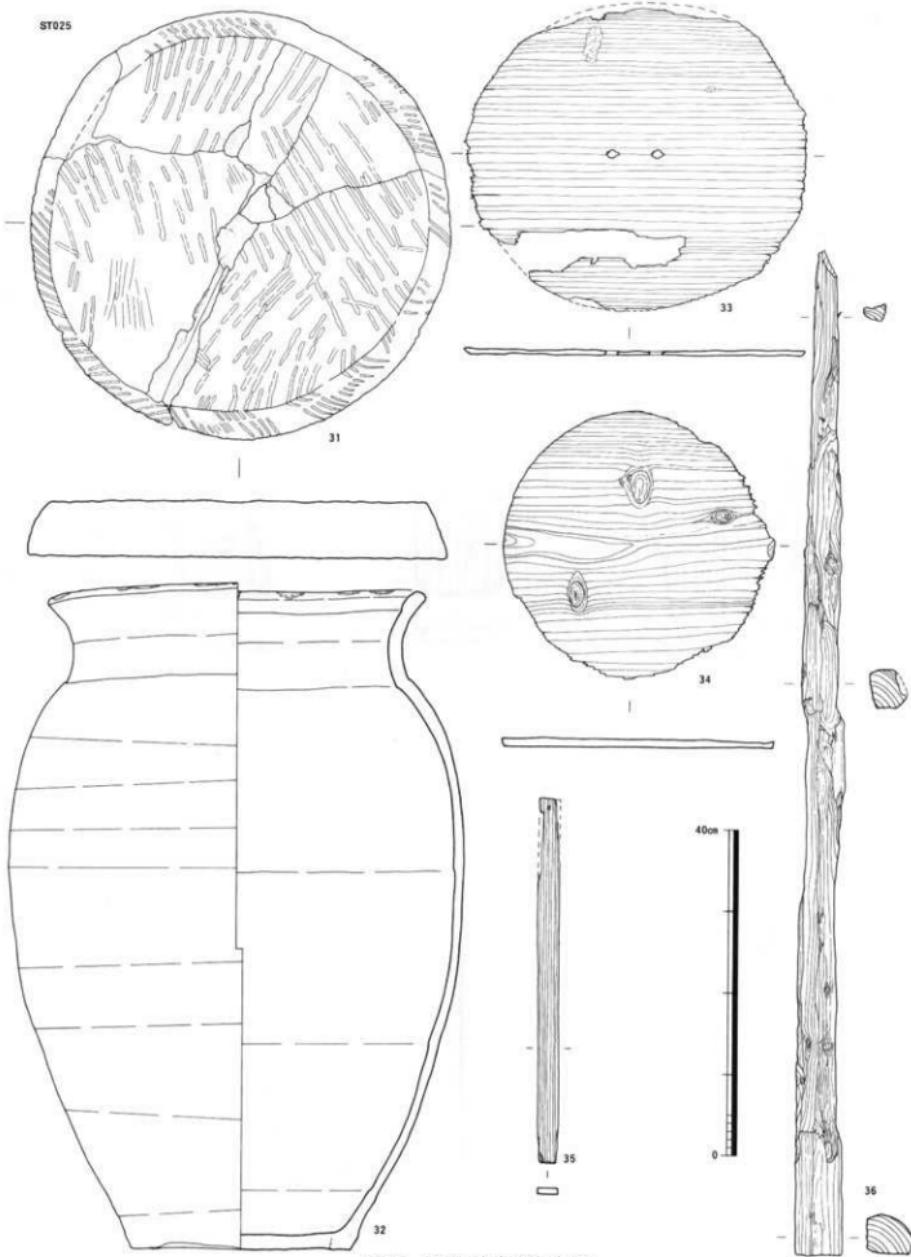


Fig.20 ST025出土遺物 (1/6)

ST025

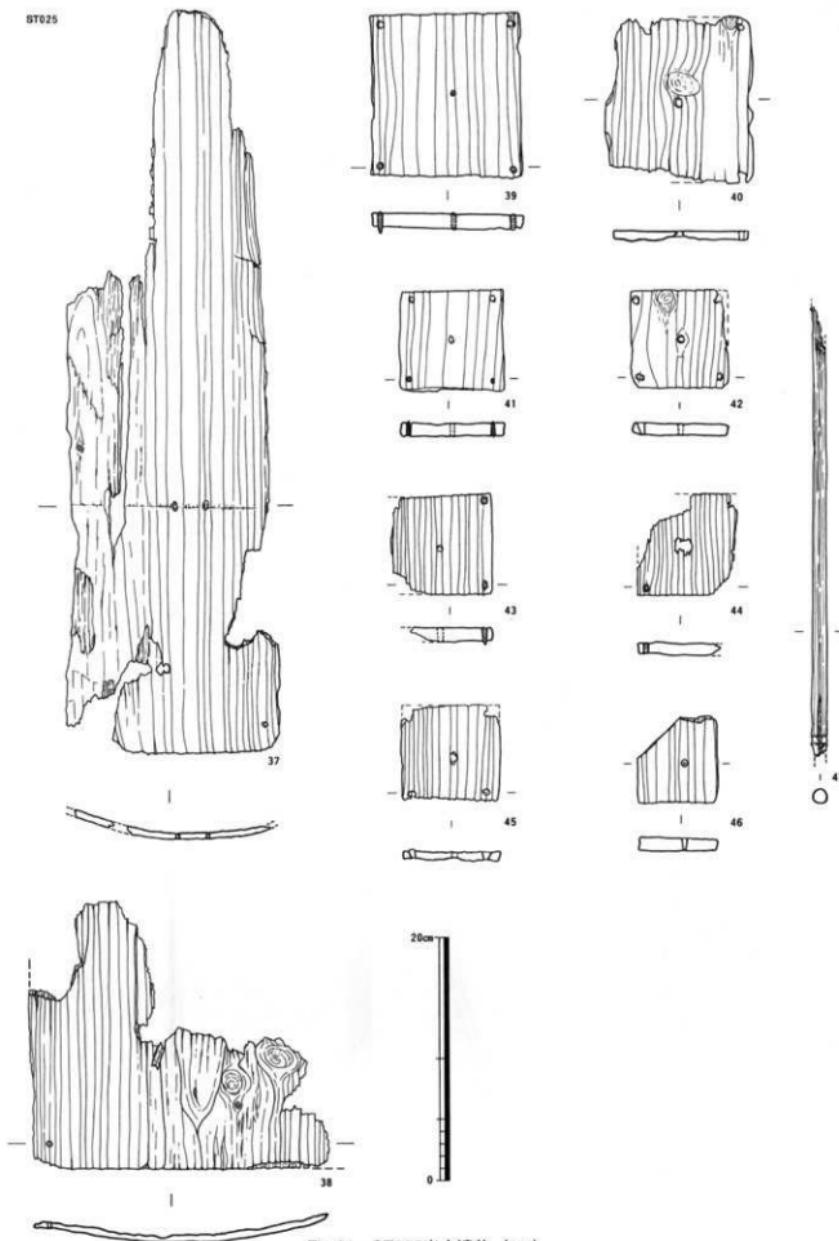


Fig.21 ST025出土遺物 (1/4)

六道（46）一辺を斜めに切り落とす。長さ7.0cm、幅6.5cm、厚さ1.1cmを測る。目釘穴が中央に1カ所残る。燭台の側板か。

不明製品（47）竹片で加工痕はないが、旗竿の可能性があるため掲載している。直径1.25cm、残存長35.8cmを測る。

ST025棺内出土遺物 (Fig.22, Pla.28)

木製品

数珠（48～67）棺内から出土した木製の数珠で表面に黒色系の顔料を塗布している。直径0.4cm～0.45cm、厚さ0.25～0.38cmを測る。

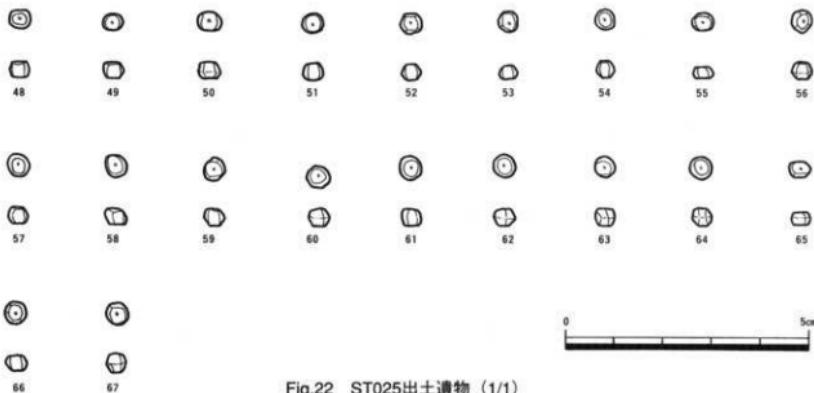


Fig.22 ST025出土遺物 (1/1)

ST030桶棺 (Fig.23, 24, Pla.28～30)

木製品

桶棺（68～91）68～90は側板で計24枚（一組重複する可能性有り、従って23枚の可能性有り。）残る。幅が4種類程に分けられ10cm～11cm、8.5cm～6.3cm、5.0cm～4.5cm、4.2cm以下である（計測値参照）。下端から2cm前後と20cm前後の部分に竹のタガの痕跡が残り、一部には穿孔が残る。厚さは1.0cm～1.4cm程度、杉材と考えられる。91は底板で直径48.5cm、厚さ2.0cmを測る。板材4枚を繋ぎ合わせており1面につき2カ所、計6カ所を竹釘で繋いでいる。

担ぎ棒（92, 93）共に木皮が残り、片方の先端を削って尖らせ、もう片方は直に切り落としている。桶を乗せる部分に抉りを入れており、92は長さ112.4cm、直径3.5cm、93は長さ110.0cm、直径4.7cmを測る。

ST030棺外土遺物 (Fig.24, Pla.30・31)

不明製品（94～96）全て竹製品であり、先端を尖らせ途中から折損している。94は残存長55.0cm、直径1.7cm、95は残存長42.7cm、直径1.5cm、96は残存長19.9cm、直径1.5cmを測る。

六道（97～103）97は背板で長さ8.85cm、幅4.3cm、厚さ0.5cmを測る。上端は山形に成形され、下端中央には穿孔し燭台を繋ぐための竹釘が残る。また、山形の部分にも穿孔している。98は背板で長さ7.7cm、幅3.7cm、厚さ0.3cmを測る。上端は山形に成形され、下端中央には穿孔している。面には黒色系の顔料が塗布されている。99は燭台で、長さ6.7cm、幅4.8cm、厚さ0.9cmを測る。背板に繋ぐための竹釘が残り、中央は穿孔している。面には黒色系の顔料が塗布されている。100は燭台で長さ6.9cm、幅5.0cm、厚さ0.9cmを測る。背板に繋ぐための竹釘が残り、中央は穿孔している。長辺と短辺1面を折損している。

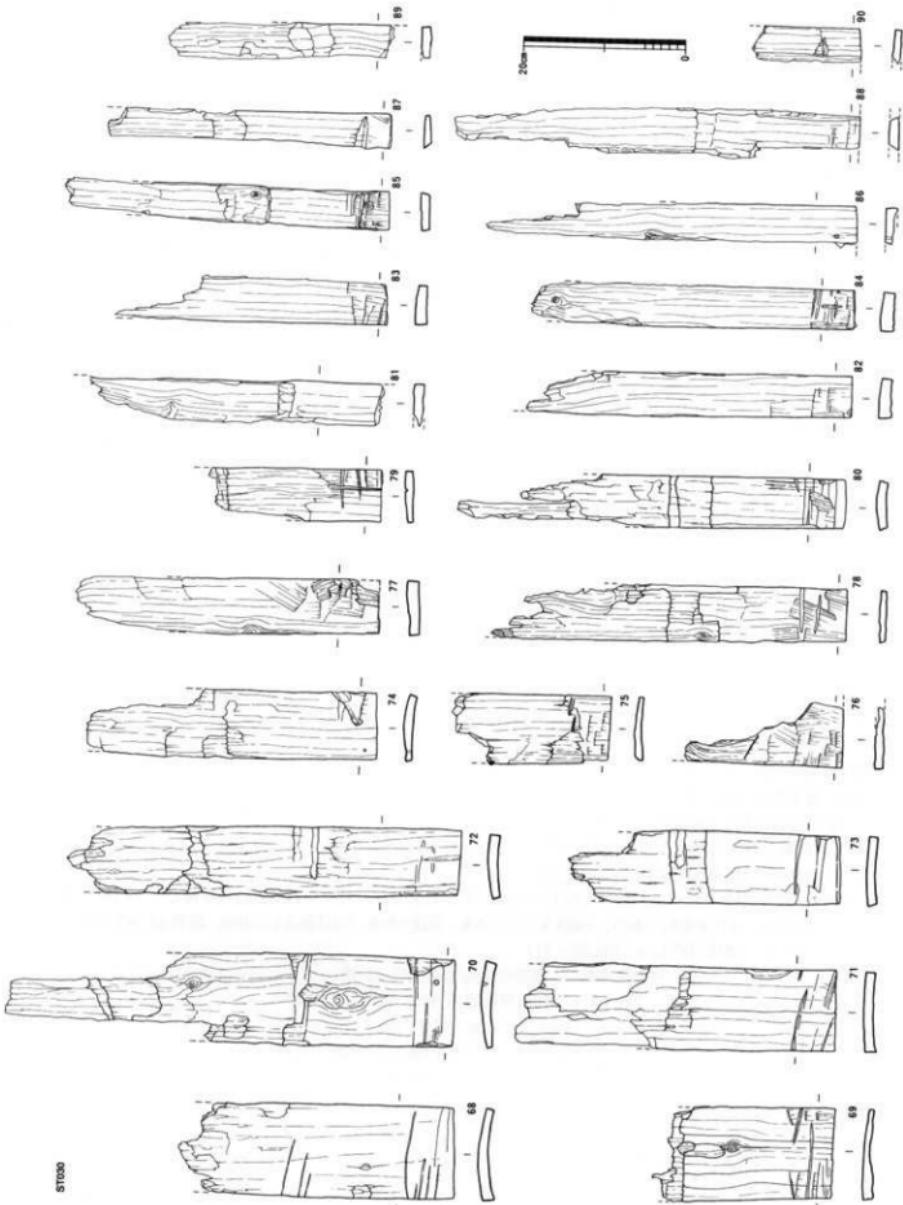


Fig.23 ST030出土遺物 (1/6)

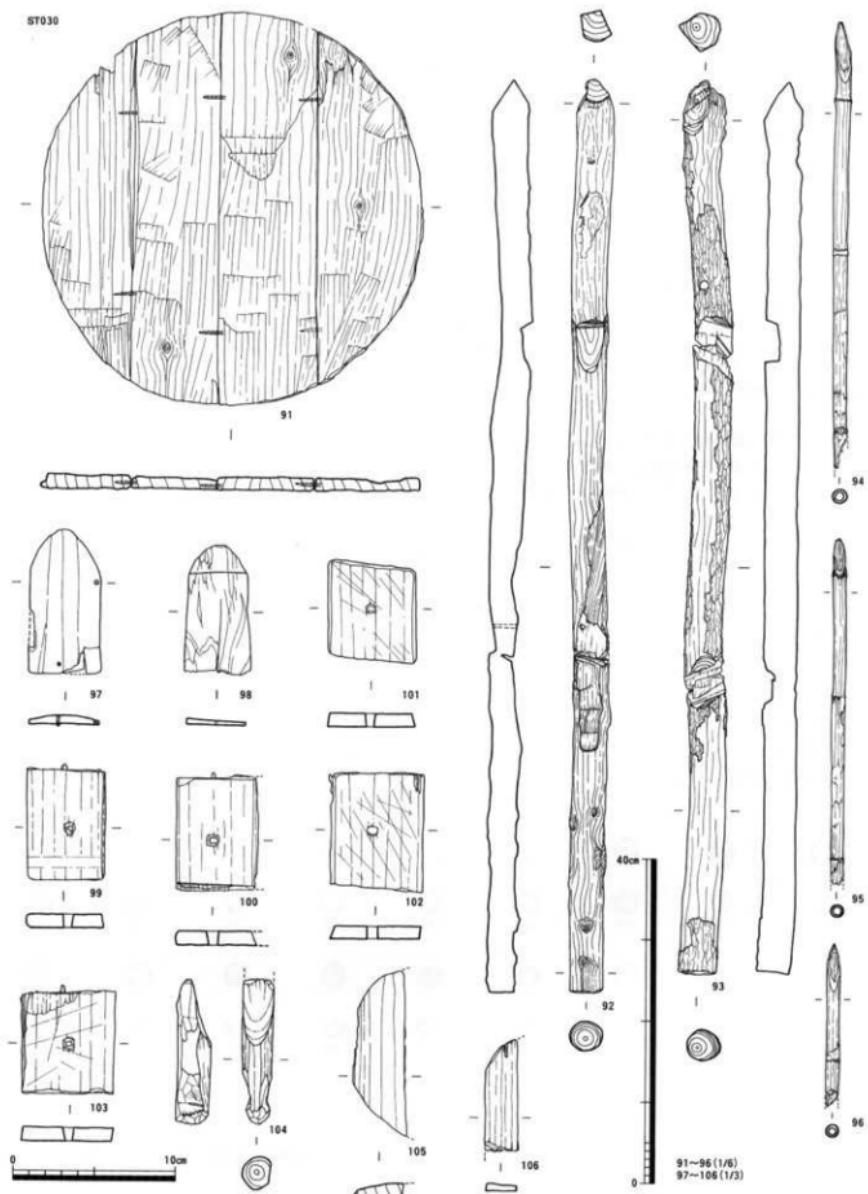


Fig.24 ST030出土遺物 (1/6、1/3)

表面は黒色系の顔料が塗布されている。101は燭台で長さ5.9cm、幅5.3cm、厚さ0.85cmを測る。菱形に近い形に成形し中央を穿孔している。面には黒色系の顔料を塗布している。102は燭台で長さ7.0cm、幅5.7cm、厚さ0.8cmを測る。103は燭台で長さ6.3cm、幅5.7cm、厚さ0.85cmを測る。背板に繋げるための竹釘が残り、中央を穿孔している。面には黒色系の顔料を塗布している。

不明製品（104～106）104は棒状の製品で折損しており、残存長8.9cm、直径1.8cmを測る。縦方向と横方向に抉りを施す。105は元々、円形に近い形状を呈していたと考えられ、残存長10.2cm、最大厚さ0.95cmを測る。106は残存長6.4cm、厚さ0.5cmを測り、先端を斜めに面取りしている。

ST035掘り方出土遺物 (Fig.25, Pla.31)

磁器

染付（107）碗片で外面に文様を描き、内面見込みは釉を力取る。

ST035棺、棺内出土遺物 (Fig.26, 27, Pla.31)

石製品

蓋（108）凝灰岩製の蓋で、直径55.8cm、厚さ5.0cmを測る。上端縁部分をやや斜めに面取りする。表面には工具痕が無数に残る。

木製品

蓋（109）凝灰岩の蓋下にあり、甕口縁の形状（歪んでいる）に合わせて成形している。直径45.0cm～46.5cm、厚さ1.3cmを測る。板材を2枚組み合わせており、上面には黄色の接着物が貼り付いており、除去すると12ヶ所に目釘穴が残存している。

陶器

甕棺（110）口縁部から体部にかけてかなり歪んで梢円形を呈する長胴の甕で、口径48.5cm～52.5cm、器高80.25cm、底径26.65cmを測る。口縁部には目跡が18ヶ所残る。外面頭部には2条の沈線が巡り体部にかけて薄く施釉する。内面はナデと工具痕が残る。底部外面には墨書痕跡が認められるが、残存状態が不良で判読できない。

木製品

底板（111）直径34.4cm、厚さ1.2cmを測る。半円形の板材を2枚組いでおり、下側には長さ27.4cm、幅2.0cm、厚さ1.4cm、長さ28.2cm、幅2.0cm、厚さ1.4cmの2本の板を4ヶ所づつ竹釘で繋いでいる。端部は甕の傾斜に合わせて斜めに削っている。直径から推定すると甕内底から約9.5cmの地点に位置する。

数珠（112～134）棺内から出土した木製の数珠で表面に黒色系の顔料を塗布している。直径0.35cm～0.45cm、厚さ0.3～0.4cmを測る。

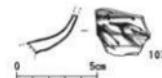


Fig.25 ST035出土遺物 (1/3)

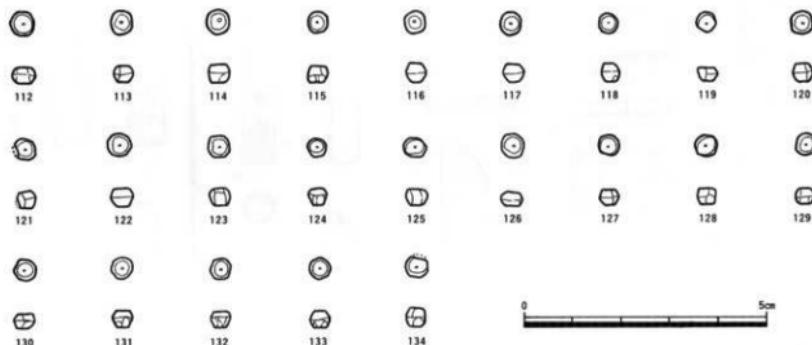
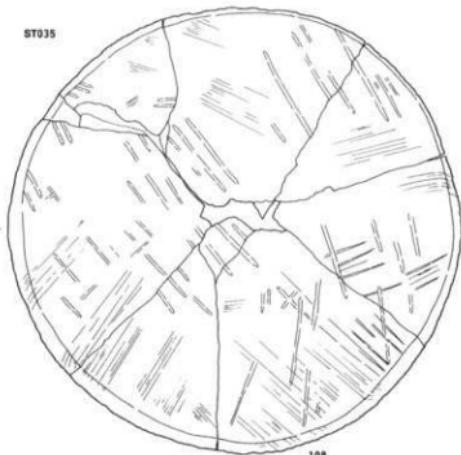
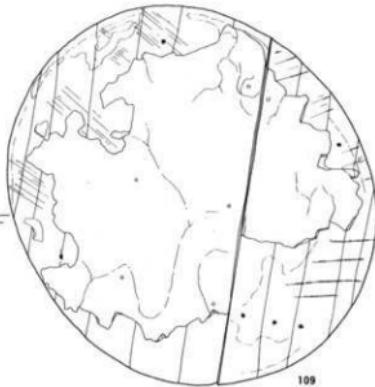


Fig.26 ST035出土遺物 (1/1)

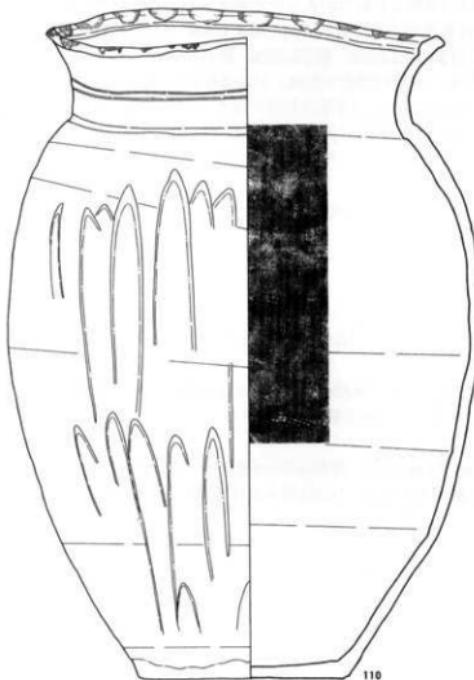
ST035



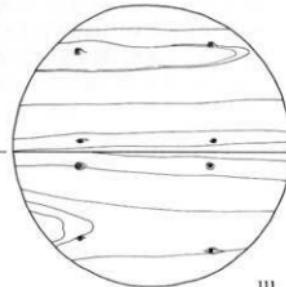
108



109



110

40cm
0

111

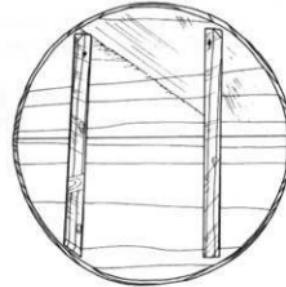


Fig.27 ST035出土遺物 (1/6)

ST035棺外出土遺物 (Fig.28、29、30、Pla.31～33)

木製品

棺台 (135～141) 135は側板で担ぎ棒を通すほど穴を開ける。長さ91.0cm、幅13.9cm、厚さ1.8cmを測る。短辺に3ヶ所づつ釘跡が存在するが、片方だけ小口からの打ち込みである。136は天板で長さ93.2cm、幅28.3cm、厚さ1.5cmを測る。2ヶ所に担ぎ棒とは違う角材を通すほど穴が開けられる。短辺と片方の長辺には計15ヶ所、ほど穴付近に2ヶ所の釘跡が残る。137は天板で長さ93.1cm、厚さ1.2cmを測る。中央は妻を乗せるために円形に切り取っており、復元直径から推定すると妻外底から約9.0cmの地点が接地する事になり、側板の幅13.9cmに収まる。138は側板で残存長60.8cm、幅14.0cm、厚さ1.9cmを測る。139は側板で残存長75.3cm、幅13.9cm、厚さ1.8cmを測る。

担ぎ棒 (140、141) 140はほぼ角柱で若干角を面取りして緩やかに成形している。片方は腐食しており残存長147.0cm、幅5.0cm、厚さ4.3cmを測る。141はほぼ角柱で若干角を面取りして緩やかに成形している。片方は腐食しており残存長125.2cm、幅3.8cm、厚さ4.4cmを測る。

不明製品 (142～149) 棺台の部材と考えられ142～145は両端に凹凸をもたせ、角柱の一面のみ斜めに切り落とす。142は長さ91.0cm、幅4.2cm、厚さ3.8cm、143は長さ91.2cm、幅4.2cm、厚さ4.2cm、144は長さ91.3cm、幅4.0cm、厚さ4.1cm、145は長さ91.1cm、幅3.6cm、厚さ4.3cmを測る。146～149は断面四角形で両端に3ヶ所づつ目釘穴をもち、149のみ18cm程を曲げている。146は長さ66.8cm、幅3.0cm、厚さ1.15cm、147は長さ61.7cm、幅3.0cm、厚さ1.2cm、148は長さ61.78cm、幅3.0cm、厚さ1.05cm、149は長さ66.6cm、幅3.0cm、厚さ1.2cmを測る。

提灯 (150～157) 全て台座であり、四隅と中央の5力所に目釘穴があったと考えられ、竹釘が残存するものもある。大きさも大小2種類存在する。150は長さ12.2cm、幅12.4cm、厚さ1.3cm、3力所は竹釘が残る。四隅の一角を三角形に削り残している。151は長さ12.25cm、幅12.45cm、厚さ1.4cm、3力所は竹釘が残る。152は長さ11.4cm、幅9.85cm、厚さ0.55cm、2ヶ所は竹釘が残る。153は長さ9.4cm、幅10.9cm、厚さ0.8cmを測る。154は長さ9.0cm、幅10.4cm、厚さ0.85cm、3力所は竹釘が残る。155は長さ9.45cm、幅8.6cm、厚さ1.1cm、2ヶ所は竹釘が残る。両面の四隅の一角を三角形に削り残している。156は長さ9.2cm、幅9.9cm、厚さ1.05cm、3ヶ所は竹釘が残る。両面の四隅の一角を小さく三角形に削り残している。157は長さ9.2cm、幅11.25cm、厚さ1.0cm、3ヶ所は竹釘が残る。

六道 (158) 燭台と考えられ、長さ9.2cm、幅7.05cm、厚さ1.15cmを測る。目釘穴はない。

不明遺構

SX001 (Fig.31、Pla.33・34)

須恵器

壺 (159) 体部から高台部にかけての片で断面四角形の高台が貼り付く。調整はヨコナデ。

甕 (160) 体部片で外面を格子目タタキ、内面は同心円の当て具痕が残る。焼成・還元良好。

土師器

火鉢 (161) 口径19.3cm、器高20.25cm、底径17.4cmを測る。体部外面は工具による横方向の工具痕が残り、内面は横方向のハケ目、外底はナデ。外面は灰茶色、内面は黒褐色を呈する。

磁器

染付 (162～164) 162は口紅の皿で口径13.2cm、器高2.8cm、高台径7.6cmを測り、内面に竹を描く。163は皿で型紙模による文様を施し、高台内側の釉を力キ取る。164は碗×皿片で内外面に文様を描く。

SX003 (Fig.37、Pla.34)

磁器

染付 (165) 底部が膨らむ慢頭心碗で高台径4.8cmを測る。明染。

ピット

SP009 (Fig.30、Pla.34)

磁器

染付 (166) 皿片で底部接地面の釉を力キ取る。内外面に文様を描く。透明度、光沢度は高い。

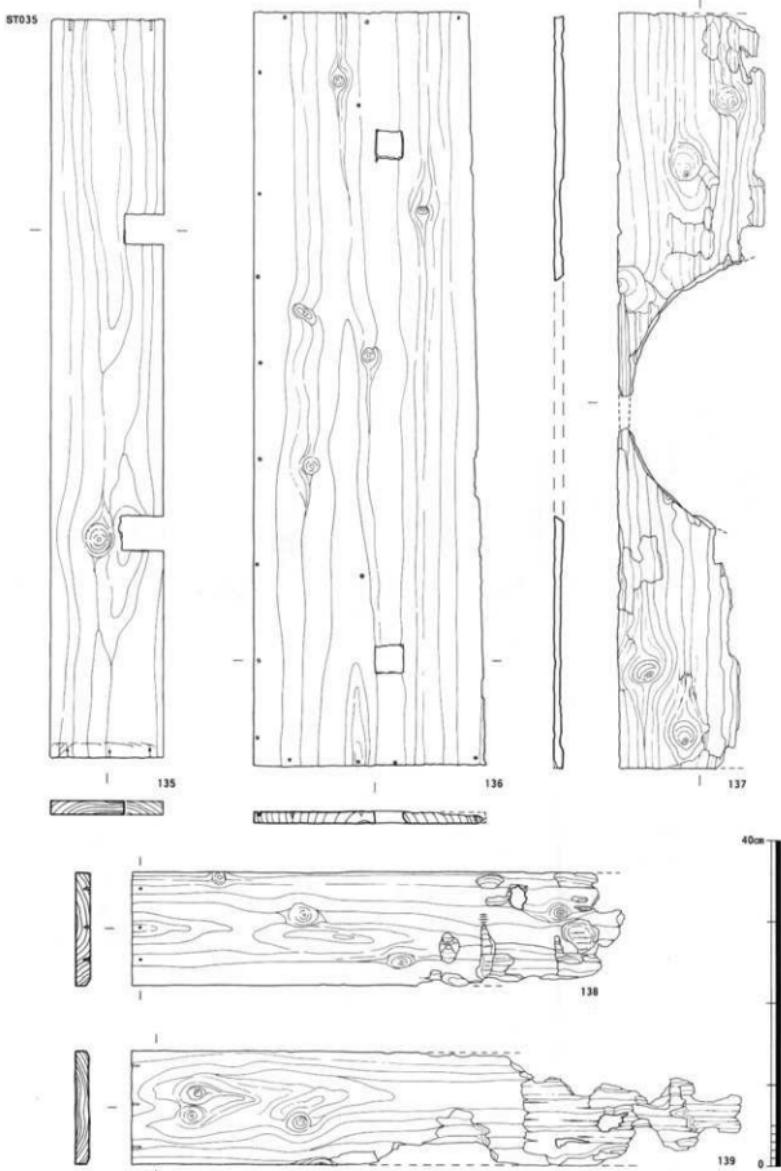


Fig.28 ST035出土遺物 (1/6)

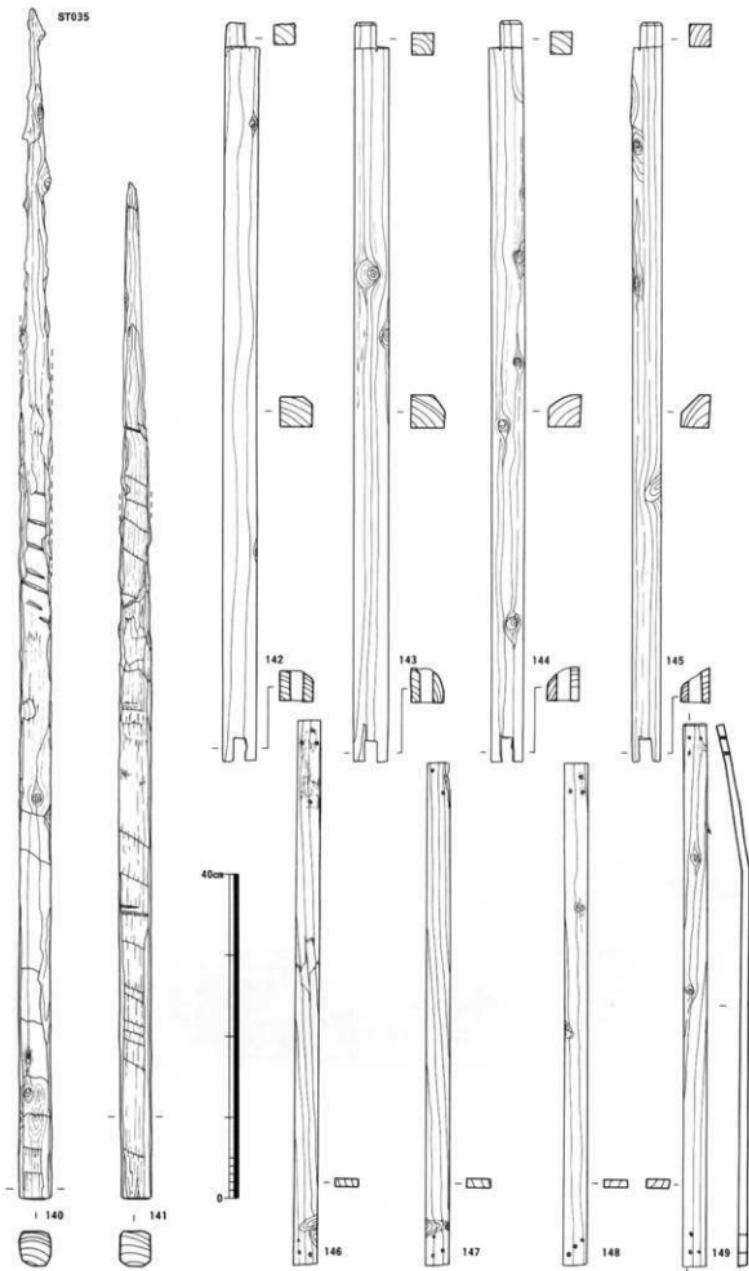
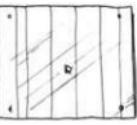
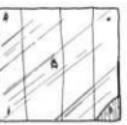
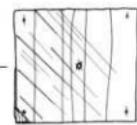
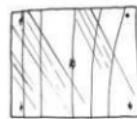
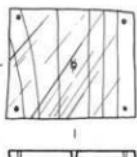
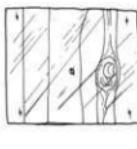
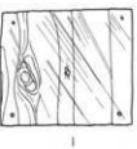
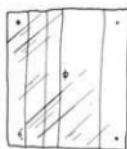
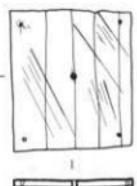
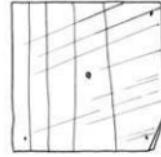
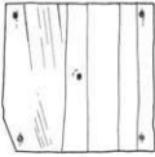
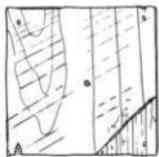
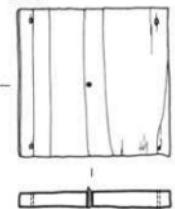


Fig.29 ST035出土遺物 (1/6)

ST035



0 20cm

Fig.30 ST035出土遺物 (1/4)

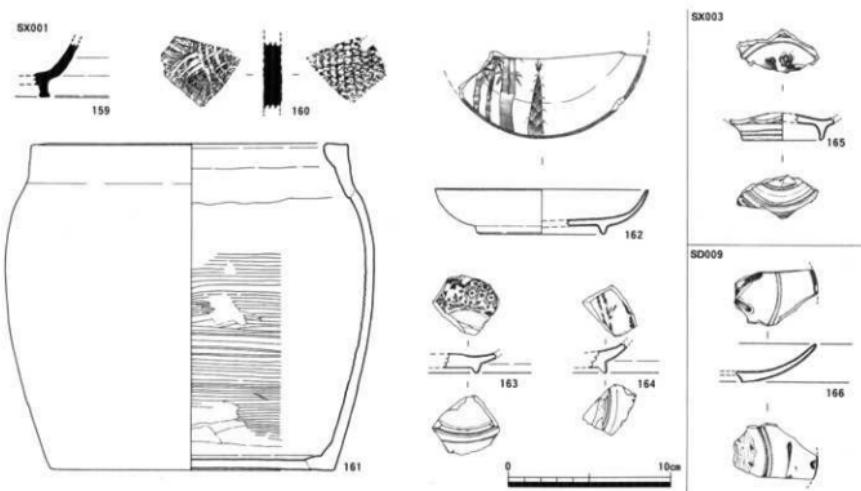


Fig.31 SX001・003、SP009出土遺物 (1/3)

(第II面)

溝

SD045 (Fig.32, Pla.34)

土師器

小皿 (167) 口径6.0cm、器高1.55cm、底径4.1cmを測る。内外面ともに明黄灰色。調整は磨耗のため不明。
坪 (168、169) 168は底部糸切り、内外面は磨耗が激しいため不明。169は口縁部片で内面はヨコナデ。

土鍋 (170) 端部を折り曲げ玉縁状に仕上げる。調整はヨコナデ。明黄茶色を呈する。

瓦質土器

すり鉢 (171) 片口のすり鉢で内面にすり目を入れる。調整は斜方向のナデ。

鍋 (172) 内面は横方向のハケ目、外面は斜方向のハケ目。口縁部外面は煤が付着する。

磁器

染付 (173、174) 共に皿で呉須で内面は囲線を、外面は文様を描く。明染め。

SD055 (Fig.32, Pla.34・35)

土師器

坪 (175) 糸切りで底径7.6cmを測る。調整はヨコナデ、ナデである。

土鍋 (176～182) 全て口縁部を玉縁状に仕上げる鍋で、外面に煤が付着する。182は口径48.0cmを測る。内面は横方向ないしは斜方向のハケ目、外面は179がナデと指頭痕、180、182がハケ目の後にナデ、他は磨耗のため不明。

すり鉢 (183) 茶褐色を呈し、内面に斜方向にすり目を入れ口縁端部はヨコナデ、外面はナデで煤が付着する。

瓦質土器

火鉢 (184、185) 184は口径30.0cmを測る。外面にはスタンプが残り、内面は指頭痕と横方向のハケ目である。灰茶色を呈し焼成良好。185は外面に2状の突帯を貼り付け上位に斜方向に区割りした間に爪形文を刻印する。内面は横方向のハケ目。暗灰色を呈し焼成不良である。

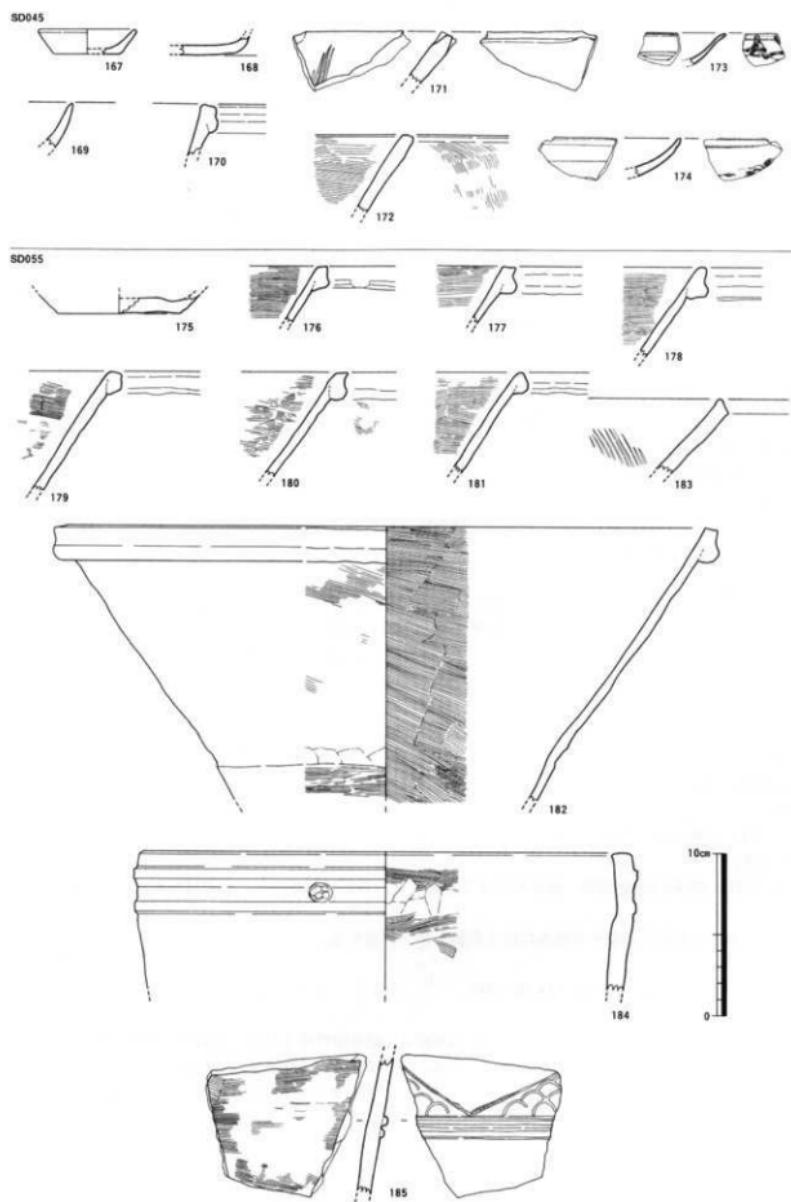


Fig.32 SD045、055出土遺物 (1/3)

SD060 (Fig.33, Pla.35・36)

土師器

壺 (186) 口径12.85cm、器高2.5cm、底径8.65cmを測る。底部糸切り、体部内面に油煙のような付着物がある。底部は意図的に割っている感がある。

小皿 (187) 口径6.3cm、器高1.75cm、底径4.3cmを測る。底部糸切り、調整はヨコナデ。

土鍋 (188) 口縁を玉縁状に仕上げる。調整は磨耗が激しく不明。

瓦質土器

火鉢 (189) 外面に2条の突帯を貼り付け、その間にスタンプを施す。内面は横、斜方向にハケ目。

磁器

青磁 (190～192) 190、191は椀片で外面に雷文を施す。龍泉窯系。192は口縁が輪花状になる盤で、内外面に貫入が見られる。龍泉窯系か。

SD062 (Fig.33, Pla.36)

土師器

土鍋 (193、194) 193は口縁部を折り曲げ断面四角に仕上げる。体部は丸みをもち、外面上位は斜方向のハケ目、下位はつくりが薄く調整はナデ、内面は横方向のハケ目。194は鈎が取り付き鈎から下は煤が付着する。鈎接合時の工具痕が残る。

SD065 (Fig.33)

土師器

壺 (195) 底径6.95cmを測り底部は糸切り。調整はヨコナデ。

SD075 (Fig.33, Pla.36)

土師器

壺 (196、197) 196は体部が直線的に開くタイプの壺で口径14.40cm、器高4.25cm、底径6.4cmを測る。底部は糸切り、調整はヨコナデ。197は体部中位から若干内湾するタイプの壺片で底部糸切り。

土鍋 (198、199) 口縁端部を玉縁状に仕上げ、外面には指頭痕、内面は横方向のハケ目が残る。

磁器

青磁 (200、201) 200は碗の小片である。口縁端部に若干丸みをもたせ、内面に貫入が入る。201は高台径3.95cmを測る。内外面に透明に近い釉を施し、ピンホールが見られる。朝鮮系。

染付 (202、203) 202はくらわんか碗の体部小片で、内面に草花文を描く。胎土に黒色粒子を含む。203は端反り碗片で口縁部内面に雷文、外面は草花文を描く。

陶器

碗 (204) 口錫の碗で口径10.4cm、器高4.35cm、高台径4.7cmを測る。体部上半は黄茶色、下半は茶色の釉を施す。

燭台 (205) 底径6.0cmを測り、底部糸切りで穿孔する。外面は明赤褐色、内面は黒褐色を呈する。

石製品

石鍋 (206) 滑石製の石鍋片で外面には工具痕と煤が付着する。

墓

ST040棺内出土遺物 (Fig.33, Pla.36・37)

磁器

白磁 (207、208) 207は皿で若干歪んでいる内面は貝殻文状に仕上げる。型押し。208は色絵小碗で口径9.0cm、器高4.25cm、高台径2.95cmを測る。内面に盃、斐文様、全面施釉で高台接地面は釉を削り取る。

染付 (209、210) 209は手塙皿で内面にコンニャク印判で葉文を描き長辺径8.1cm、器高1.75cm、高台径4.7cmを測る。全面施釉で高台接地面のみ釉を削り取る。

陶器 (210) 色絵碗で口径12.35cm、器高5.8cm、高台径4.55cmを測る。内面に草花文を描き、見込みは釉をカキ取る。高台には砂目が4ヶ所残り、体部から口縁部にかけての一部を分破損のために漆接ぎで修復した痕跡が残る。

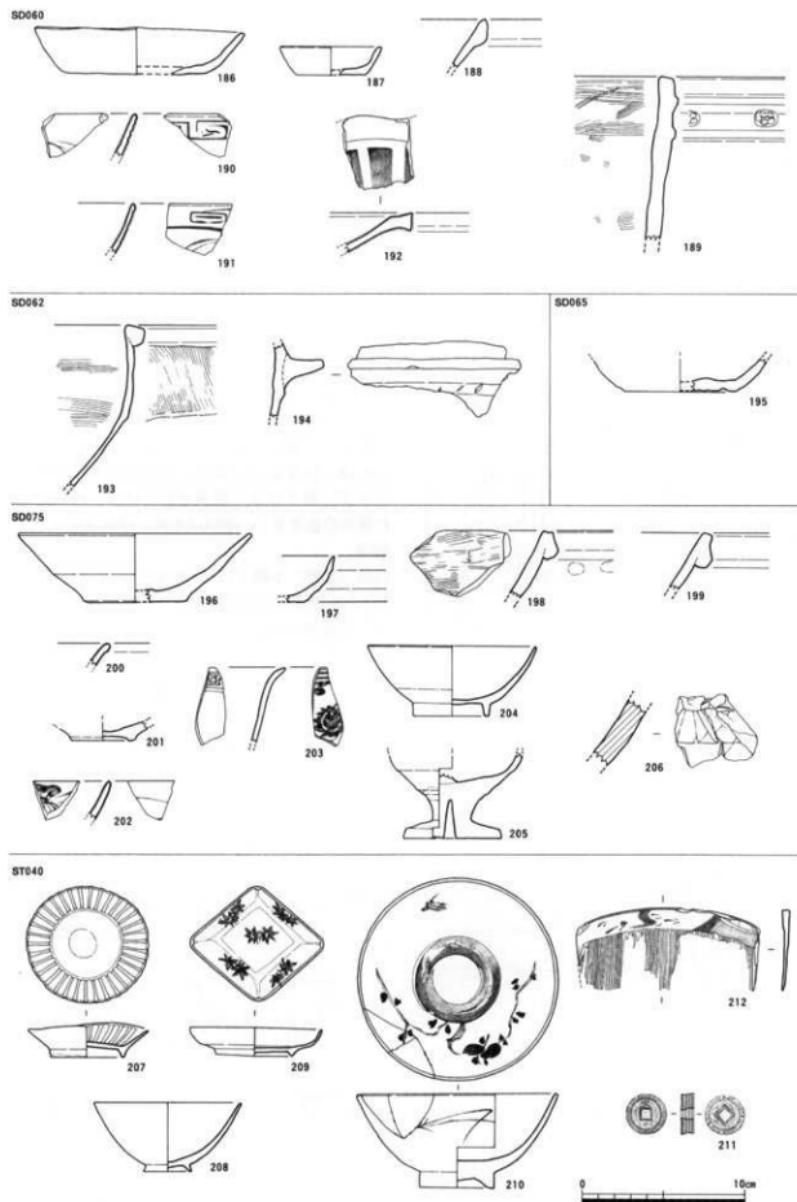


Fig.33 SD060・062・065・075、ST040出土遺物 (1/3)

銅製品

六道銭 (211) 寛永通宝(文銭)を6枚重ね合わせている。直径2.5cm、厚さ0.8cmを測る。

木製品

櫛 (212) 漆塗りの櫛で、長さ6.5cm、幅11.3cm、厚さ0.1cm~0.4cmを測る。

ST040棺 (Fig.34, Pla.37)

木製品

木棺底板 (213~216) 方形の木棺の底板片である。213は残存長84.0cm、厚さ1.9cm、214は残存長40.2cm、厚さ1.4cm、215は残存長16.3cm、厚さ1.2cm、216は残存長15.7cm、厚さ1.1cmを測り、側板と接合するための目釘穴が2ヶ所残存している。

底板×蓋止板 (217) 残存長13.5cm、厚さ1.0cmを測る。1ヶ所目釘穴が残存している。

ST040掘り方、棺内 (Fig.35, Pla.37・38)

土師器

小皿 (218, 219) 218は口径8.4cm、器高1.9cm、底径4.1cmを測る。底部糸切りで調整はヨコナデ。胎土に角閃石を含みよく精選されている。外面は茶褐色で煤が付着する。219は口径8.5cm、器高1.85cm、底径4.1cmを測る。底部糸切りで調整はヨコナデ。胎土はよく精選されている。内外面ともに淡灰白色を呈し、焼成は不良。ほぼ完形である。

磁器

白磁 (220) 小碗で口径8.5cm、器高4.35cm、高台径3.2cmを測る完形品である。全面に薄く施釉し、高台接地面は釉を削り取る。

青磁 (221) 口縁部片で外面に雷文を施す。内外面に貫入が見られる。龍泉窯系。

染付 (222) 色絵碗で口径11.5cm、器高6.3cm、高台径4.5cmを測り、口縁部は若干歪む。全面施釉で高台接地面は釉を力き取る。外面は藤の文様、内面に双蝶文を描く。

銅製品

銭 (223) 寛永通宝で一部欠損する。破損が激しく図示していないが、別に1枚出土している。

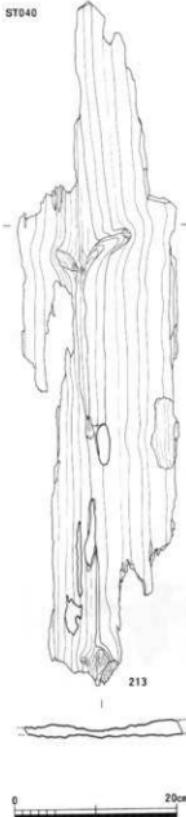


Fig.34 ST040出土遺物 (1/6)

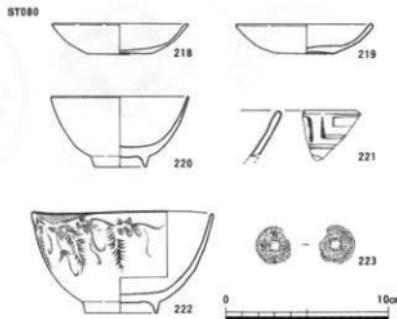
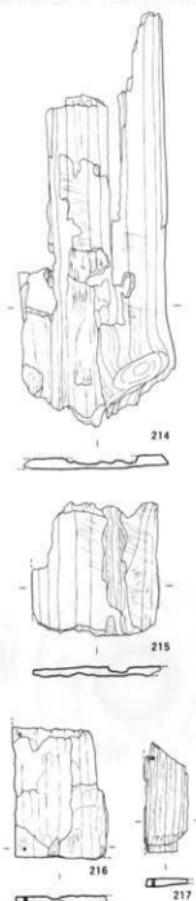


Fig.35 ST080出土遺物 (1/3)

ST080棺 (Fig.36、Pla.38・39)

木製品

木棺 (224～227) 224は底板片で残存長64.7cm、厚さ0.85cmを測る。225は底板片で残存長45.0cm、厚さ1.0cmを測る。226は側板片で残存長16.5cm、厚さ0.6cmを測る。227は側板片で残存長11.25cm、厚さ0.6cmを測る。

蓋止 (228～230) 細い板状の棺の蓋止片と考えられ、228は長さ10.65cm、厚さ0.8cm、229は長さ11.3cm、厚さ1.0cm、230は残存長12.4cm、厚さ0.9cmを測る。

不明製品 (231～234) 全て竹製品で棺底と棺外で検出したものである。全てヘラ状に加工し231、232は先端を尖らせ、233、234は面取りする。231は残存長11.6cm、厚さ1.15cm、232は残存長17.1cm、厚さ0.8cm、233は残存長8.5cm、厚さ1.1cm、234は残存長6.55cm、厚さ0.45cmを測る。

不明遺構

SX067 (Fig.36、Pla.39)

土師器

土鍋 (235) 口縁部を玉縁状に仕上げる。磨耗が激しく調整は不明。

磁器

染付 (236) 口径11.9cmを測り、外面に文様を描き、内面は4本の圈線が入る。

陶器

火入 (237) 口径10.0cmを測る。口縁端部を折り曲げ玉縁状に仕上げ頸部から体部にかけて屈曲する。

SX113 (Fig.36、Pla.39)

磁器

?磁 (238) 小碗の底部片で体部を意図的に打ち欠いている。高台径3.8cmを測り、軸は厚く、高台には砂目が残る。

ビット

SP042 (Fig.36、Pla.39)

土師器

小皿 (239) 口径7.2cm、器高1.4cm、底径5.35cmを測る。底部糸切り、調整は磨耗のため不明。

SP064 (Fig.36、Pla.39)

土師器

土鍋 (240) 口縁部を玉縁状に仕上げ体部下半から屈曲し器壁が極端に薄くなる。外面には煤が付着する。

磁器

染付青磁 (241) 小坏片で、口径8.0cm、器高5.0cmを測る。内面に四方擇、見込みに圈線を描く。

陶器

すり鉢 (242) 口縁部片で内面にすり目を施し、暗赤茶色を呈する。

甕 (243、244) 243は口径19.6cmを測る。内外面に施釉し、内面は釉だれが顯著である。244は口径27.8cmを測る。頸部には波状のハケ目を施し、明黄茶色を呈する。

SP107 (Fig.37、Pla.40)

陶器

甕 (245) 口径15.0cmを測る。胎土は粗く、口縁部を内側に折り曲げ、内外面に工具痕が残る。

SP108 (Fig.37、Pla.40)

土製品

壇 (246) 口径6.2cm、器高3.5cm、厚さ1.1cmを測る。外面は青灰色、内面は淡茶褐色を呈し、内外面に金属の融解物が付着する。

旧クリーク (Fig.37、Pla.40)

磁器

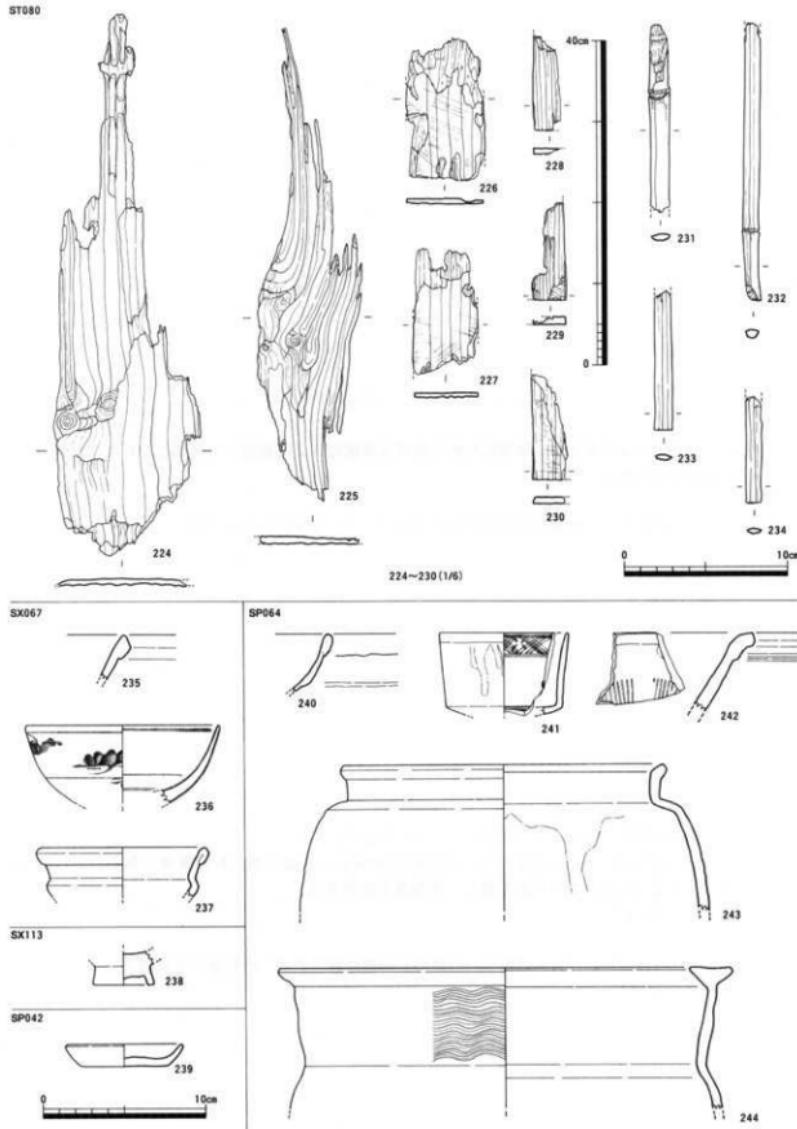
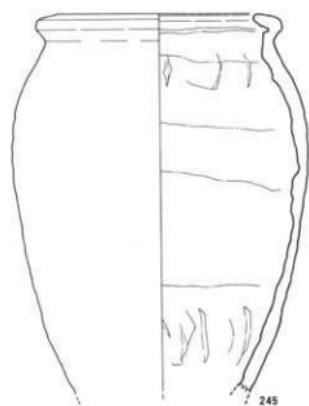
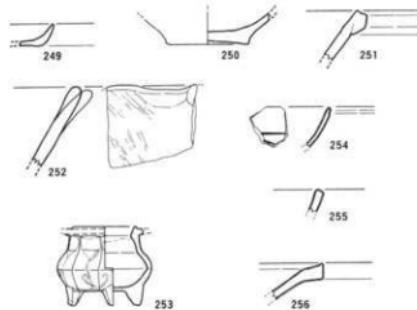


Fig.36 ST080、SX067・113、SP042・064出土遺物 (1/3)

SP107



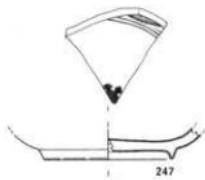
整地層



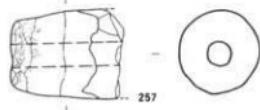
SP108



旧クリーク



地山



黄土

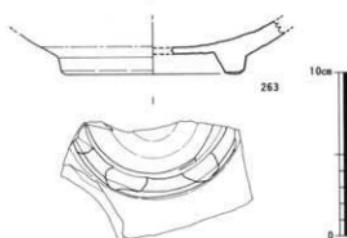
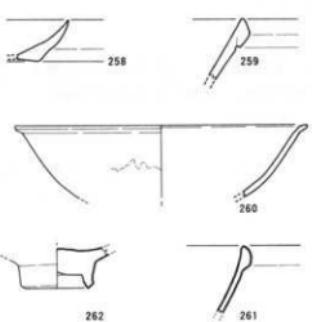


Fig.37 SP107、108、旧クリーク、整地層、地山出土遺物（1/3）

染付 (247) 高台径7.9cmを測る皿片である。内面にコンニャク印判で五弁花を施し、外面は圓線と中央に文字を描く。

陶器

皿 (248) 口径9.0cm、器高2.6cm、底径3.05cmを測る。底部は柱状で体部が直線的に開く。茶褐色を呈する。

整地層 (Fig.37、Pla.40)

土師器

小皿 (249) 器高1.35cmを測る。底部糸切りで明黄白色を呈する。

坏 (250) 底径5.1cmを測る。底部糸切りで内面ヨコナデ、外面は工具痕が残る。明黄赤色を呈する。

土鍋 (251) 口縁端部を玉縁状に仕上げ、内面は不定方向のナデ、外面には煤が付着する。

鉢 (252) 片口の鉢で内面は磨耗が激しく調整は不明。外面は不定方向にハケ目を施す。胎土は粗い。

磁器

白磁 (253) 三足の香炉である。器高4.85cm、高台径4.45cmを測る。外面と口縁部内面まで施釉する。

青磁 (254～256) 254は碗の口縁部片で口縁外面に沈線が巡る。内面には文様を施す。同安窯系。255は碗の口縁部片である。256は盤の口縁部片で端部を若干摘みあげる。龍泉窯系。

地山 (Fig.37、Pla.40)

土製品

輪羽口 (257) 厚さ4.95cm、穿孔径1.45cmを測る。先端部が残存し、途中で折損している。先端から3.5cmまでに被熱痕が残り、融解した付着物が残る。

表土 (Fig.37、Pla.40)

土師器

坏 (258) 器高2.55cmを測る。体部中位から若干内湾する。調整はヨコナデ。

土鍋 (259) 口縁端部を玉縁状に仕上げる。磨耗が激しく調整は不明。黄茶褐色を呈する。

磁器

白磁 (260、261) 260は口径18.0cmを測る。口縁端部を外側に折り曲げる。体部は内湾しながら開く。261は口縁部片で端部を玉縁状に仕上げる。

青白磁 (262) 底部片で高台径4.0cmを測る。外面は釉だれし高台部まで斑にかかる。内外面には貫入がみられ粗いつくりである。

陶器

鉢 (263) 高台径10.8cmを測る。内面に縱方向の波文、見込みに砂目が残る。体部内外面に施釉、高台、高台内面は露胎。暗茶褐色を呈する。

IV. まとめ

(1) 近世墓について

調査区からは計8基の近世墓を検出した。内訳は長形木棺墓4基、甕棺墓2基、桶棺墓1基、不明1基である。これらの墓には墓石がないために、埋葬年代を特定する事は困難であるが、近隣での調査事例や副葬品、甕棺から江戸時代後半以降の墓であると推定している。検出された各墓から得られた資料から、当時の埋葬方法について考察する。

・長形木棺墓 (ST013, 040, 050, 080)

全て棺の長軸が1mに満たない長さで(29寸~24寸)、短軸も0.5m前後(20寸~13寸)である。ST013は足の骨が倒れて曲げていること、棺自体の高さが0.3m前後であるため、大川市西新開遺跡で検出された埋葬方法と同様で、北頭位右側臥屈葬若しくは坐葬であった可能性が考えられる。

被葬者の性別が判断できるST040は副葬品に櫛と紅皿が検出されており、女性であることが推定できる。棺の規模から推定すると、西新開遺跡の長形木棺では27寸以下は成年男性若しくは熟年女性であり、比較すると当遺跡の長形木棺の被葬者はST080が成人、ST013, 040が成人若しくは弱年であったと推定できる。大木町の横溝中島遺跡の方形箱棺では火葬された後に納められている状況であるが、当遺跡では土圧による棺蓋の落ち込みにより残存骨の土葬、火葬の判別はできなかった。

副葬品から年代を推定する資料はST040の白磁皿、染付皿、色絵碗、寛永通宝、ST080の色絵碗、寛永通宝である。ST040の皿3点はセットで出土しており、18世紀初頭、色絵碗については17世紀末と考えられる。寛永通宝は背に「文」が鋳出される文錢(初鋳寛文8年、1668年~明治2年、1869年)であるため埋葬年代を18世紀初頭と推定する。ST080出土の寛永通宝は古寛永通宝(初鋳寛永3年、1626年~寛文8年、1668年)、色絵碗が17世紀末と推定する。

ST080は竹(半裁しハラ状に加工した)を木棺南辺外側に縦方向に、棺底部には平行に検出し、横溝中島遺跡A1号墓と同様に棺を固定するための杭的なものと考えられる。

・甕棺墓 (ST025, 035)

2基検出しており、棺である甕の法量、調整技法等はほぼ同じで、肥前系の「飯胸甕」である。この甕は18世紀以降に肥前で製作され、現在でも近隣の民家では軒先に置かれており、以前は水甕や肥料溜、醤油、酒等の貯蔵用の甕として利用されてきたものである(三浦町の道手牟田遺跡の甕棺分類、I-A類)。

棺蓋については、2基共に木製の蓋を歪んだ甕口縁に合わせて作成しており(ST025は甕内に落ち込んでいた)、ST035は甕と木蓋を接着し上に凝灰岩製の蓋を密着させるための接着物「じゃん」(道手牟田遺跡出土ST11に見られる痕跡)を木蓋上に全面に塗布している。凝灰岩製の石蓋は歪んだ甕口径より一回り大きく円形であり、棺蓋専用に作成されたものであろうか。

棺内については甕棺である為、人骨は良好な状態で残存していた。底板等も検出しているが流入水等で正位置を留めてはいない。図上での復元では、ST025が甕内底から約6.0cm上で、ST035が甕内底から約9.5cm上に收まる。また、棺内からは人骨以外に数珠とST025で粉殻、ST035で木屑を大量に出土

(単位:cm)

| 遺構番号 | 方位 | 掘り方長軸 | 掘り方短軸 | 掘り方深さ | 棺長軸 | 棺短軸 | 棺高さ | 副葬品 | 骨 | 備考 |
|------------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|--------------------------|-------|---------------------|
| 木棺墓 N-W | | | | | | | | | | |
| ST013 | 21°48'5" | 142 | 106 | 70 | 74 | 40 | 25 | - | - | 一部 甕のみ一段下がる |
| ST040 | 13°14'27" | 120 | 82 | 23+a | 82 | 52 | 20 | 六道鏡、拂、磁器皿3枚 | - | 一部 |
| ST050 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 棺一部のみ検出 |
| ST080 | 18°55'29" | 178 | 110 | 87 | 90 | 60 | 30 | 磁器碗、鏡、竹製品 | - | 一部 甕のみ一段下がる |
| 甕棺墓 | | 掘り方長軸 | 掘り方短軸 | 掘り方深さ | 甕口径 | 甕器高 | 甕底径 | 副葬品 | 骨 | 備考 |
| N-W | | | | | | | | | | |
| ST025 | GN | 122 | 118 | 113 | 46.5~50.0 | 82.2 | 27.1 | 六道、提灯、竹旗、担ぎ棒 数珠、粉殻、底板 | ほばー一体 | 甕蓋は石蓋、本蓋 |
| ST035 | N-E | | | | | | | | | |
| | 17°21'14" | 118 | 118 | 165 | 48.5~52.5 | 80.25 | 26.65 | 六道、提灯、竹旗、柄合 数珠、木屑、底板 | ほばー一体 | 甕蓋は石蓋、本蓋 本蓋には接着物 |
| 桶棺墓 | | 掘り方長軸 | 掘り方短軸 | 掘り方深さ | 桶口径 | 桶器高 | 桶底径 | 副葬品 | 骨 | 備考 |
| N-W | | | | | | | | | | |
| ST030 | S°58'21" | 200 | 143 | 160 | - | - | 51.5 | 六道、竹旗、不明製品 | - | 掘り方堆底に織維物 |

Tab.2 近世墓計測値一覧表

しており、これは被葬者を壺内で安定させるためのものであろうか（横溝中島遺跡A3号墓と同様）。数珠については木製のみで径が0.45前後、高さが0.35前後でほぼ統一されている。

壺棺外の掘り方からは様々な木製品が出土している。共通する木製品には六道（背板、燭台）、提灯台座、竹旗竿であり、提灯台座については大小2種類存在している。また、ST035出土の棺台は天板が一部欠損するがほぼ全容が解る資料で葬送行列を想像させる遺物である。棺台には飾りのようなものは確認できず、シンプルなつくりである。他例では棺台は地域で保管し、再利用していた所もあるが、小都市高松家墓と同様に墓掘り方に棺と一緒に埋葬していることから、急場で作られ、穢れの思想から同時に埋葬されたのであろうか。



棺台復元（出土遺物）写真

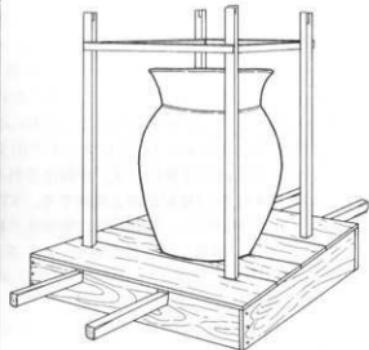


Fig.38 棺台復元図

・桶棺（早桶）墓（ST030）

1基のみ検出している。掘り方は今回検出した墓群で一番大きい。担ぎ棒とセットとして埋葬されており、掘り方に担ぎ棒や竹旗竿が收まらず壙底側面を抉り埋葬している点等、高松家墓地や西新開遺跡の近世墓と近似する要素をもつ。

桶（早桶）については、約21枚から23枚の側板を組み、竹のタガで下位と中位（上位は欠損）を締めている。これらの板材は幅が大中小に分かれしており、検出状況では交互に組み合わせている状況で、製作過程での選択を行っているのではないか。また、側板のタガ締め部分を穿孔しているものもあり、タガで締め上げた後の釘止めか。

棺外からは竹旗竿、六道、不明木製品を出土しており、六道は背板と燭台のセットで西新開遺跡分類のIII-c類である。不明木製品については、その形状や使用目的について判断し得なかった。可能性としては棺飾りの一部の可能性が考えられる。

検出された近世墓の全体的な所見をまとめておく。

調査地は明治二十一年の字図に墓地として掲載されている（Fig.39）。墓石が存在しないため埋葬年代の特定は困難であるが、出土遺物から17世紀後半以降に埋葬された墓と推定する。壺棺、桶棺、方形木棺（一部）が成人棺、方形木棺の一部が弱年層の棺として考えられ、小児や嬰兒棺はない。しかし、

今回の調査は敷地の一部であるため、周辺に存在する可能性が極めて高いと考えられる。

また、墓の検出面が第Ⅰ・Ⅱ面に分かれていることは整地層との関係で検出が困難であったことから、ほぼ第Ⅰ面の検出として取り扱いたい。ただし、各墓の方位がST025のみ真北で、その他の墓については後に述べるが第Ⅰ・Ⅱ面で検出された溝の方位に沿っていることから地形の制約（クリークとの関係）があった事を指摘しておく。

被葬者については、調査地が雷神社参道北側に存在し、南側は江口組大庄屋田中家の屋敷地である事から田中家墓地ではないかとの推定をしていた。しかし、田中家宅の東側に田中家の墓地群があり、確認できる最も古い墓で寛永年間（1624～1644年）から現在に至る計24基の墓が現存する（明治二十二年字図に墓地として記載）。田中康夫氏によると以前は敷地内の墓石が倒れ、放置しているのを先代がまとめて現在の墓地群を作ったとの事である。平成16年に敷地東側道路側溝改修工事時に確認しただけでは9基以上の近世墓が検出されていることから、田中家墓地はこの一帯でほぼ間違いなく、今回調査した墓群については別の家系の墓地である可能性を指摘しておく。

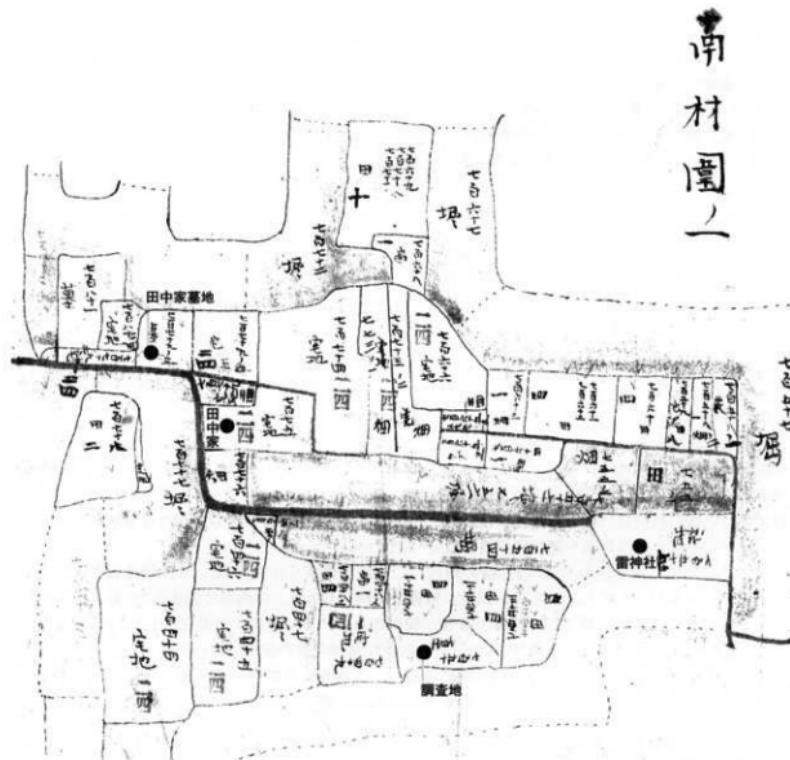


Fig.39 明治二十一年 字図

(2) 中世から近世にかけての溝について

東西に細長い調査区に直交する形で、整地層下層の第Ⅱ面から計7本の溝を検出した。これらの溝は現在のクリークに切られており、出土遺物から、中世後半～近世後半までには埋没した溝として認識している。各溝に対する若干の所見を本文で述べているが整理して記し、全体像を概観する。

- ・ SD059 西側調査区で検出した溝で、その殆どをクリークに切られているため形状等、不明な点が多い溝である。
- ・ SD045 東側調査区で検出した溝で、他の溝と方位が若干異なり、真北に近い。断面は緩やかなV字を呈する。幅2.1m、深さ1.3m。遺物から埋没時期を近世後半と考える。
- ・ SD055 SD045東隣で検出した溝で、方位が若干東に振れており、現況の地割りに近似する。断面は緩やかなU字を呈する。幅1.45m、深さ0.73m。遺物から埋没期を中世後半から近世初頭と考える。
- ・ SD060 SD055東隣で検出した溝で、方位もほぼ同じか若干西へ振れる（東側立ち上がりが切り合い関係にある為）。断面は緩やかな逆台形を呈する。幅1.2m、深さ0.75m。遺物から埋没期を中世後半と考える。
- ・ SD062 SD055、060に切られ、SD065を切る唯一東西方向の溝である。幅0.7m、深さ0.29m。遺物から埋没期を中世と考える。
- ・ SD065 SD060に切られる溝で、方位はSD055と同様である。断面は緩やかなU字を呈する。深さ0.55m。遺物が少量のため時期については不明である。
- ・ SD070 SD075西隣で検出した溝で、方位はSD055に近似する。幅0.9m、深さ0.55m。遺物は1点のみ（未掲載土師器系切り坪）のため判断は困難である。
- ・ SD075 検出した溝で最大幅をとる溝である。ST040と切り合い関係にあったため、遺物の墓掘り方遺物の混入が考えられる。方位はSD055、070に近似する。幅3.7m、深さ1.7m。遺物から埋没時期判定は困難である。

溝と周辺地形と歴史的環境の考察

調査地は明治時代の字図や現在の地割り等で観察すると、雷神社を中心に旧クリークが不定形に取り囲む様に形成されている。検出された溝から旧地形を想定させるような痕跡が全く見られないのが不可解である。検出された溝は中世から近世墓が造営される時期までには埋没し整地されている事から溝の性格について以下の事を指摘しておく。

- ・ 雷神社は寛正五年（1464年）坂東寺から江口村宋専の先祖が勧請しており、寛文十年（1670年）には社殿、楼門等が存在する（寛文の社方開基）。江口組大庄屋田中家は承応二年（1653年）に下広川庄二十三村の大庄屋となっており（田中家家系図）、整地層からの切り込みとなる近世墓の時期を17世紀後半以降に比定する事から、検出された溝は整地層下層からの切り込みであり、現況クリークに切られる事から15世紀から17世紀後半までの遺構と考える。
- ・ 検出された溝には深さ2m近くに至る断面V字をとる防衛的性格をもつ溝も含まれる事から、クリークというより居館若しくは集落を囲む区画溝としての位置付けをしたい。
- ・ 筑後市島田地区（当遺跡から南へ約1kmの地点）に彼岸田遺跡¹⁵が存在する。15世紀代を主体にする豪族居館跡で、東西110m以上、南北36m以上の外堀と東西116m以上の内堀に囲まれた1町半程度の居館跡である。掘立柱建物や土塁、江戸後期の墓等が検出されている。遺構の性格については花宗川南に存在する事から14世紀後半から15世紀代の水田荘大鳥氏閔連氏族の居館跡として考えられている。今回の調査地は水田荘との境界である花宗川北側に位置し、三瀧荘とも¹⁶境界付近である広川荘に存在する。彼岸田遺跡を広川荘と対抗する水田荘の前線基地的性格と位置付けるならば、当遺跡の溝に関しても彼岸田遺跡と同時期に營まれた居館跡を区画する溝として推定したい。しかし、調査地が僅少で溝以外の建物等の遺構は検出しておらず、あくまで今回の調査で得られた資料からの問題提起をしたい。周辺での今後の調査に期待するものである。

参考文献

(註)

- 註1.『西新聞遺跡』大川市文化財調査報告書 第4集 1997年 大川市教育委員会
- 註2.『横溝中島遺跡』福岡県文化財調査報告書 第150集 2000年 福岡県教育委員会
- 註3.『道手牟田遺跡』三瀬町文化財調査報告書 第2集 1993年 三瀬町教育委員会
- 註4.『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告-16』小都市所在高松家墓地の調査 1990年 福岡県
教育委員会
- 註5.平成12年から13年に福岡県教育委員会が発掘調査。
- 註6.『長崎坊田遺跡』筑後市文化財調査報告書 第23集 1999年 筑後市教育委員会
- 註7.小田和利「彼岸田遺跡出土の呪符木簡」九州歴史資料館『研究論集28』 2003年 九州歴史資料館

参考文献

『筑後二川郷土史』 1984年 筑後郷土史研究会 筑後市教育委員会

『筑後市史』 1997年 筑後市

追記

試掘・発掘調査時に近世墓と判明した時点で、この墓の被葬者は誰であろうか?という疑問を埋めるべく近隣の家を回り情報を集めたが、皆一同に「墓があったのは知っている」という回答しか得られなかった。墓石に関しては「クリークぎわに並んでいた」という情報しかなく、当市で初めて近世墓の詳細な調査を行った文化財担当者としては非常に困った記憶がある。また、人骨についても調査後、別の場所に埋め戻すか、取り上げて学術研究の資料として取り扱うかで随分悩んだが、地元行政区長である江口哲史氏のご配慮により火葬する事になった。江口氏のご協力に感謝したい。また、現場での作業や人骨の洗浄・乾燥作業等を一生懸命に手伝って頂いた現場作業員の方々にも感謝したい。

昨今、お葬式も様変わりしている。通夜も葬儀も設備の整った葬儀場で行われ、人生の終焉を自宅や生まれ育った環境で過ごす時間さえ失われつつある。しかし、現在でも戦前からの風習が残り、独特な葬送儀礼や土葬が残る地域も存在しており、その土地の慣習を大切に残すことは、伝統的な祭りを保存する事と同様に地方における民俗的資料としても重要であると思う。

調査された墓群に眠る人々は今から200年以上前の江口地区の人々であった事は言うまでもない。今回の調査で間違いなく解った事は、この地で過ごした人々が、この地の葬儀方法で、この地に埋葬された事である。

現在、大規模な公園として生まれ変わつたある場所に近世のお墓があった事を本書で遠い将来まで伝え残すことができれば幸いである。

少し昔の、この地に伝わる葬送儀礼の解明の一助になればと願っている。

Tab.3 江口南村団遺跡(土器)遺物観察表

【単位はcm.*は口径、底径は復原値、高さは残存長】

| 遺構 | S番号 | Fig. | 番号 | R番号 | 名称 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 残存 | 備考 |
|-------|-----|------|-----|-----|------|------|-------|-------|-------|---------|----------------|
| SE005 | 5 | 18 | 1 | 004 | 土師器 | 蓋 | 9.4* | 1.90 | 16* | 1/8 | |
| SE005 | 5 | 18 | 2 | 006 | 磁器 | 染付皿 | - | 5.2* | 6.4* | 1/4 | |
| SE005 | 5 | 18 | 3 | 001 | 磁器 | 染付皿 | - | - | - | | |
| SE005 | 5 | 18 | 4 | 003 | 磁器 | 染付皿 | - | - | - | | |
| SE005 | 5 | 18 | 5 | 002 | 磁器 | 染付皿 | - | - | - | | |
| SE005 | 5 | 18 | 6 | 005 | 陶器 | 灯明皿 | 6.15 | 2.65 | 4.30 | | |
| SK014 | 14 | 18 | 7 | 001 | 土師器 | 土鍋 | - | - | - | | |
| SK014 | 14 | 18 | 8 | 002 | 磁器 | 皿×蓋 | - | - | - | | |
| SK015 | 15 | 18 | 9 | 001 | 磁器 | 青磁皿 | - | - | - | | 龍泉窯系 |
| SK015 | 15 | 18 | 10 | 002 | 磁器 | 碗 | - | - | - | | 龍泉窯系 |
| SD010 | 10 | 18 | 11 | 007 | 土師器 | 小皿 | 6.8* | 1.15 | 4.35* | | 体部1/3欠損 |
| SD010 | 10 | 18 | 12 | 006 | 土師器 | 小皿 | 7.6* | 1.40 | 3.20 | 1/2 | |
| SD010 | 10 | 18 | 13 | 010 | 土師器 | 土鍋 | - | 2.35 | - | | |
| SD010 | 10 | 18 | 14 | 011 | 土師器 | 火鉢 | - | 7.00 | - | | |
| SD010 | 10 | 18 | 15 | 001 | 磁器 | 染付皿 | - | 1.5* | 3.25* | | |
| SD010 | 10 | 18 | 16 | 002 | 磁器 | 染付碗 | 5.2* | 4.80 | 4* | | |
| SD010 | 10 | 18 | 17 | 003 | 磁器 | 染付皿 | 11.9 | 3.25 | 3.90 | | 口縁1/5欠損 |
| SD010 | 10 | 18 | 18 | 004 | 磁器 | 染付蓋 | 4.2* | 2.95 | 10.30 | 1/2 | |
| SD010 | 10 | 18 | 19 | 005 | 磁器 | 染付瓶 | 3.85 | 17.00 | 5.80 | | ほぼ完形 |
| SD010 | 10 | 18 | 20 | 009 | 磁器 | 染付香炉 | - | 1.80 | - | | 朝妻焼か? |
| SD010 | 10 | 18 | 21 | 008 | 陶器 | 灯明皿 | 8.7 | 2.30 | 3.50 | | 完形 |
| SD010 | 10 | 18 | 22 | 014 | 石製品 | 砥石 | - | - | - | | |
| SD010 | 10 | 18 | 23 | 012 | 石製品 | 砥石 | - | - | - | | |
| SD010 | 10 | 18 | 24 | 013 | 石製品 | 砥石 | - | - | - | | |
| ST025 | 25 | 19 | 25 | 002 | 土師器 | 火鉢 | - | 7.7* | - | | |
| ST025 | 25 | 19 | 26 | 003 | 磁器 | 染付蓋 | 8.3* | 4.8* | - | | 体部1/4 若松文様 |
| ST025 | 25 | 19 | 27 | 006 | 磁器 | 染付碗 | - | 4.15* | 6.9* | 1/4 | 広東碗 |
| ST025 | 25 | 19 | 28 | 004 | 磁器 | 染付壺口 | - | 4.1* | - | | |
| ST025 | 25 | 19 | 29 | 005 | 磁器 | 白磁紅皿 | 5.0* | 1.5* | - | 1/4 | |
| ST025 | 25 | 19 | 30 | 001 | 陶器 | 灯明皿 | 8.1 | 2.7* | 4.10 | | |
| ST035 | 35 | 19 | 107 | 001 | 磁器 | 染付碗 | - | 2.5* | - | | |
| SX001 | 1 | 31 | 159 | 001 | 須恵器 | 壺 | - | 3.3* | - | | |
| SX001 | 1 | 31 | 160 | 002 | 須恵器 | 甕 | - | 4.3* | - | | |
| SX001 | 1 | 31 | 161 | 007 | 土師器 | 火鉢 | 19.3* | 20.25 | 17.4* | 1/3~3/4 | |
| SX001 | 1 | 31 | 162 | 006 | 磁器 | 染付皿 | 13.2* | 2.80 | 7.6* | 1/3 | 瀬戸・美濃 |
| SX001 | 1 | 31 | 163 | 005 | 磁器 | 染付碗 | - | - | - | | |
| SX001 | 1 | 31 | 164 | 003 | 磁器 | 染付碗 | - | - | - | | |
| SX003 | 3 | 31 | 165 | 001 | 磁器 | 染付碗 | - | 1.7* | 4.8* | | 底部1/4 明染16世紀後半 |
| SP009 | 9 | 31 | 166 | 001 | 磁器 | 染付碗 | - | 2.40 | - | | |
| SD045 | 45 | 32 | 167 | 003 | 土師器 | 小皿 | 6.0* | 1.55 | 4.1* | | |
| SD045 | 45 | 32 | 168 | 004 | 土師器 | 皿 | - | - | - | | |
| SD045 | 45 | 32 | 169 | 005 | 土師器 | 壺 | - | - | - | | |
| SD045 | 45 | 32 | 170 | 006 | 土師器 | 土鍋 | - | - | - | | |
| SD045 | 45 | 32 | 171 | 007 | 瓦質土器 | 片口鉢 | - | - | - | | |
| SD045 | 45 | 32 | 172 | 008 | 瓦質土器 | 鍋 | - | - | - | | |
| SD045 | 45 | 32 | 173 | 001 | 磁器 | 染付皿 | - | - | - | | 明染16世紀末 |
| SD045 | 45 | 32 | 174 | 002 | 磁器 | 染付皿 | - | - | - | | 明染16世紀末 |
| SD055 | 55 | 32 | 175 | 001 | 土師器 | 壺 | - | 1.2* | 7.6* | | |
| SD055 | 55 | 32 | 176 | 004 | 土師器 | 土鍋 | - | 3.5* | - | | |
| SD055 | 55 | 32 | 177 | 006 | 土師器 | 土鍋 | - | 3.6* | - | | |
| SD055 | 55 | 32 | 178 | 003 | 土師器 | 土鍋 | - | 5.6* | - | | |
| SD055 | 55 | 32 | 179 | 007 | 土師器 | 土鍋 | - | 7.4* | - | | |
| SD055 | 55 | 32 | 180 | 008 | 土師器 | 土鍋 | - | 6.6* | - | | |
| SD055 | 55 | 32 | 181 | 005 | 土師器 | 土鍋 | - | 6.15* | - | | |
| SD055 | 55 | 32 | 182 | 009 | 土師器 | 土鍋 | 48.0* | 16.9* | - | 1/5 | |
| SD055 | 55 | 32 | 183 | 002 | 土師器 | すり鉢 | - | 4.6* | - | | |
| SD055 | 55 | 32 | 184 | 010 | 瓦質土器 | 火鉢 | 30 | 8.5* | - | | 口縁1/6 |
| SD055 | 55 | 32 | 185 | 011 | 瓦質土器 | 火鉢 | - | - | - | | |
| SD060 | 60 | 33 | 186 | 007 | 土師器 | 壺 | 12.85 | 2.90 | 8.65 | 1/2 | |
| SD060 | 60 | 33 | 187 | 002 | 土師器 | 小皿 | 6.3* | 1.75 | 4.3* | 1/3 | |

| 遺構 | S番号 | Fig. | 番号 | R番号 | 名称 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 残存 | 備考 |
|-------|-----|------|-----|-----|------|-------|-------|-------|---------|--------|-------------|
| SD060 | 60 | 33 | 188 | 003 | 土師器 | 土鍋 | - | 3.0* | - | | |
| SD060 | 60 | 33 | 189 | 001 | 瓦質土器 | 火鉢 | - | 10.1* | - | | |
| SD060 | 60 | 33 | 190 | 004 | 磁器 | 碗 | - | - | - | | |
| SD060 | 60 | 33 | 191 | 005 | 磁器 | 碗 | - | - | - | | |
| SD060 | 60 | 33 | 192 | 006 | 磁器 | 盤 | - | - | - | | |
| SD062 | 62 | 33 | 193 | 001 | 土師器 | 土鍋 | - | - | - | | |
| SD062 | 62 | 33 | 194 | 002 | 土師器 | 土鍋 | - | 9.9* | - | | |
| SD065 | 65 | 33 | 195 | 001 | 土師器 | 环 | - | 2.05* | 6.95* | 1/2 | |
| SD075 | 75 | 33 | 196 | 008 | 土師器 | 环 | 14.4* | 4.25 | 6.4* | 1/4 | |
| SD075 | 75 | 33 | 197 | 009 | 土師器 | 环 | - | 2.85* | - | | |
| SD075 | 75 | 33 | 198 | 010 | 土師器 | 土鍋 | - | 4.2* | - | | |
| SD075 | 75 | 33 | 199 | 011 | 土師器 | 土鍋 | - | 3.5* | - | | |
| SD075 | 75 | 33 | 200 | 002 | 磁器 | 青磁碗 | - | - | - | | |
| SD075 | 75 | 33 | 201 | 003 | 磁器 | 小碗 | - | 1.2* | 3.95* | 朝鮮 | |
| SD075 | 75 | 33 | 202 | 001 | 磁器 | 染付碗 | - | - | - | ぐらわんか碗 | |
| SD075 | 75 | 33 | 203 | 004 | 磁器 | 染付碗 | - | - | - | 端反り碗 | |
| SD075 | 75 | 33 | 204 | 005 | 陶器 | 碗 | 10.4 | 4.35 | 4.70 | 完形 | 18世紀後半 |
| SD075 | 75 | 33 | 205 | 006 | 陶器 | 燭台 | - | 5.1* | 6.0* | | 18世紀末~19世紀 |
| SD075 | 75 | 33 | 206 | 007 | 石製品 | 石鍋 | - | - | - | | 滑石製 |
| ST040 | 40 | 33 | 207 | 002 | 磁器 | 白磁紅皿 | 7.4 | 2.00 | 4.50 | | 壓押し18世紀初 |
| ST040 | 40 | 33 | 208 | 001 | 磁器 | 色絵碗 | 9 | 4.25 | 2.95 | 完形 | 壺、甕文様 |
| ST040 | 40 | 33 | 209 | 003 | 磁器 | 染付手塩皿 | 8.1 | 1.75 | 4.70 | 完形 | コンニャク印判 |
| ST040 | 40 | 33 | 210 | 005 | 磁器 | 色絵碗 | 12.35 | 5.80 | 4.55 | 完形 | 破損を除接ぎ |
| ST040 | 40 | 33 | 211 | 004 | 銅製品 | 錢 | 2.5 | 0.80 | | 寛永通宝 | 六枚(六道錢) |
| ST080 | 80 | 35 | 218 | 001 | 土師器 | 小皿 | 8.4* | 1.90 | 4.10 | | |
| ST080 | 80 | 35 | 219 | 002 | 土師器 | 小皿 | 8.5* | 1.85 | 4.10 | | |
| ST080 | 80 | 35 | 220 | 003 | 磁器 | 小碗 | 8.5 | 4.35 | 3.20 | | 17世紀末~18世紀初 |
| ST080 | 80 | 35 | 221 | 004 | 磁器 | 青磁碗 | - | 3.0* | - | | |
| ST080 | 80 | 35 | 222 | 005 | 磁器 | 色絵碗 | 11.5 | 6.30 | 4.50 | | 藤文様17世紀末陶器? |
| ST080 | 80 | 35 | 223 | 006 | 銅製品 | 錢 | | | | 寛永通宝 | (六道錢) |
| SX067 | 67 | 36 | 235 | 001 | 土師器 | 土鍋 | - | - | - | | |
| SX067 | 67 | 36 | 236 | 003 | 磁器 | 染付碗 | 11.9* | 4.8* | - | 1/4 | |
| SX067 | 67 | 36 | 237 | 002 | 陶器 | 鉢 | 10.0* | 3.1* | - | | 口縁1/5 |
| SX113 | 113 | 36 | 238 | 001 | 磁器 | 青磁小碗 | - | 1.95* | 3.80 | 底部のみ完形 | |
| SP042 | 42 | 36 | 239 | 001 | 土師器 | 小皿 | 7.2* | 1.40 | 5.35 | 底部完形 | |
| SP064 | 64 | 36 | 240 | 001 | 土師器 | 土鍋 | - | 3.5* | - | | |
| SP064 | 64 | 36 | 241 | 003 | 磁器 | 小环 | 8.0* | 5.0* | - | 1/7 | |
| SP064 | 64 | 36 | 242 | 002 | 陶器 | すり鉢 | - | 4.85* | - | | |
| SP064 | 64 | 36 | 243 | 005 | 陶器 | 甕 | 19.6* | 9.0* | - | 1/5 | |
| SP064 | 64 | 36 | 244 | 004 | 陶器 | 甕 | 27.8* | 8.65* | - | 1/8 | |
| SX107 | 107 | 37 | 245 | 001 | 陶器 | 甕 | 15.0* | 23.3* | - | 1/3 | |
| SX108 | 108 | 37 | 246 | 001 | 土製品 | 壺 | 6.2* | 3.50 | - | 1/2 | |
| 旧クリーク | 37 | 247 | 002 | 磁器 | 染付皿 | - | 1.95* | 7.9* | 底部1/5 | | |
| 旧クリーク | 37 | 248 | 001 | 陶器 | 小皿 | 9.0* | 2.60 | 3.05 | 体部1/3欠損 | | |
| 整地層 | 37 | 249 | 004 | 土師器 | 小皿 | - | 1.35 | - | | | |
| 整地層 | 37 | 250 | 006 | 土師器 | 环 | - | 2.0* | 5.1* | 底部1/3 | | |
| 整地層 | 37 | 251 | 005 | 土師器 | 土鍋 | - | - | - | | | |
| 整地層 | 37 | 252 | 007 | 土師器 | 片口鉢 | - | 4.9* | - | | | |
| 整地層 | 37 | 253 | 008 | 磁器 | 白磁香炉 | 3.8* | 4.85 | 4.45 | 口縁部欠損 | | |
| 整地層 | 37 | 254 | 002 | 磁器 | 青磁碗 | - | - | - | | 龍泉窯系 | |
| 整地層 | 37 | 255 | 001 | 磁器 | 青磁碗 | - | - | - | | 龍泉窯系 | |
| 整地層 | 37 | 256 | 003 | 磁器 | 青磁盤 | - | - | - | | 龍泉窯系 | |
| 堆山 | 37 | 257 | 001 | 土製品 | 輪羽口 | 4.95 | 1.45 | | | | |
| 表土 | 37 | 258 | 005 | 土師器 | 环 | - | 2.55* | - | | | |
| 表土 | 37 | 259 | 006 | 土師器 | 土鍋 | - | 3.75* | - | | | |
| 表土 | 37 | 260 | 001 | 磁器 | 白磁碗 | 18.0* | 4.5* | - | 口縁部1/8 | | |
| 表土 | 37 | 261 | 002 | 磁器 | 白磁碗 | - | 4.2* | - | | | |
| 表土 | 37 | 262 | 003 | 磁器 | 青磁碗 | - | 2.5* | 4.00 | | | |
| 表土 | 37 | 263 | 004 | 陶器 | 鉢 | - | 3.2* | 10.80 | 底部1/2 | | |
| SX001 | 1 | 31 | 未掲載 | 004 | 磁器 | 染付碗 | - | - | - | | |

Tab.4 江口南村圓跡(棺・木製品)遺物觀察表

【単位(cm,*は残存長】

| 遺構 | S番号 | Fig. | 番号 | R番号 | 名称 | 器種 | 長さ | 幅 | 厚さ | 備考 |
|-------|-----|------|-----|-----|-----|----------|--------|-------|-------|-----------------|
| ST025 | 20 | 31 | 001 | | 石製品 | 棺蓋 | - | 46.60 | 7.00 | 幅下端は51.6凝灰岩製 |
| ST025 | 20 | 32 | 002 | | 陶器 | 壺 | 46.80 | 82.20 | 27.10 | 口縁46.5~50.0肥前系甕 |
| ST025 | 20 | 33 | 003 | | 木製品 | 棺蓋 | 42.10 | - | 0.70 | 2ヶ所穿孔 |
| ST025 | 20 | 34 | 004 | | 木製品 | 底板 | 35.50 | - | 1.05 | |
| ST025 | 20 | 35 | 005 | | 木製品 | 不明製品 | 44.70 | 2.10 | 0.80 | |
| ST025 | 20 | 36 | 006 | | 木製品 | 担ぎ棒 | 123.5* | - | 5.00 | |
| ST025 | 21 | 37 | 007 | | 木製品 | 不明製品 | 61* | 16.3* | 0.50 | 2ヶ所穿孔 |
| ST025 | 21 | 38 | 008 | | 木製品 | 不明製品 | 22* | 24.30 | 0.70 | 1ヶ所穿孔 |
| ST025 | 21 | 39 | 009 | | 木製品 | 提灯台座 | 13.50 | 12.40 | 1.30 | |
| ST025 | 21 | 40 | 010 | | 木製品 | 提灯台座 | 13.65 | 11.50 | 0.90 | |
| ST025 | 21 | 41 | 011 | | 木製品 | 提灯台座 | 8.25 | 8.60 | 1.10 | |
| ST025 | 21 | 42 | 012 | | 木製品 | 提灯台座 | 8.00 | 8.00 | 1.00 | |
| ST025 | 21 | 43 | 013 | | 木製品 | 提灯台座 | 8.20 | 8.25 | 1.20 | |
| ST025 | 21 | 44 | 014 | | 木製品 | 提灯台座 | 8.30 | 6.70 | 1.10 | |
| ST025 | 21 | 45 | 015 | | 木製品 | 提灯台座 | 7.70 | 7.90 | 0.75 | |
| ST025 | 21 | 46 | 016 | | 木製品 | 六道(側板) | 7.00 | 6.50 | 1.10 | |
| ST025 | 21 | 47 | 017 | | 木製品 | 竹製品 | 35.8* | - | 1.25 | |
| ST025 | 22 | 48 | 018 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 49 | 019 | | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 50 | 020 | | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 51 | 021 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 52 | 022 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.32 | |
| ST025 | 22 | 53 | 023 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.30 | |
| ST025 | 22 | 54 | 024 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 55 | 025 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.25 | |
| ST025 | 22 | 56 | 026 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 57 | 027 | | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.32 | 広東綱 |
| ST025 | 22 | 58 | 028 | | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.31 | |
| ST025 | 22 | 59 | 029 | | 木製品 | 数珠 | 0.42 | - | 0.33 | |
| ST025 | 22 | 60 | 030 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 61 | 031 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 62 | 032 | | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.32 | |
| ST025 | 22 | 63 | 033 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 64 | 034 | | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 65 | 035 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.30 | |
| ST025 | 22 | 66 | 036 | | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST025 | 22 | 67 | 037 | | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.38 | |
| ST030 | 23 | 68 | 001 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 34.1* | 11.40 | 1.40 | |
| ST030 | 23 | 69 | 002 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 22.3* | 11.10 | 0.70 | |
| ST030 | 23 | 70 | 003 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 65.2* | 16.70 | 1.40 | 穿孔有り |
| ST030 | 23 | 71 | 004 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 39.5* | 9.90 | 1.20 | |
| ST030 | 23 | 72 | 005 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 48.4* | 8.50 | 1.40 | |
| ST030 | 23 | 73 | 006 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 33.6* | 8.50 | 1.10 | |
| ST030 | 23 | 74 | 007 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 35.8* | 8.30 | 1.10 | |
| ST030 | 23 | 75 | 008 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 19.7* | 7.80 | 0.90 | |
| ST030 | 23 | 76 | 009 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 19.5* | 7.50 | 1.10 | |
| ST030 | 23 | 77 | 010 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 37.0* | 6.75 | 1.40 | |
| ST030 | 23 | 78 | 011 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 43.7* | 6.40 | 0.90 | |
| ST030 | 23 | 79 | 012 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 21.4* | 6.40 | 1.00 | |
| ST030 | 23 | 80 | 013 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 47.9* | 6.30 | 1.30 | |
| ST030 | 23 | 81 | 014 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 36.2* | 5.20 | 1.10 | |
| ST030 | 23 | 82 | 015 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 40.1* | 5.00 | 1.50 | |
| ST030 | 23 | 83 | 016 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 33.4* | 5.00 | 1.40 | |
| ST030 | 23 | 84 | 017 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 40.2* | 4.80 | 1.70 | |
| ST030 | 23 | 85 | 018 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 39.8* | 4.70 | 1.10 | |
| ST030 | 23 | 86 | 019 | | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 45.7* | 4.50 | 1.00 | 穿孔有り |

| 遺構 | S番号 | Fig. | 番号 | R番号 | 名称 | 器種 | 長さ | 幅 | 厚さ | 備考 |
|-------|-----|------|-----|-----|-----|----------|--------|-------|-------|------------|
| ST030 | | 23 | 87 | 020 | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 34.7" | 4.20 | 0.90 | |
| ST030 | | 23 | 88 | 021 | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 50.0" | 4.10 | 1.30 | |
| ST030 | | 23 | 89 | 022 | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 27.6" | 3.90 | 1.15 | |
| ST030 | | 23 | 90 | 023 | 木製品 | 桶棺(早桶)側板 | 13.3" | 4.20 | 1.00 | |
| ST030 | | 24 | 91 | 024 | 木製品 | 桶棺(早桶)底板 | 48.50 | - | 2.00 | 4枚板つぎ合わせ |
| ST030 | | 24 | 92 | 025 | 木製品 | 担ぎ棒 | 112.40 | - | - | 桶置くための抉りあり |
| ST030 | | 24 | 93 | 026 | 木製品 | 担ぎ棒 | 110.00 | - | - | 桶置くための抉りあり |
| ST030 | | 24 | 94 | 027 | 木製品 | 竹製品 | 55.0" | - | 1.70 | 旗竿か |
| ST030 | | 24 | 95 | 028 | 木製品 | 竹製品 | 42.7" | - | 1.50 | 旗竿か |
| ST030 | | 24 | 96 | 029 | 木製品 | 竹製品 | 19.9" | - | 1.50 | 旗竿か |
| ST030 | | 24 | 97 | 030 | 木製品 | 六道(背板) | 8.85 | 4.30 | 0.50 | |
| ST030 | | 24 | 98 | 031 | 木製品 | 六道(背板) | 7.70 | 3.70 | 0.30 | |
| ST030 | | 24 | 99 | 032 | 木製品 | 六道(焼台) | 6.70 | 4.80 | 0.90 | |
| ST030 | | 24 | 100 | 033 | 木製品 | 六道(焼台) | 6.90 | 5.00 | 0.90 | |
| ST030 | | 24 | 101 | 034 | 木製品 | 六道(焼台) | 5.90 | 5.30 | 0.85 | |
| ST030 | | 24 | 102 | 035 | 木製品 | 六道(焼台) | 7.00 | 5.70 | 0.80 | |
| ST030 | | 24 | 103 | 036 | 木製品 | 六道(焼台) | 6.30 | 5.70 | 0.85 | |
| ST030 | | 24 | 104 | 037 | 木製品 | 不明製品 | 8.90 | - | 1.80 | |
| ST030 | | 24 | 105 | 038 | 木製品 | 不明製品 | 10.20 | - | - | |
| ST030 | | 24 | 106 | 039 | 木製品 | 不明製品 | 6.40 | - | 0.50 | |
| ST035 | | 27 | 108 | 001 | 石製品 | 棺蓋 | 55.80 | - | 5.00 | |
| ST035 | | 27 | 109 | 002 | 木製品 | 棺蓋 | 45.00 | - | 1.30 | |
| ST035 | | 27 | 110 | 003 | 陶器 | 甕棺 | 49.20 | 80.25 | 26.65 | |
| ST035 | | 27 | 111 | 004 | 木製品 | 底板 | 34.40 | - | 1.20 | |
| ST035 | | 26 | 112 | 029 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.30 | |
| ST035 | | 26 | 113 | 030 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 114 | 031 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 115 | 032 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 116 | 033 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.40 | |
| ST035 | | 26 | 117 | 034 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.40 | |
| ST035 | | 26 | 118 | 035 | 木製品 | 数珠 | 0.35 | - | 0.40 | |
| ST035 | | 26 | 119 | 036 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.30 | |
| ST035 | | 26 | 120 | 037 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.40 | |
| ST035 | | 26 | 121 | 038 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 122 | 039 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 123 | 040 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 124 | 041 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 125 | 042 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 126 | 043 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.30 | |
| ST035 | | 26 | 127 | 044 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 128 | 045 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 129 | 046 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 130 | 047 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.30 | |
| ST035 | | 26 | 131 | 048 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 132 | 049 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 133 | 050 | 木製品 | 数珠 | 0.40 | - | 0.35 | |
| ST035 | | 26 | 134 | 051 | 木製品 | 数珠 | 0.45 | - | 0.40 | |
| ST035 | | 28 | 135 | 005 | 木製品 | 棺台 | 91.00 | 13.90 | 1.80 | |
| ST035 | | 28 | 136 | 006 | 木製品 | 棺台 | 93.20 | 28.30 | 1.50 | |
| ST035 | | 28 | 137 | 007 | 木製品 | 棺台 | 93.10 | 17.90 | 1.20 | |
| ST035 | | 28 | 138 | 008 | 木製品 | 棺台 | 60.80 | 14.00 | 1.90 | |
| ST035 | | 28 | 139 | 009 | 木製品 | 棺台 | 75.30 | 13.90 | 1.80 | |
| ST035 | | 29 | 140 | 010 | 木製品 | 担ぎ棒 | 147.0" | 5.00 | 4.30 | |
| ST035 | | 29 | 141 | 011 | 木製品 | 担ぎ棒 | 135.2" | 3.80 | 4.40 | |
| ST035 | | 29 | 142 | 012 | 木製品 | 不明製品 | 91.00 | 4.20 | 3.80 | |
| ST035 | | 29 | 143 | 013 | 木製品 | 不明製品 | 31.20 | 4.20 | 4.20 | 棺台部材か |

| 遺構 | S番号 | Fig. | 番号 | R番号 | 名称 | 器種 | 長さ | 幅 | 厚さ | 備考 |
|-------|-----|------|-----|-----|-----|--------|--------|-------|------|-------|
| ST035 | | 29 | 144 | 014 | 木製品 | 不明製品 | 91.30 | 4.00 | 4.10 | 檜台部材か |
| ST035 | | 29 | 145 | 015 | 木製品 | 不明製品 | 91.10 | - | 4.10 | 檜台部材か |
| ST035 | | 29 | 146 | 016 | 木製品 | 不明製品 | 66.80 | 3.00 | 1.15 | 檜台部材か |
| ST035 | | 29 | 147 | 017 | 木製品 | 不明製品 | 61.70 | 3.00 | 1.20 | 檜台部材か |
| ST035 | | 29 | 148 | 018 | 木製品 | 不明製品 | 61.70 | 3.00 | 1.05 | 檜台部材か |
| ST035 | | 29 | 149 | 019 | 木製品 | 不明製品 | 66.60 | 3.00 | 1.20 | 檜台部材か |
| ST035 | | 30 | 150 | 020 | 木製品 | 提灯台座 | 12.20 | 12.40 | 1.30 | |
| ST035 | | 30 | 151 | 021 | 木製品 | 提灯台座 | 12.25 | 12.45 | 1.40 | |
| ST035 | | 30 | 152 | 022 | 木製品 | 提灯台座 | 11.40 | 9.85 | 0.55 | |
| ST035 | | 30 | 153 | 023 | 木製品 | 提灯台座 | 9.40 | 10.90 | 0.80 | |
| ST035 | | 30 | 154 | 024 | 木製品 | 提灯台座 | 9.00 | 10.40 | 0.85 | |
| ST035 | | 30 | 155 | 025 | 木製品 | 提灯台座 | 9.45 | 8.60 | 1.10 | |
| ST035 | | 30 | 156 | 026 | 木製品 | 提灯台座 | 9.20 | 9.90 | 1.05 | |
| ST035 | | 30 | 157 | 027 | 木製品 | 提灯台座 | 9.20 | 11.25 | 1.00 | |
| ST035 | | 30 | 158 | 028 | 木製品 | 六道(燭台) | 9.20 | 7.05 | 1.15 | |
| ST040 | | 34 | 213 | 001 | 木製品 | 方形木棺底板 | 84.0* | - | 1.90 | |
| ST040 | | 34 | 214 | 002 | 木製品 | 方形木棺底板 | 40.2* | - | - | |
| ST040 | | 34 | 215 | 003 | 木製品 | 方形木棺底板 | 16.3* | - | 1.20 | |
| ST040 | | 34 | 216 | 004 | 木製品 | 方形木棺底板 | 15.7* | - | 1.10 | |
| ST040 | | 34 | 217 | 005 | 木製品 | 底板×蓋止 | 13.5* | - | 1.00 | |
| ST040 | | 33 | 212 | 006 | 木製品 | 櫛 | 11.30 | 5.50 | 0.45 | |
| ST080 | | 36 | 224 | 001 | 木製品 | 方形木棺底板 | 64.7* | - | 0.85 | |
| ST080 | | 36 | 225 | 002 | 木製品 | 方形木棺底板 | 45.0* | - | 1.00 | |
| ST080 | | 36 | 226 | 003 | 木製品 | 方形木棺側板 | 16.5* | - | 0.60 | |
| ST080 | | 36 | 227 | 004 | 木製品 | 方形木棺側板 | 11.25* | - | 0.60 | |
| ST080 | | 36 | 228 | 005 | 木製品 | 蓋止 | 10.65 | - | 0.80 | |
| ST080 | | 36 | 229 | 006 | 木製品 | 蓋止 | 11.30 | - | 1.00 | |
| ST080 | | 36 | 230 | 007 | 木製品 | 蓋止 | 12.40 | - | 0.90 | |
| ST080 | | 36 | 231 | 008 | 木製品 | 竹製品 | 11.6* | - | 1.15 | |
| ST080 | | 36 | 232 | 009 | 木製品 | 竹製品 | 17.1* | - | 0.80 | |
| ST080 | | 36 | 233 | 010 | 木製品 | 竹製品 | 8.5* | - | 1.10 | |
| ST080 | | 36 | 234 | 011 | 木製品 | 竹製品 | 6.55* | - | 0.95 | |

Tab.5 江口南村遺物一覽表

| | | |
|------|---------------------------------------|---|
| S-1 | 須恵器 土師器 磁器 陶器 土製品 その他 | 壺片、环片 土鍋片、火鉢片 白磁片、青磁片、染付碗・皿片 壺片、碗片 土塊、瓦片 ガラス瓶、豪瓶、南ブラシ、ラムネ瓶、ビー玉 |
| S-2 | 土師器 磁器 陶器 土製品 | 环片×皿片、大壺片 染付片 片 平瓦、丸瓦 |
| S-3 | 土師器 磁器 その他 | 片 染付碗片 ビー玉 |
| S-4 | 土師器 | 大壺 |
| S-5 | 土師器 磁器 陶器 瓦質土器 | 环片、土鍋片、壺片 青磁片、白磁紅皿片、染付皿×碗片 仏具?、壺片 片 |
| S-6 | 土師器 陶器 瓦質土器 | 壺片 片 すり鉢片 |
| S-7 | 土師器 | 小皿片、壺片 |
| S-8 | 土師器 瓦質土器 | 片 すり鉢片 |
| S-9 | 土師器 磁器 | 壺片 染付碗片 |
| S-10 | 土師器 磁器 陶器 瓦質土器 土製品 石製品 | 小皿片、壺片、火鉢片、土鍋片 染付碗・瓶片、白磁皿・碗片 すり鉢片、碗片、壺片、壺片、皿片 片 粘土塊 軽石片、砾石 |
| S-11 | 土師器 瓦質土器 | 土鍋片 片 |
| S-12 | 土師器 陶器 | 片 片 |
| S-13 | 土師器 | 土鍋片、片 |
| S-14 | 磁器 陶器 瓦質土器 土製品 | 染付皿片、片 片 片 瓦片、粘土塊 |
| S-15 | 土師器 磁器 陶器 | 土鍋片、片 青磁皿・碗片 すり鉢片、壺片 |
| S-16 | 土師器 | 片 |
| S-17 | 土師器 | 片 |
| S-18 | 土師器 | 片 |
| S-19 | 土師器 | 土鍋片 |
| S-20 | 土師器 陶器 | 片 片 |
| S-21 | 土師器 | 片 |
| S-22 | 土師器 | 环×皿片 |
| S-23 | 土師器 | 片 |
| S-24 | 土師器 陶器 | 环×皿片、小皿片 片 |
| S-25 | 土師器 磁器 陶器 石製品 | 土鍋片、火鉢片、片 染付碗・湯飲・白磁紅皿片 壺片、仏具? 凝灰岩製棺蓋 |
| S-26 | 土師器 | 片 |
| S-27 | 土師器 | 片 |
| S-28 | 土師器 土製品 | 小皿片、片 粘土塊 |
| S-29 | 土師器 | 片 |
| S-30 | 土師器 陶器 土製品 | 环×皿片、片 壺片 粘土塊 |
| S-31 | 土師器 | 片 |
| S-32 | 土師器 | 片 |

S-33

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-34

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-35

| | |
|------|------|
| 土師器 | 壺片、片 |
| 磁器 | 染付碗片 |
| 瓦質土器 | 片 |
| 土製品 | 軽石 |

S-36

| | |
|-----|---------|
| 土師器 | 坏x皿片、壺片 |
|-----|---------|

S-37

| | |
|----|------|
| 磁器 | 染付皿片 |
|----|------|

S-38

| | |
|------|-----|
| 土師器 | 小皿片 |
| 瓦質土器 | 片 |

S-39

| | |
|-----|---------|
| 土師器 | 小皿x坏片、片 |
| 土製品 | 粘土塊 |

S-40

| | |
|-----|-------------|
| 磁器 | 染付小皿、白磁小碗・皿 |
| その他 | 錢(寛永通宝) |

S-41

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-42

| | |
|-----|-----|
| 土師器 | 小皿片 |
|-----|-----|

S-43

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-44

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-45

| | |
|------|------------------|
| 須恵器 | 壺片 |
| 土師器 | 小皿片、坏片、土鍋片 |
| 磁器 | 染付皿片 |
| 瓦質土器 | 片口鉢片、すり鉢片、羽釜片、鍋片 |
| 土製品 | 粘土塊 |

S-46

| | |
|------|-----|
| 土師器 | 土鍋片 |
| 磁器 | 染付片 |
| 瓦質土器 | 片 |

S-47

| | |
|-----|---|
| 須恵器 | 壺 |
|-----|---|

S-48

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-49

| | |
|-----|------|
| 土師器 | 坏x皿片 |
|-----|------|

S-50

| | |
|-----|----|
| 木製品 | 棺? |
|-----|----|

S-51

| | |
|-----|----|
| 土師器 | 鍋片 |
|-----|----|

S-52

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-53

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-54

| | |
|-----|-----|
| 土製品 | 粘土塊 |
|-----|-----|

S-55

| | |
|-----|---------------|
| 土師器 | 小皿片、坏片、土鍋片、壺片 |
|-----|---------------|

S-56

| | |
|----|-----|
| 磁器 | 青磁片 |
|----|-----|

S-57

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-58

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-59

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-60

| | |
|-----|--------------|
| 土師器 | 坏、小皿片、土鍋片、壺片 |
|-----|--------------|

S-61

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-62

| | |
|-----|---------------|
| 土師器 | 小皿片、土鍋片、羽釜片、片 |
|-----|---------------|

S-63

| | |
|-----|---|
| 土師器 | 片 |
|-----|---|

S-64

| | |
|-----|-----|
| 土師器 | 土鍋片 |
|-----|-----|

S-65

| | |
|----|-------------|
| 磁器 | 染付湯飲み片、白磁碗片 |
|----|-------------|

S-66

| | |
|----|------------|
| 陶器 | 壺片、蓋片、すり鉢片 |
|----|------------|

S-67

| | |
|-----|-------|
| 土師器 | 土鍋片、片 |
|-----|-------|

S-68

| | |
|----|---|
| 陶器 | 片 |
|----|---|

S-69

| | |
|------|---|
| 瓦質土器 | 片 |
|------|---|

S-70

| | |
|-----|------|
| 石製品 | 凝灰岩片 |
|-----|------|

S-70

| | |
|------|--|
| 土師器 | 坏片 |
| S-71 | 土師器 片 |
| S-72 | 土師器 片 |
| S-73 | 土師器 片 |
| S-74 | 土師器 坏片 |
| S-75 | 土師器 坏片、小皿片、土鍋片、大甕片 磁器 染付碗片 陶器 碗片、甕片、燭台片、すり鉢片 瓦質土器 すり鉢片 土製品 瓦片 石製品 石鍋片 |
| S-76 | 土師器 片 |
| S-77 | 土師器 片 |
| S-78 | 土師器 片 |
| S-79 | 土師器 片 |
| S-80 | 土師器 小皿片、片 磁器 染付碗片、青磁碗片 陶器 甕片、片 その他 錢 |
| S-81 | 土師器 片 |
| S-82 | 土師器 片 |
| S-83 | 土師器 片 陶器 片 |
| S-84 | 土師器 坏片 |
| S-85 | 土師器 坏片 磁器 白磁片 |
| S-86 | 土師器 片 |
| S-87 | 土師器 坏片 |
| S-88 | 土師器 片 |
| S-89 | 土師器 坏片 |

S-91

| | |
|---------|---|
| 土師器 | 片 |
| S-92 | 土師器 片 |
| S-93 | 土師器 小皿片 瓦質土器 火鉢片 |
| S-94 | 土師器 坏片 |
| S-95 | 土師器 片 |
| S-96 | 土師器 坏×皿片 |
| S-97 | 土師器 坏×皿片 |
| S-98 | 不明製品 |
| S-99 | 土師器 片 |
| S-101 | 土師器 片 |
| S-102 | 土師器 土鍋片 |
| S-103 | 土師器 小皿片 |
| S-104 | 土師器 片 |
| S-106 | 土師器 片 磁器 青磁片 |
| S-107 | 土師器 坏×小皿片 陶器 甕×甕片、片 |
| S-108 | 土製品 塵 |
| S-109 | 土師器 片 |
| S-111 | 土師器 土鍋片、片 |
| S-112 | 土師器 片 |
| S-113 | 土師器 大甕片、土鍋片、片 磁器 染付片、青磁片 陶器 甕片、急須片 土製品 丸瓦片 |
| 第I面下整地層 | |
| 土師器 | 坏片、小皿片、すり鉢片、土鍋片、片口鉢片 |
| 磁器 | 青磁盤・碗片、白磁香炉片 |
| 瓦質土器 | 片 |

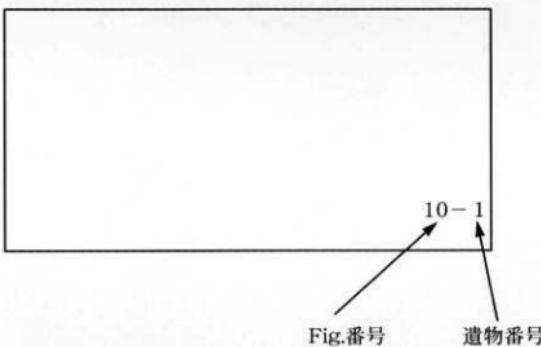
トイレ設置部分第Ⅰ面下整地層

| | |
|----------------|------------------|
| 土師器 | 坏片、鉢片 |
| 整地層② | |
| 土師器 | 坏片、片 |
| 整地層③ | |
| 土師器 | 片 |
| 整地層④ | |
| 土師器 | 片 |
| 整地層⑤ | |
| 土師器 | 片 |
| 陶器 | 片 |
| 整地層⑩ | |
| 土師器 | 坏片、片 |
| 磁器 | 染付片、白磁碗片 |
| 耕作土下包含層(淡茶橙色土) | |
| 土師器 | 羽釜片、片 |
| 耕作土下包含層(淡灰茶色土) | |
| 土師器 | 小皿片(灯明皿)、坏片、片 |
| 白磁 | 盤片 |
| 陶器 | 甕片、皿片 |
| 耕作土下包含層(淡茶色土) | |
| 土師器 | 大甕片、坏片、土鍋片 |
| 磁器 | 染付片 |
| 陶器 | 片 |
| 土製品 | 平瓦 |
| 地山 | |
| 土製品 | 輪羽口 |
| 表土 | |
| 土製品 | 坏片、土鍋片、火鉢片 |
| 磁器 | 青磁碗片、染付湯飲み片、白磁碗片 |
| 陶器 | 甕片、片 |
| 瓦質土器 | すり鉢片 |
| 旧クリーク | |
| 土製品 | 坏片、片 |
| 磁器 | 染付皿片 |
| 陶器 | すり鉢片、皿片 |
| 土製品 | 凝灰岩片、平瓦片 |

PLATE

凡 例

遺物写真右下の番号は、以下のとおりである。





江口南村囲遺跡 調査区全景 (東から)



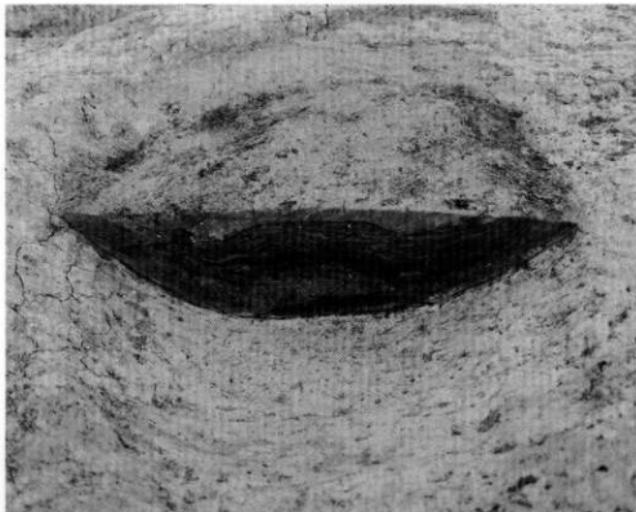
江口南村囲遺跡 東側調査区全景 (真上から)



江口南村囲遺跡 東側調査区全景 (東から)



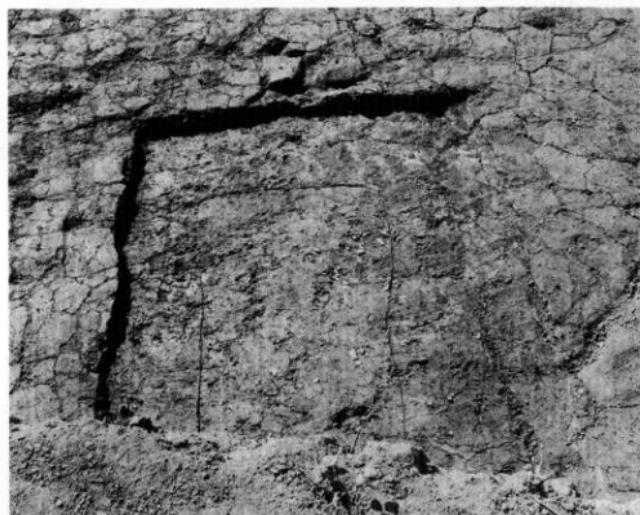
江口南村囲遺跡 西側調査区第Ⅰ面全景 (西から)



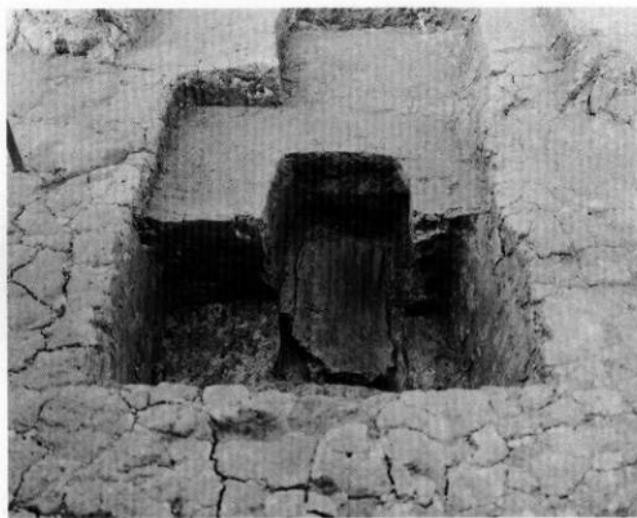
SK014 土層観察 (南から)



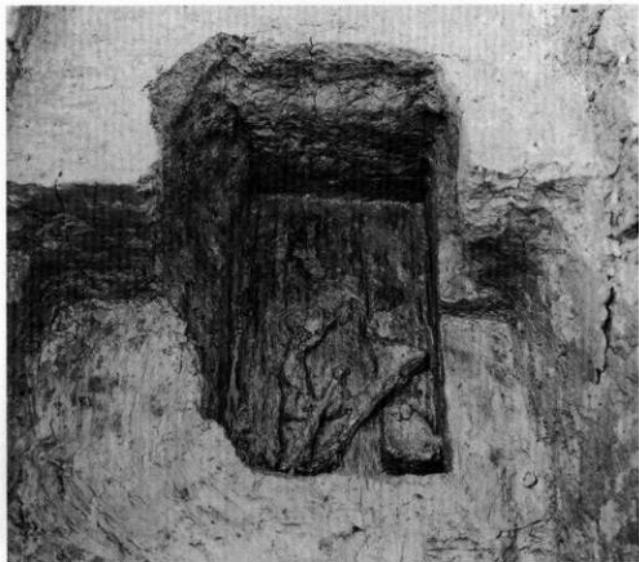
SD010 土層観察 (南から)



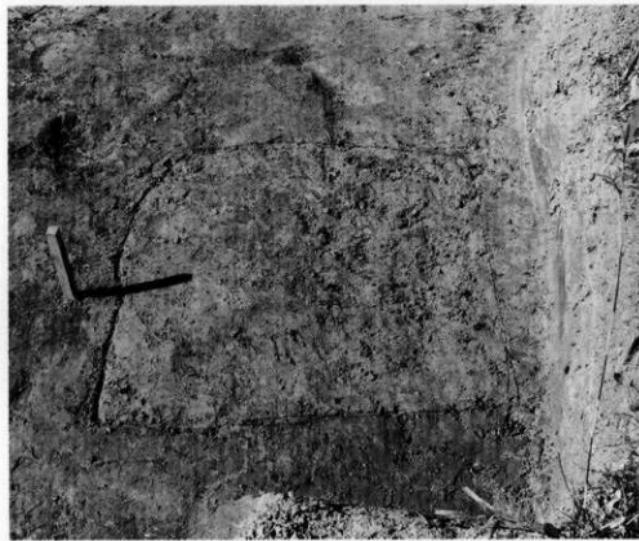
ST013 検出状況 (北から)



ST013 棺蓋検出状況 (南から)



ST013 棺内検出状況 (南から)



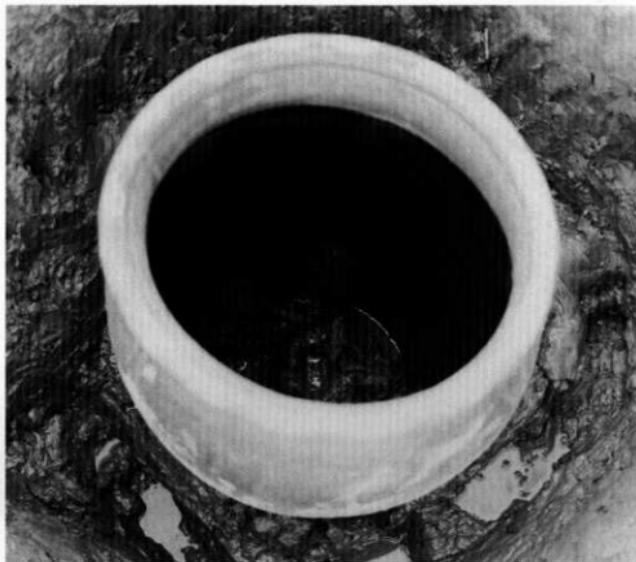
ST025 検出状況 (東から)



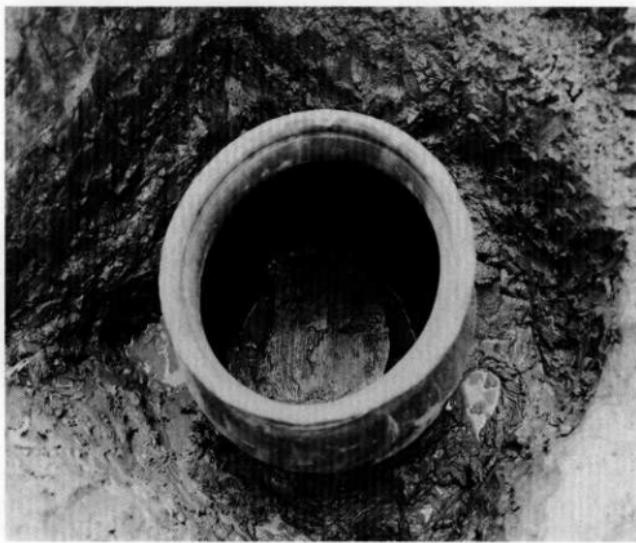
ST025 棺蓋・木製品検出状況 (南から)



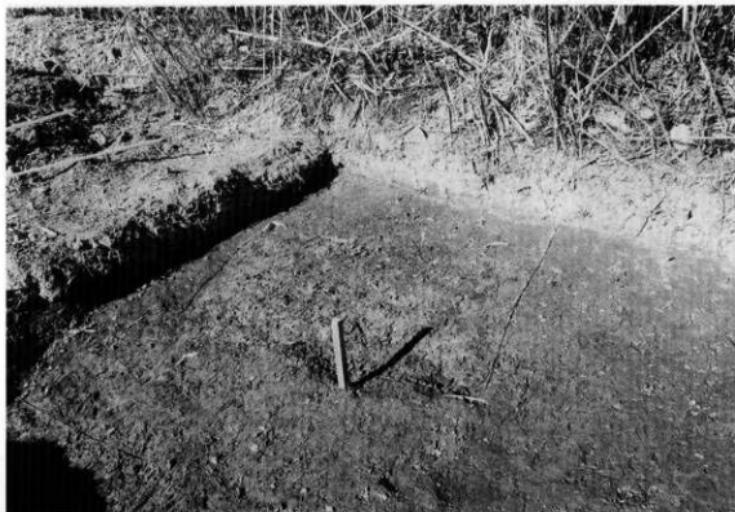
ST025 棺蓋・木製品検出状況 (南から)



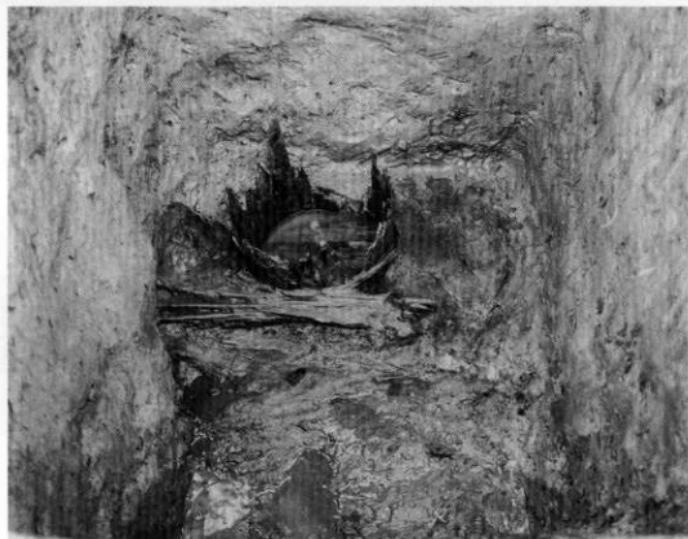
ST025 棺内人骨検出状況 (南西から)



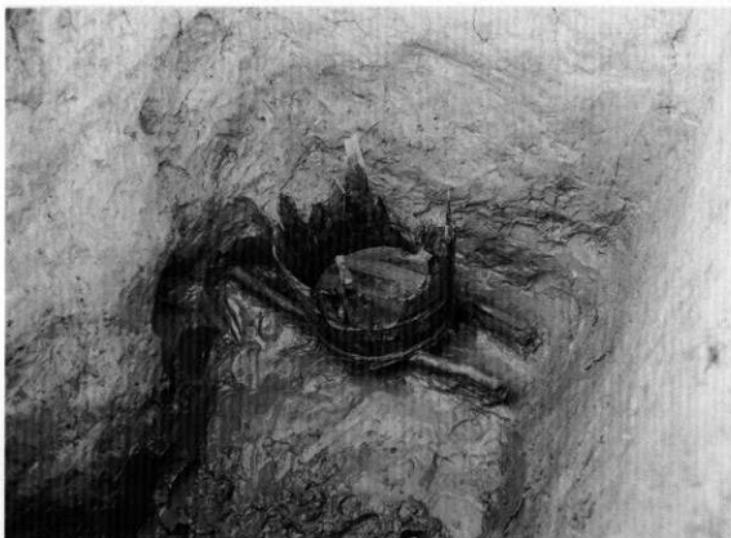
ST025 木製板検出状況 (南西から)



ST030 検出状況 (南から)



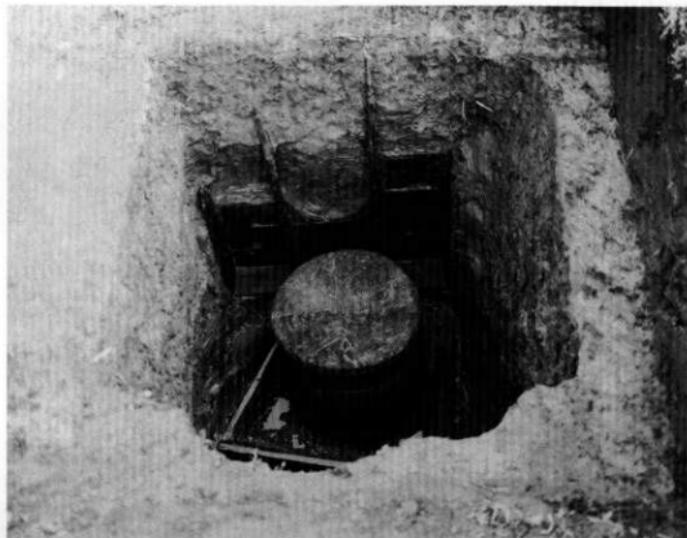
ST030 棺・木製品検出状況 (南から)



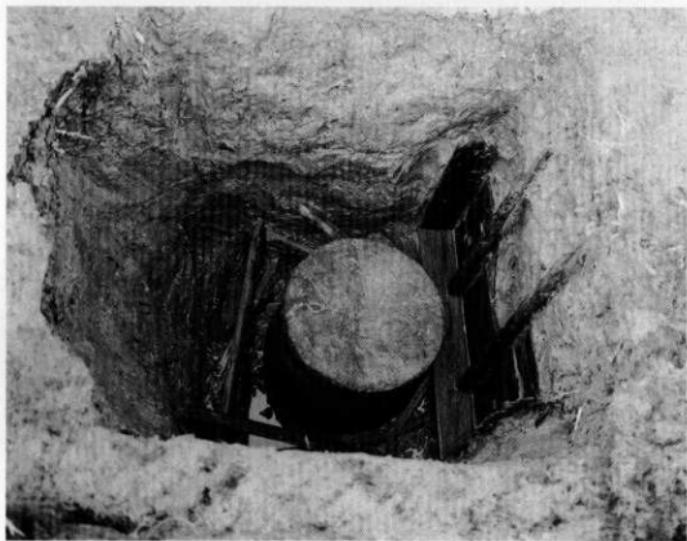
ST030 棺・担ぎ棒検出状況 (南から)



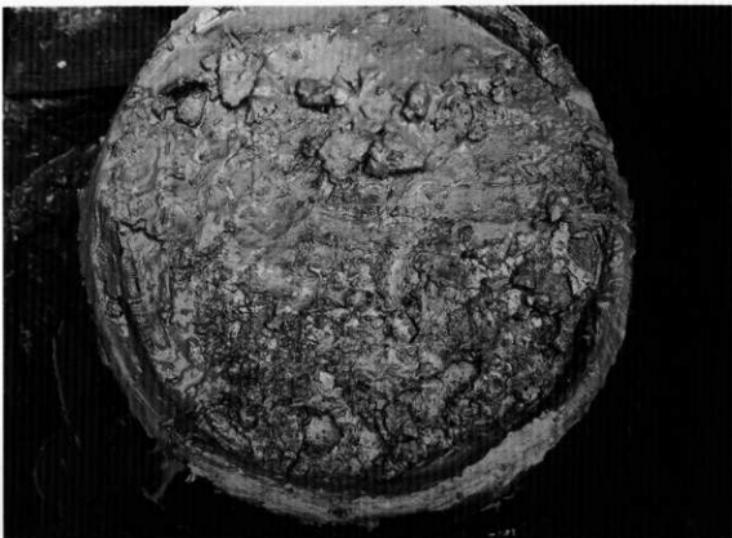
ST030 完掘状況 (南から)



ST035 石蓋・棺台検出状況 (西から)



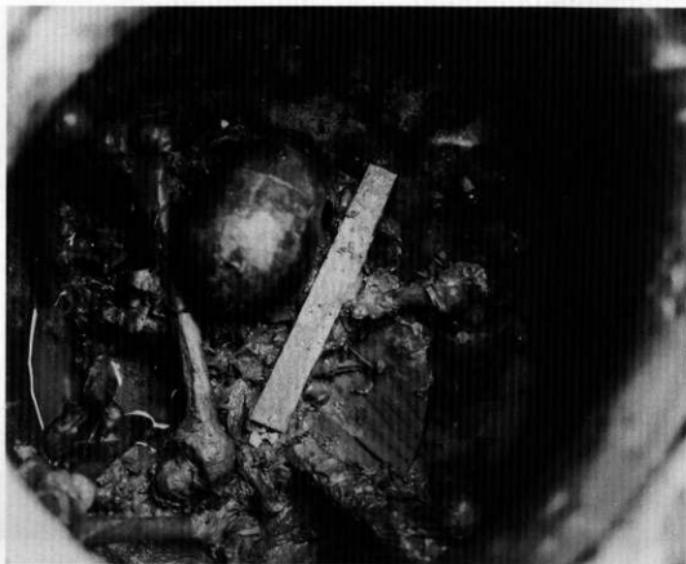
ST035 石蓋・棺台検出状況 (南から)



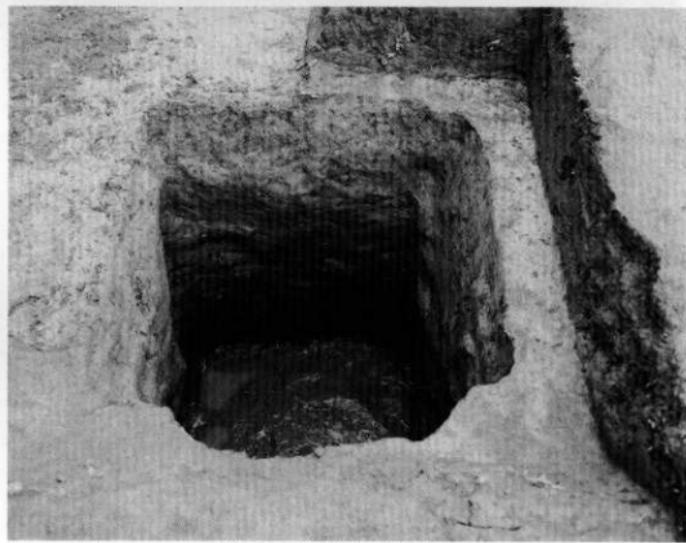
ST035木蓋・接着物検出状況（西から）



ST035 棺内検出状況 （西から）



ST035 棺内検出状況 (西から)



ST035 完掘状況 (西から)



SX001 土層観察 (南から)



SX001 完掘状況 (北から)



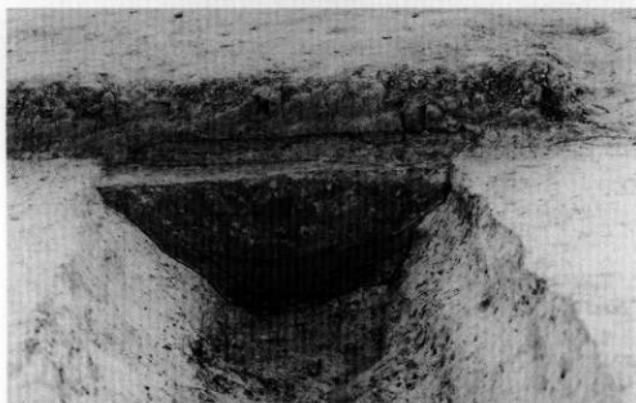
SD045 土層観察 (北から)



SD045 完掘状況 (北から)



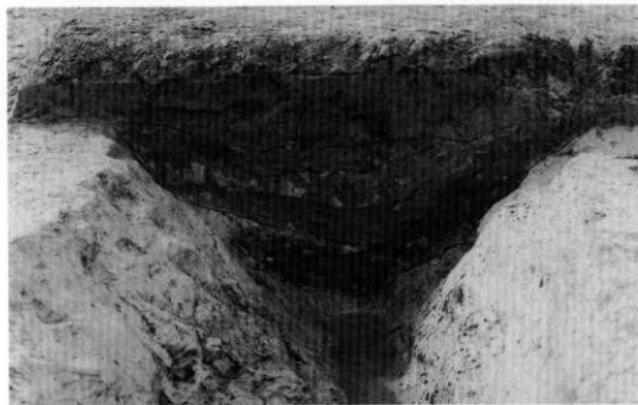
SD055 北壁土層観察 (南から)



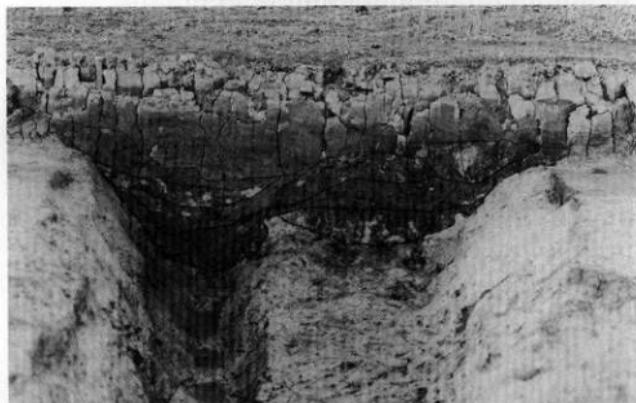
SD055 南壁土層観察 (北から)



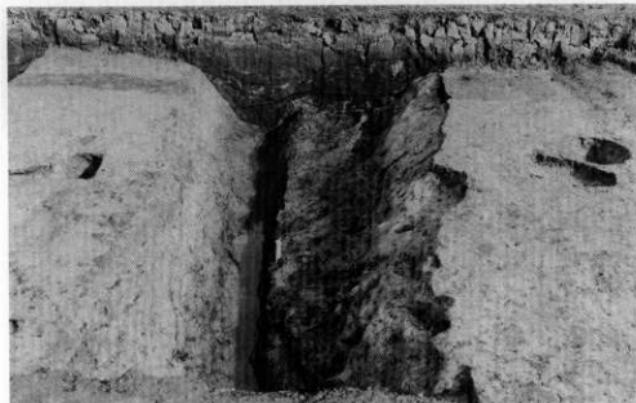
SD055 完掘状況 (南から)



SD060 南壁土層観察 (北から)



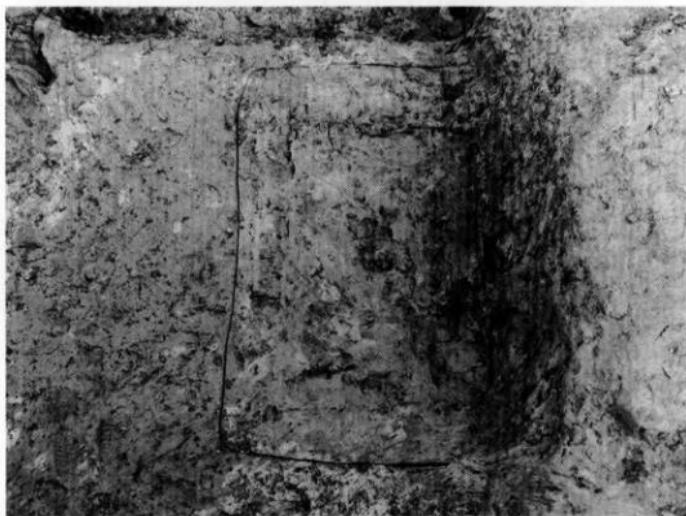
SD060・065 北壁土層観察 (南から)



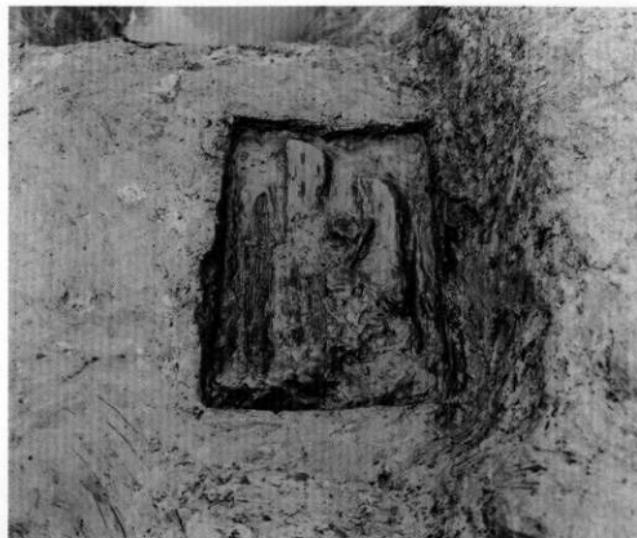
SD060・065 完掘状況 (南から)



SD070 完掘状況 (南から)



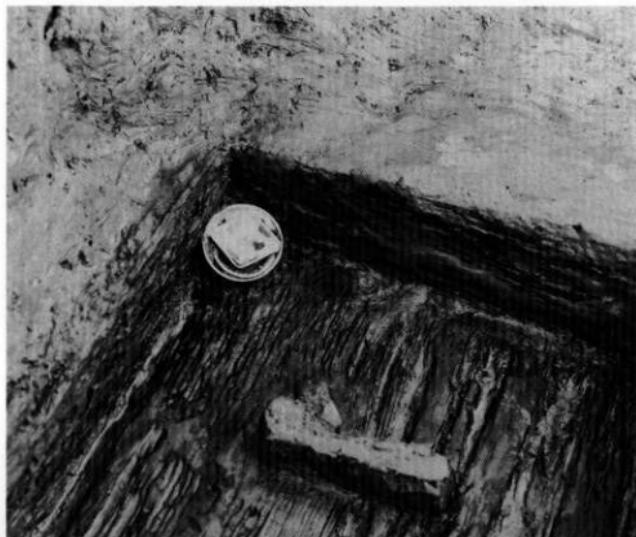
ST040 検出状況 (南から)



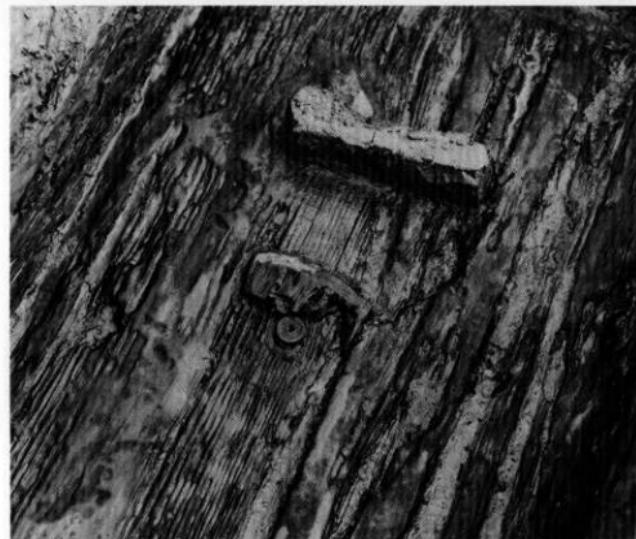
ST040 棺蓋検出状況 (南から)



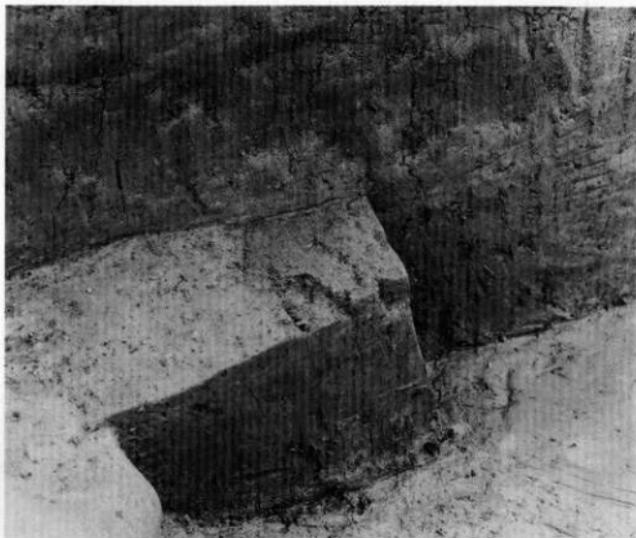
ST040 棺内検出状況 (南から)



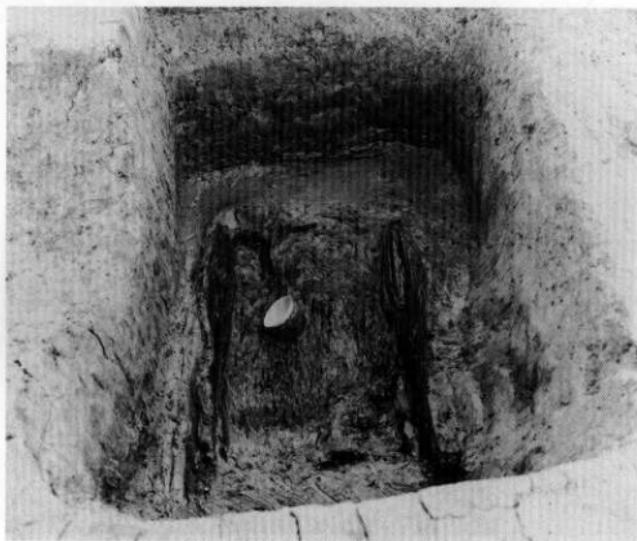
ST040 棺内遺物検出状況 (北西から)



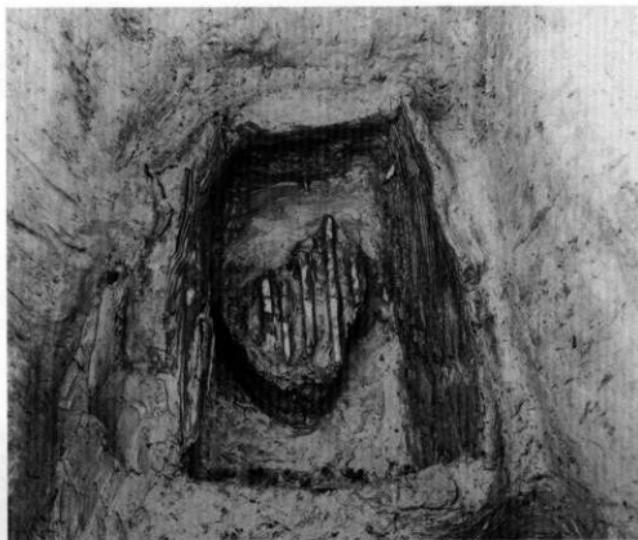
ST040 棺内遺物検出状況 (北西から)



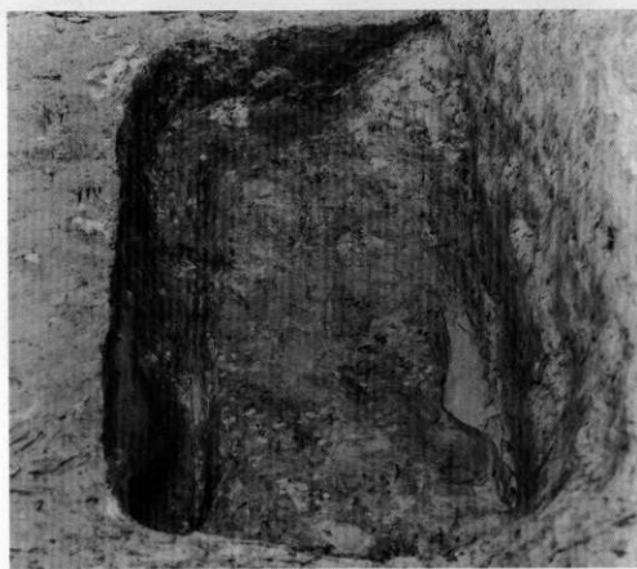
ST050 検出状況 (北から)



ST080 棺蓋検出状況 (南から)



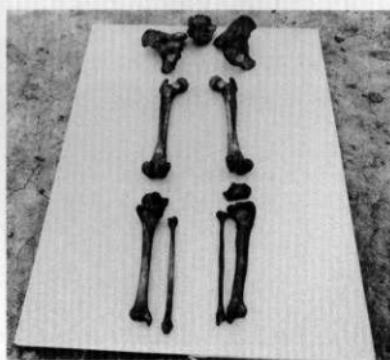
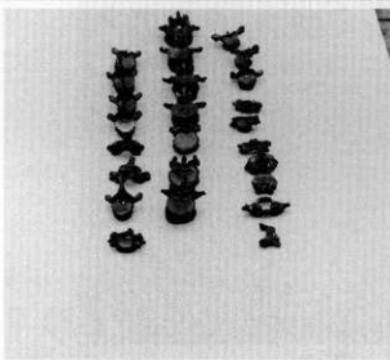
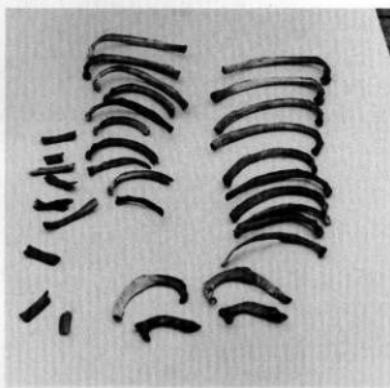
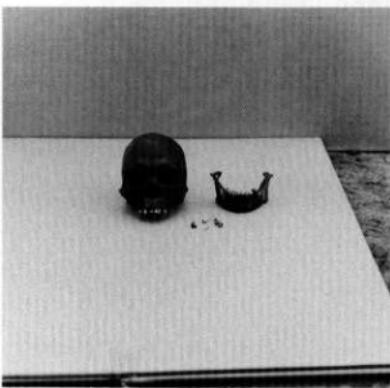
ST080 棺内検出状況 (南から)



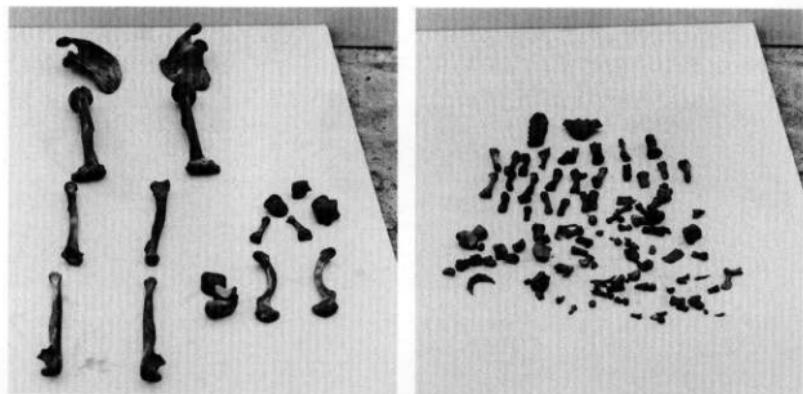
ST080 完掘状況 (南から)



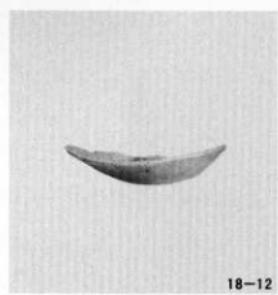
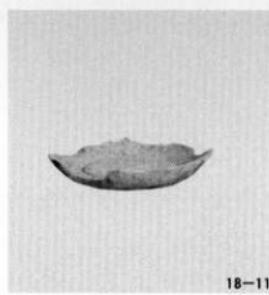
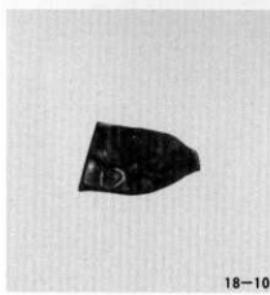
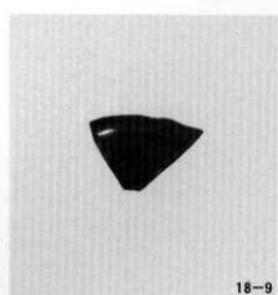
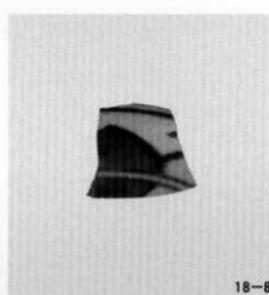
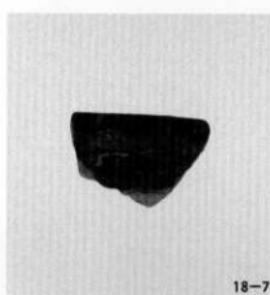
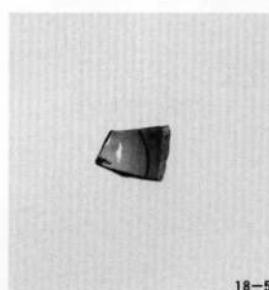
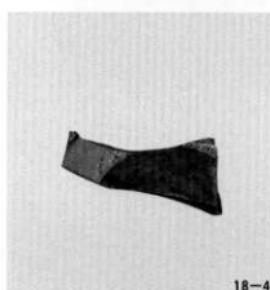
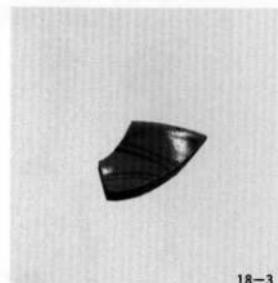
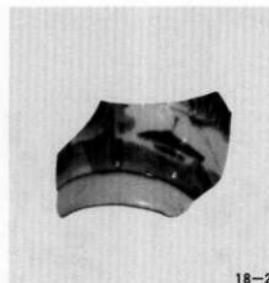
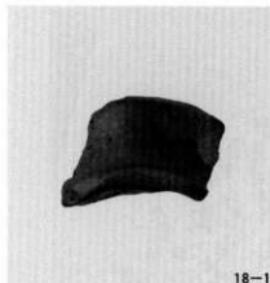
ST025 出土人骨

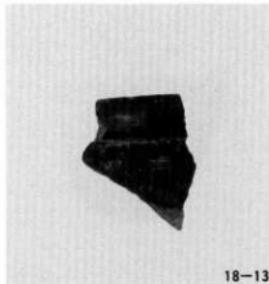


ST035 出土人骨

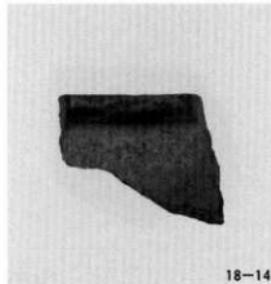


ST035 出土人骨

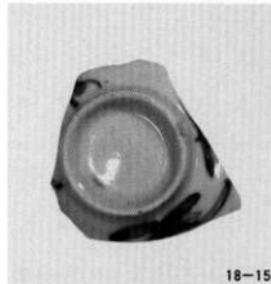




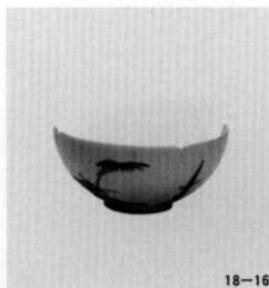
18-13



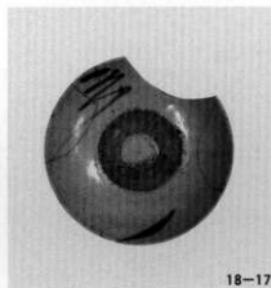
18-14



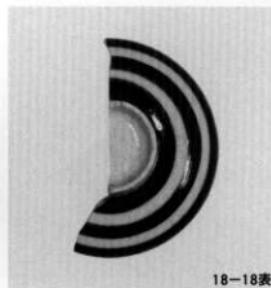
18-15



18-16



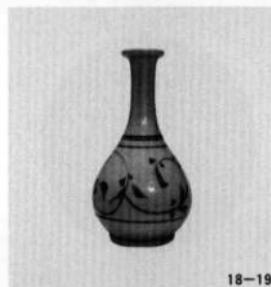
18-17



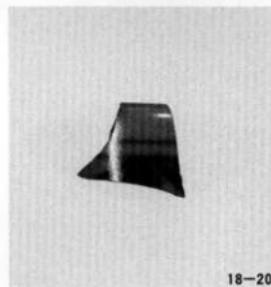
18-18表



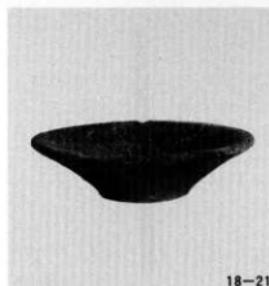
18-18裏



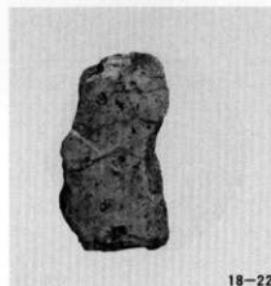
18-19



18-20



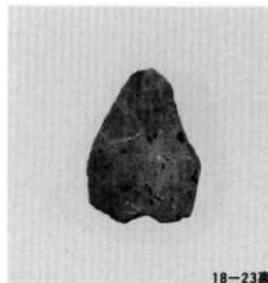
18-21



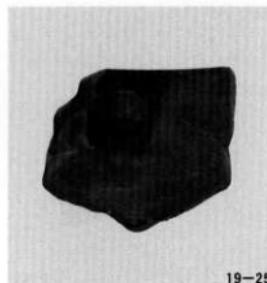
18-22



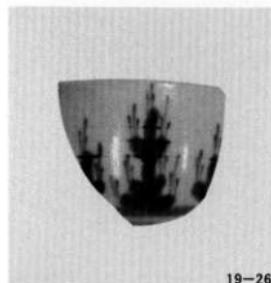
18-23裏



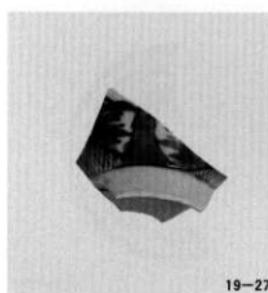
18-23裏



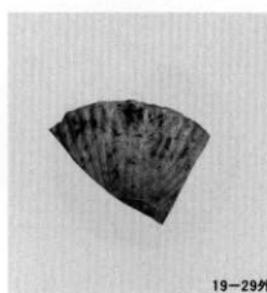
19-25



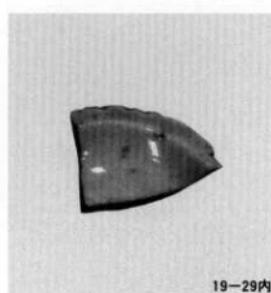
19-26



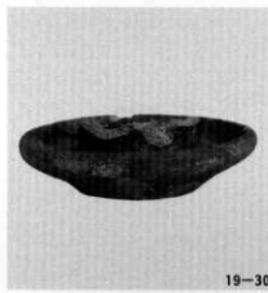
19-27



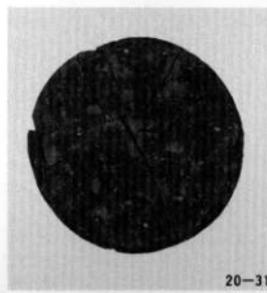
19-29外



19-29内



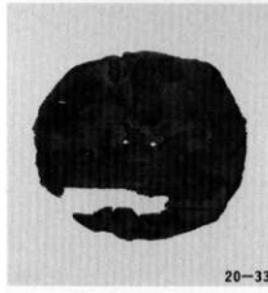
19-30



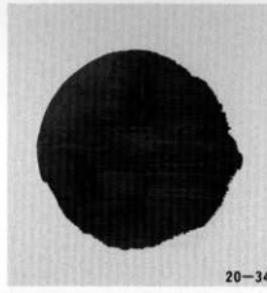
20-31



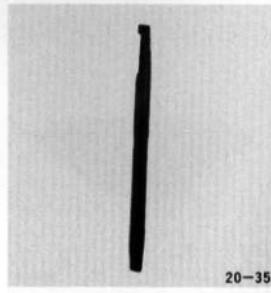
20-32



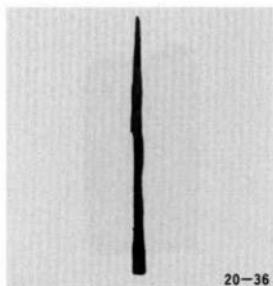
20-33



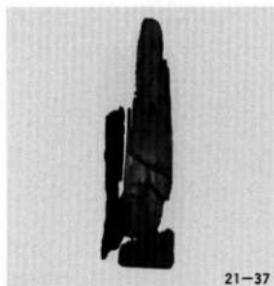
20-34



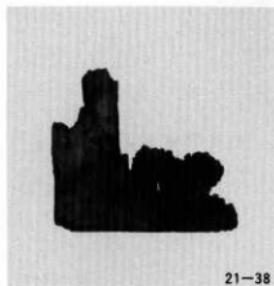
20-35



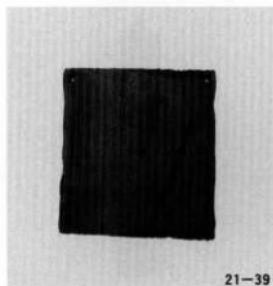
21-36



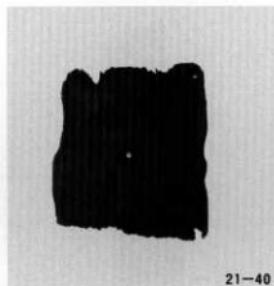
21-37



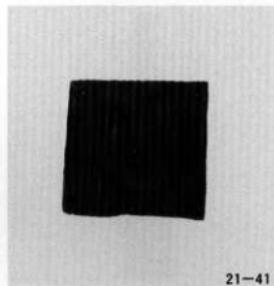
21-38



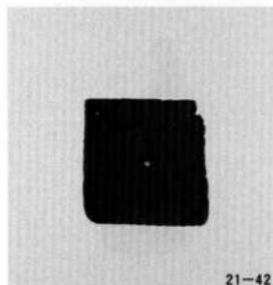
21-39



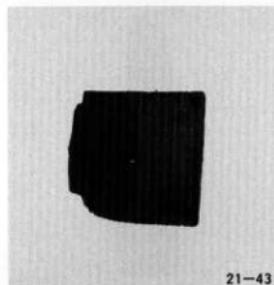
21-40



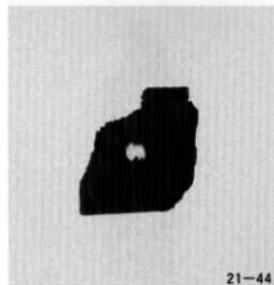
21-41



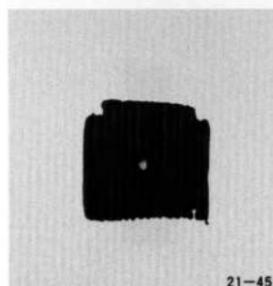
21-42



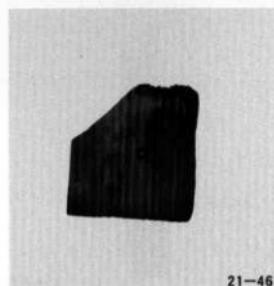
21-43



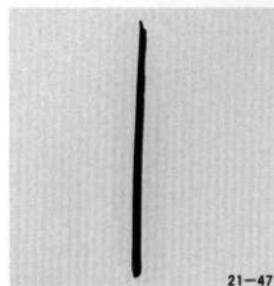
21-44



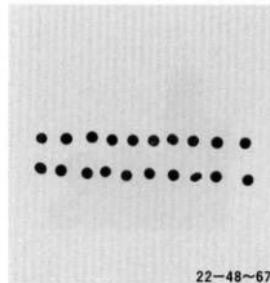
21-45



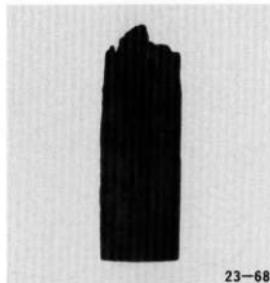
21-46



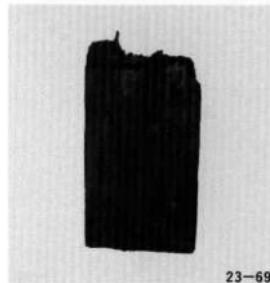
21-47



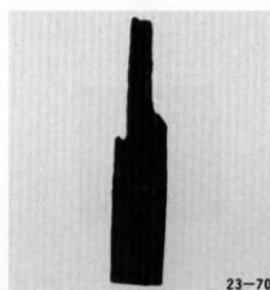
22-48~67



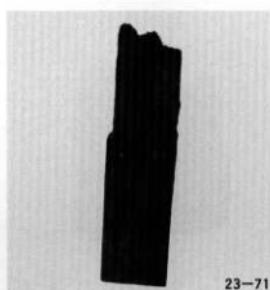
23-68



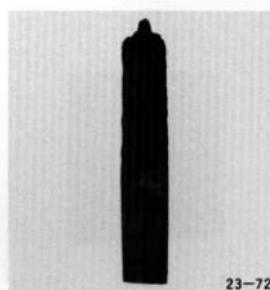
23-69



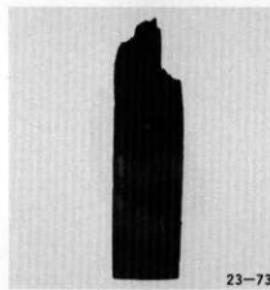
23-70



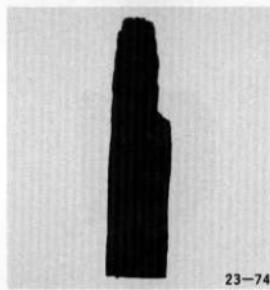
23-71



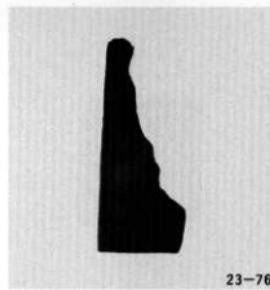
23-72



23-73



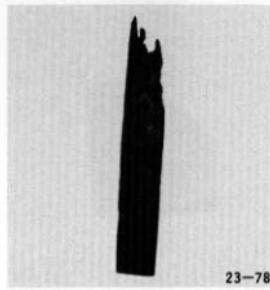
23-74



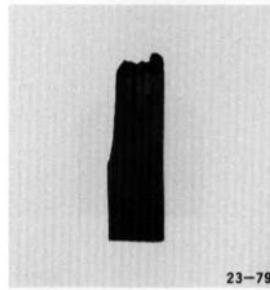
23-76



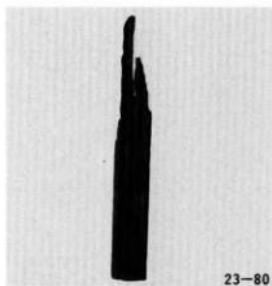
23-77



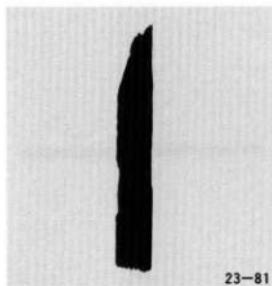
23-78



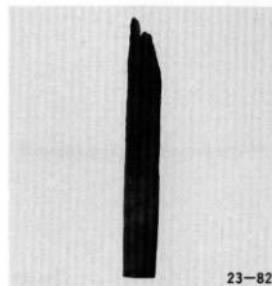
23-79



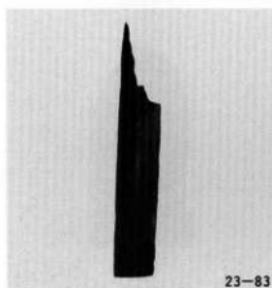
23-80



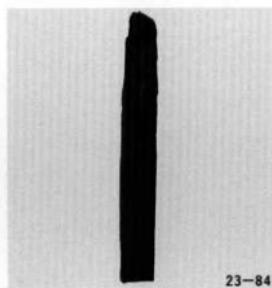
23-81



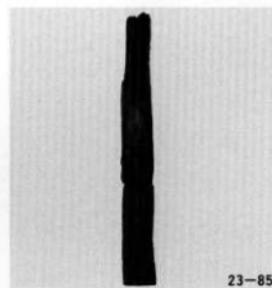
23-82



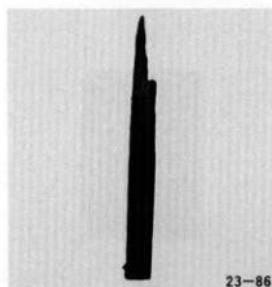
23-83



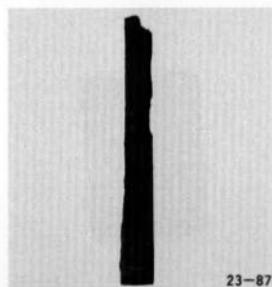
23-84



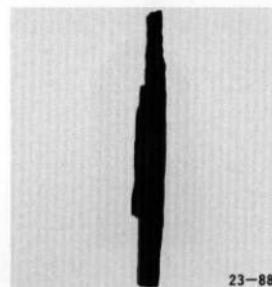
23-85



23-86



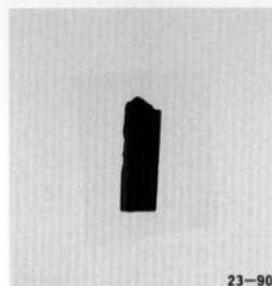
23-87



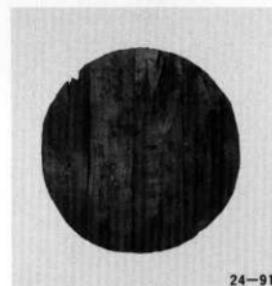
23-88



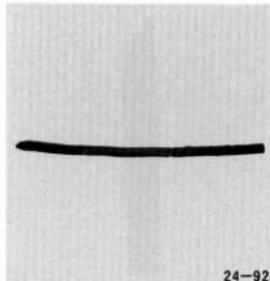
23-89



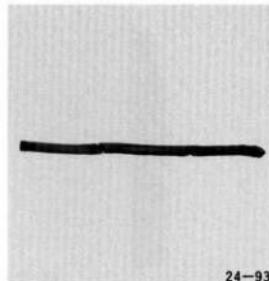
23-90



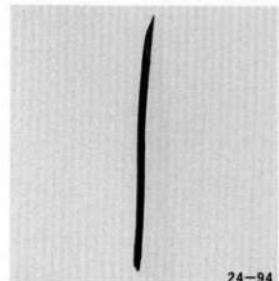
24-91



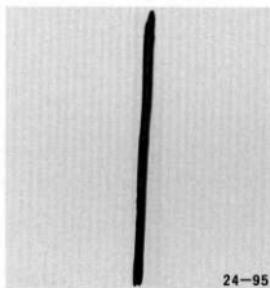
24-92



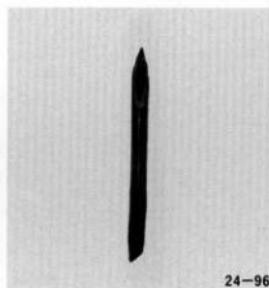
24-93



24-94



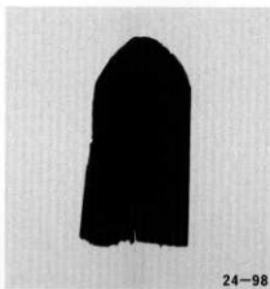
24-95



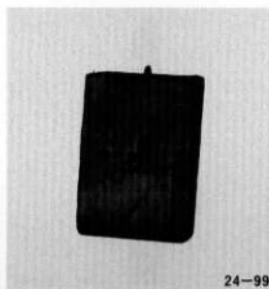
24-96



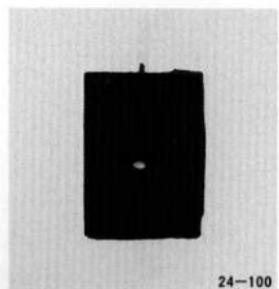
24-97



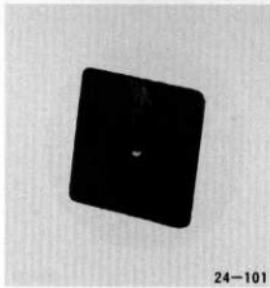
24-98



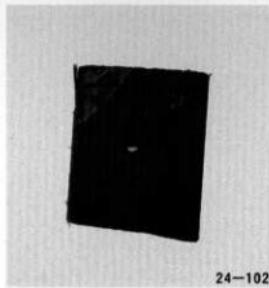
24-99



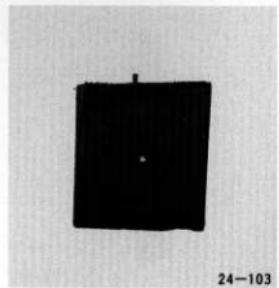
24-100



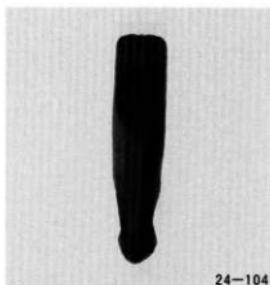
24-101



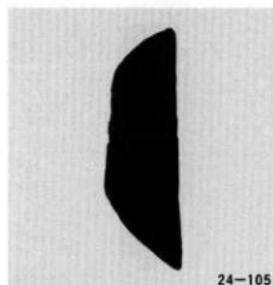
24-102



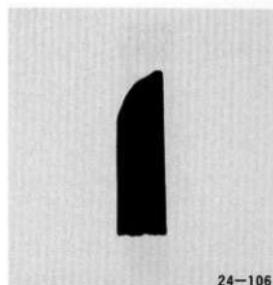
24-103



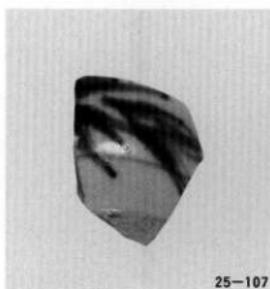
24-104



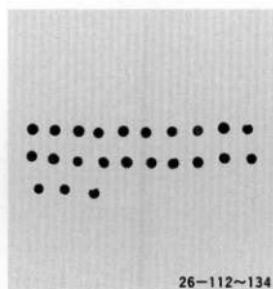
24-105



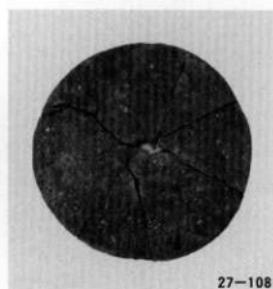
24-106



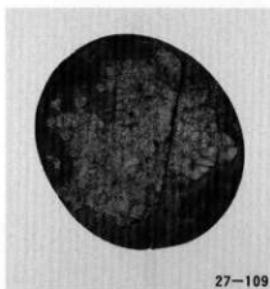
25-107



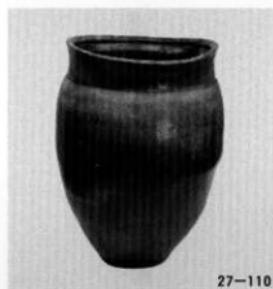
26-112~134



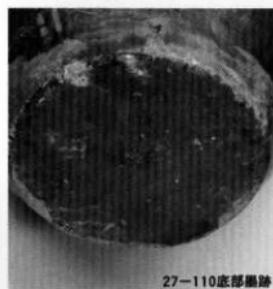
27-108



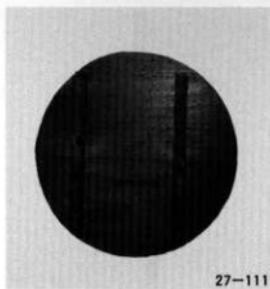
27-109



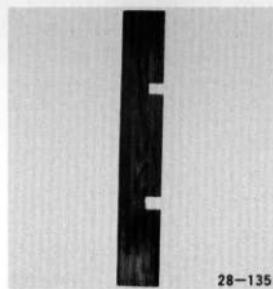
27-110



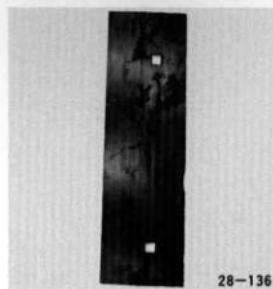
27-110底部墨跡



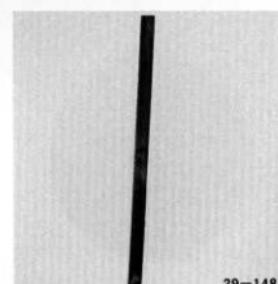
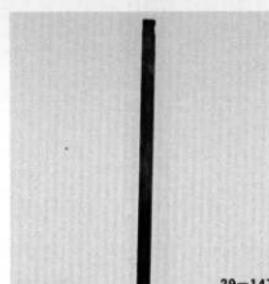
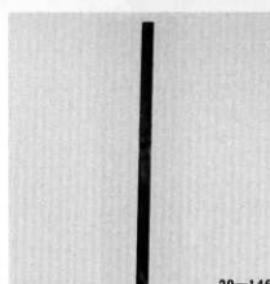
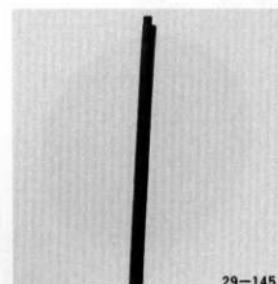
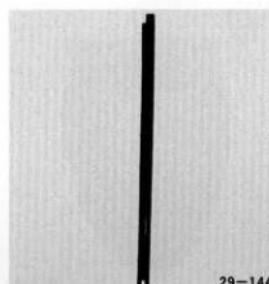
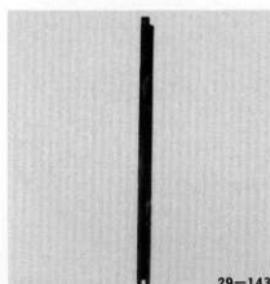
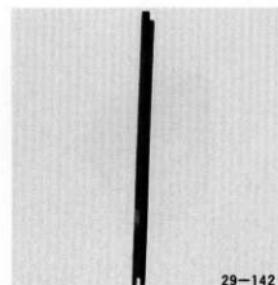
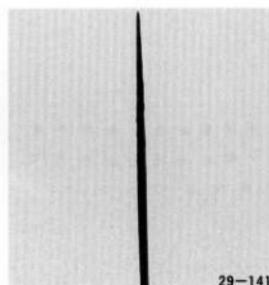
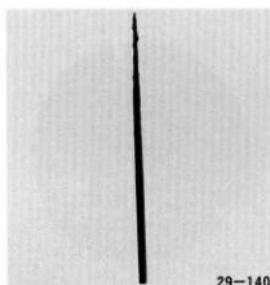
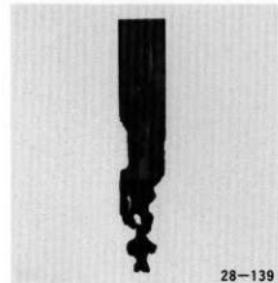
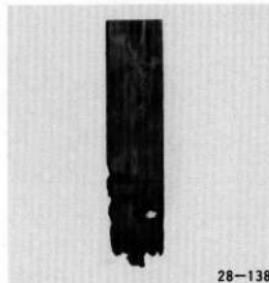
27-111

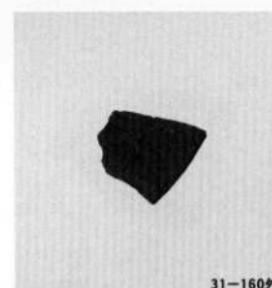
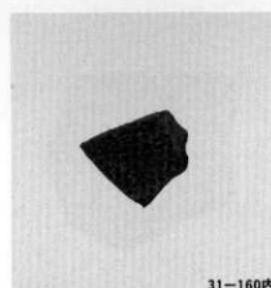
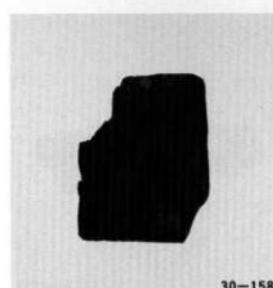
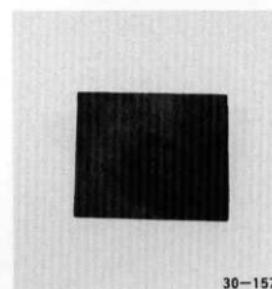
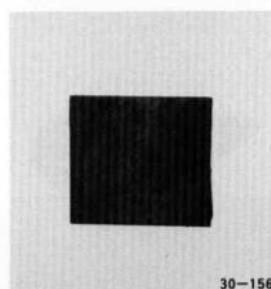
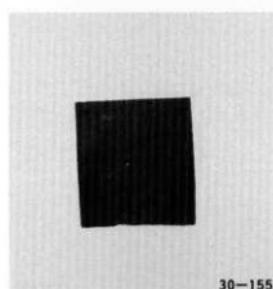
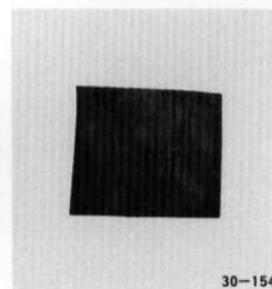
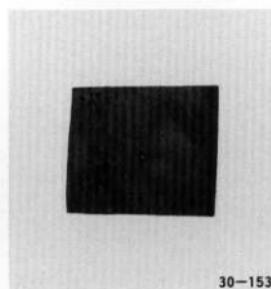
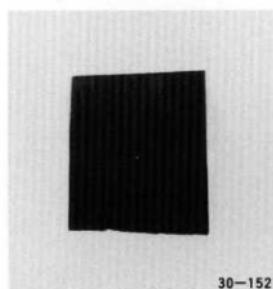
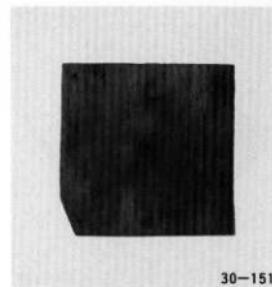
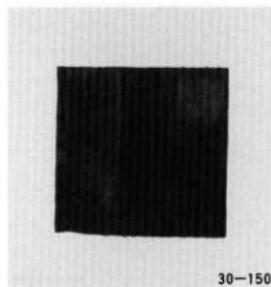
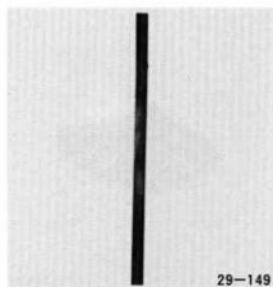


28-135



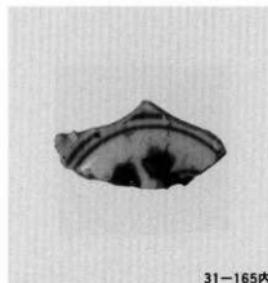
28-136



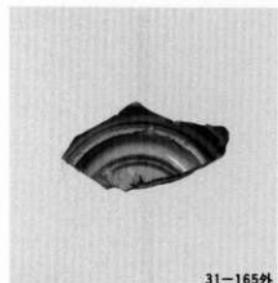




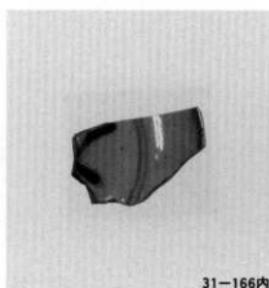
31-162



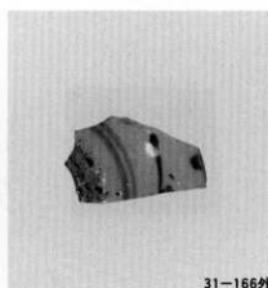
31-165内



31-165外



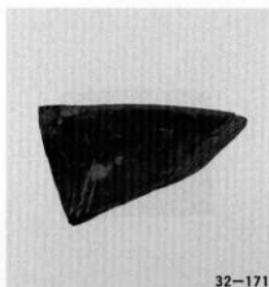
31-166内



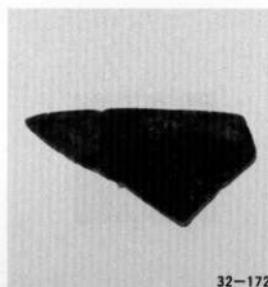
31-166外



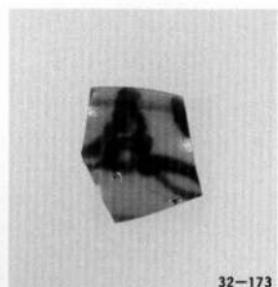
32-170



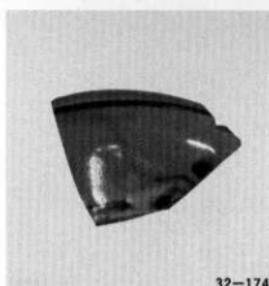
32-171



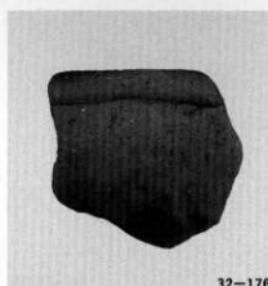
32-172



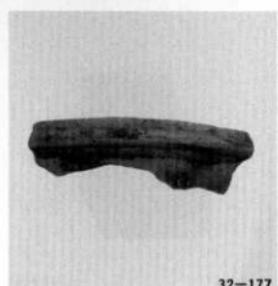
32-173



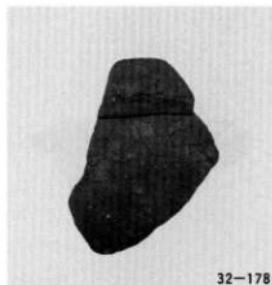
32-174



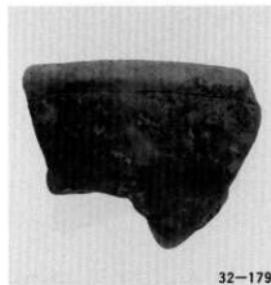
32-176



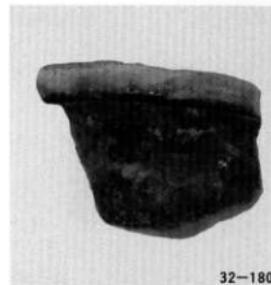
32-177



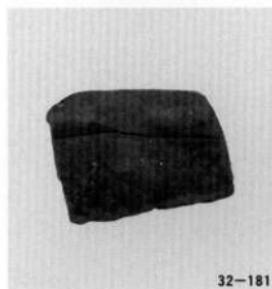
32-178



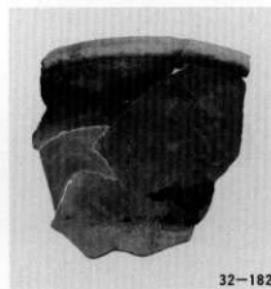
32-179



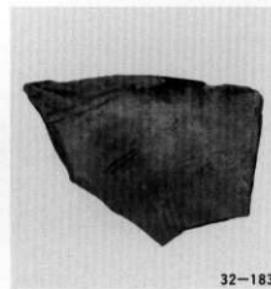
32-180



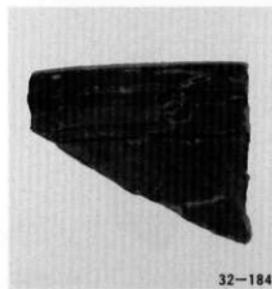
32-181



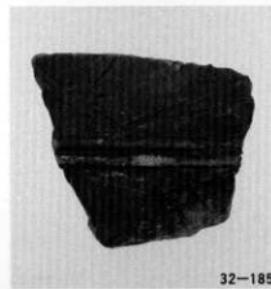
32-182



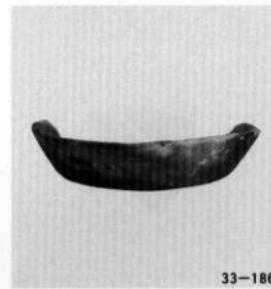
32-183



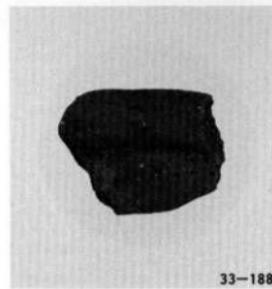
32-184



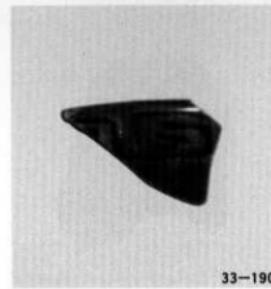
32-185



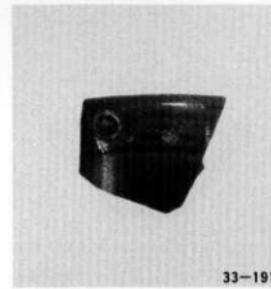
32-186



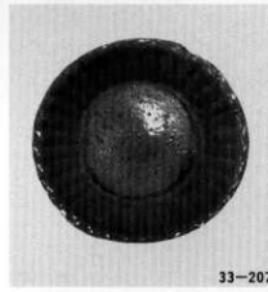
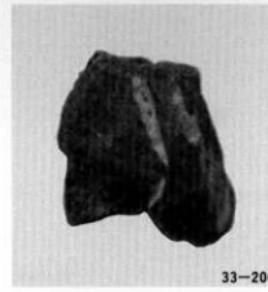
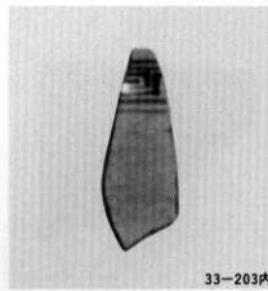
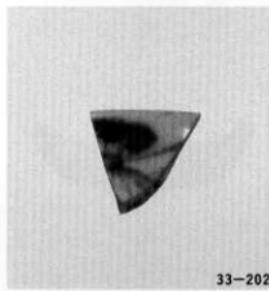
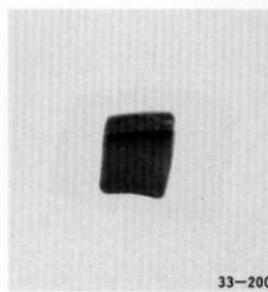
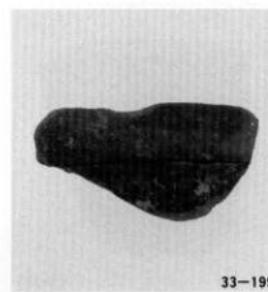
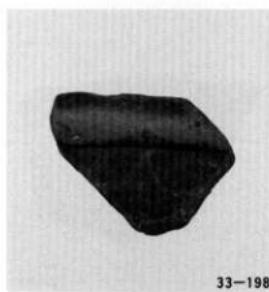
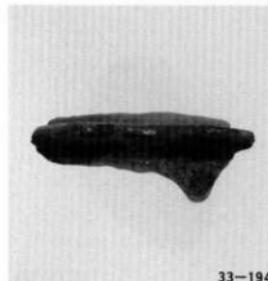
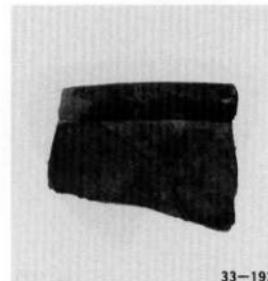
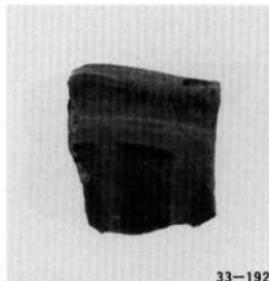
33-188



33-190

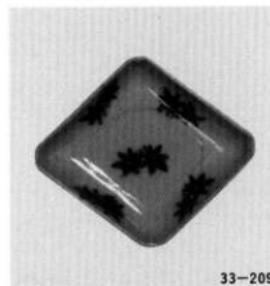


33-191

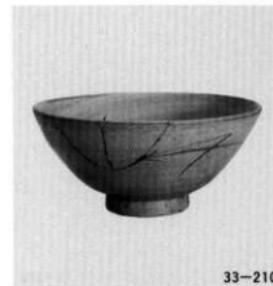




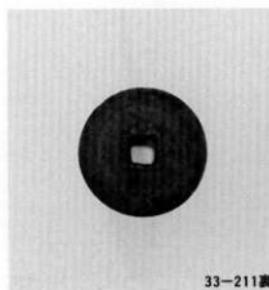
33-208



33-209



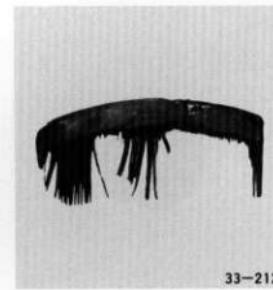
33-210



33-211裏



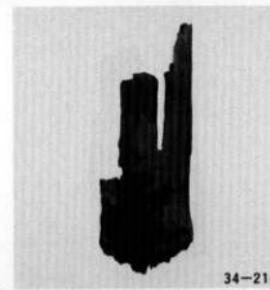
33-211表



33-212



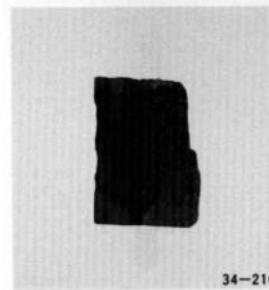
34-213



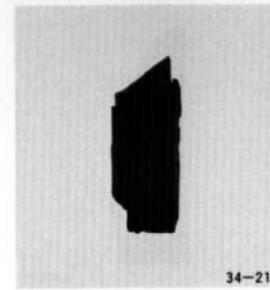
34-214



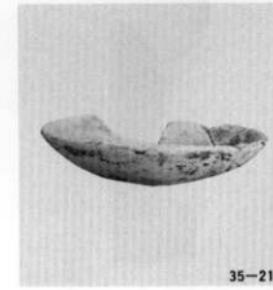
34-215



34-216



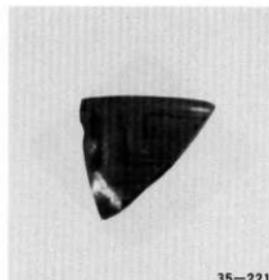
34-217



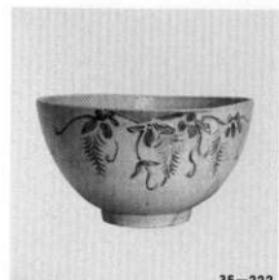
35-219



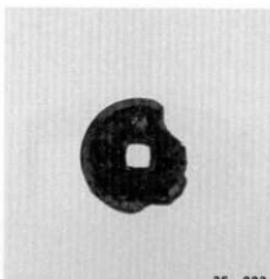
35-220



35-221



35-222



35-223



36-224



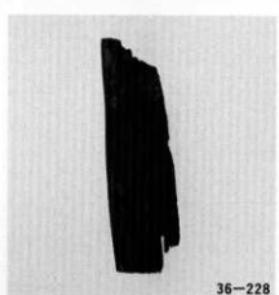
36-225



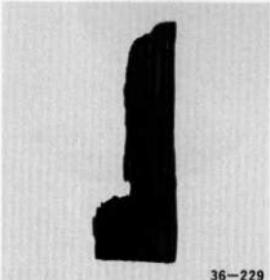
36-226



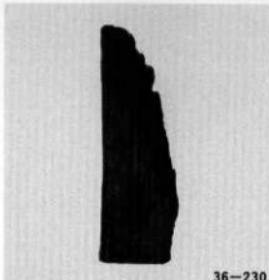
36-227



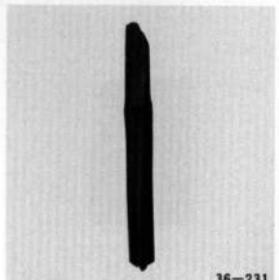
36-228



36-229



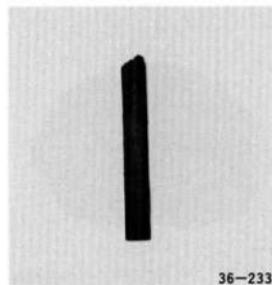
36-230



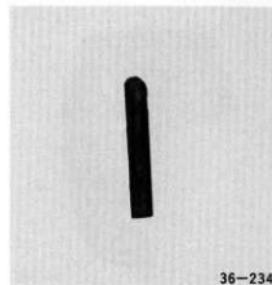
36-231



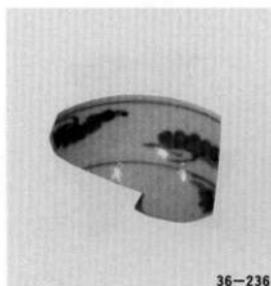
36-232



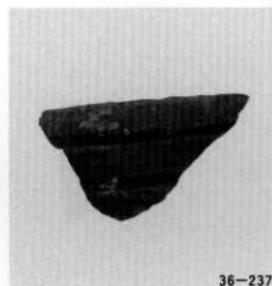
36-233



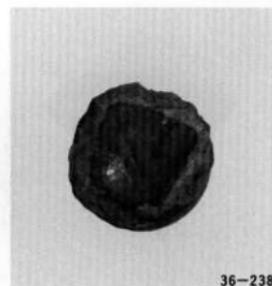
36-234



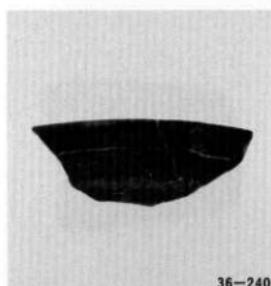
36-236



36-237



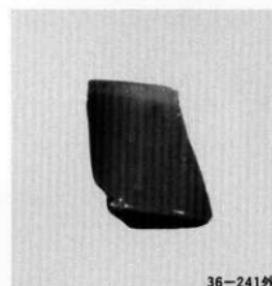
36-238



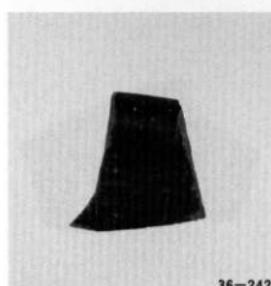
36-240



36-241内



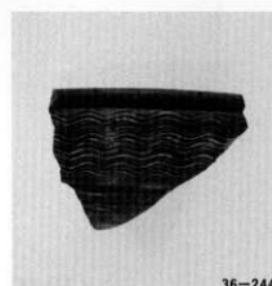
36-241外



36-242



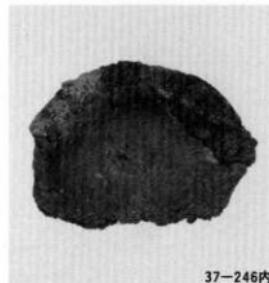
36-243



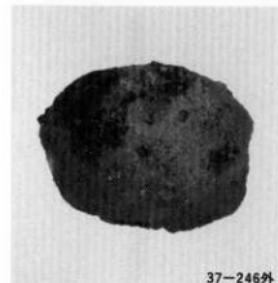
36-244



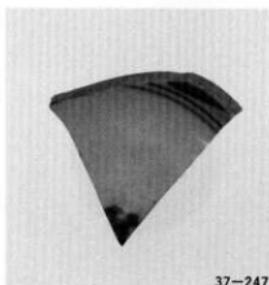
37-245



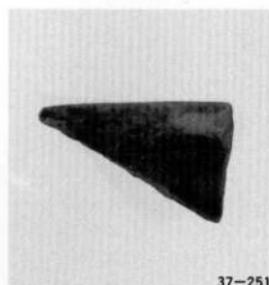
37-246内



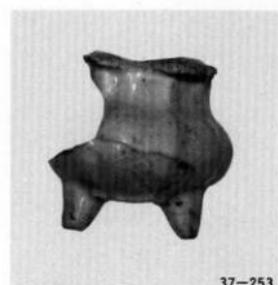
37-246外



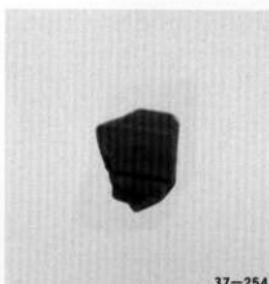
37-247



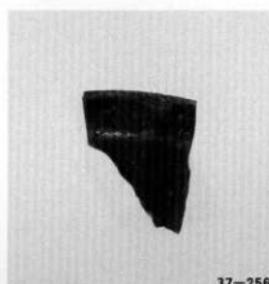
37-251



37-253



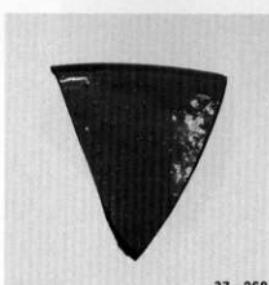
37-254



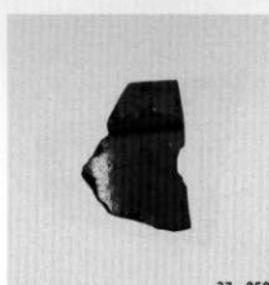
37-256



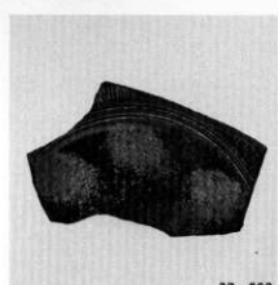
37-257



37-260



37-259



37-263

筑後市文化財調査報告書 第66集

江口南村闕遺跡

平成17年3月31日

発行 筑後市教育委員会
福岡県筑後市大字山ノ井898
TEL 0942(52)0170

印刷 大道印刷 株式会社
春日市日の出町6丁目23番地
TEL 092(582)0927